

平成30年度

人権に関する意識調査報告書



目次

I 調査概要

1	調査目的	1
2	調査事項	1
3	調査実施概要	1
4	回収状況	1
5	報告書内のデータ記述について	1
6	回答者の属性	2

II 調査結果

1	人権意識について	3
2	女性の人権について	25
3	子どもの人権について	28
4	高齢者の人権について	30
5	障がいのある人の人権について	32
6	外国人の人権について	34
7	同和問題について	36
8	性的少数者の人権について	41
9	その他の人権について	45
10	オリンピック・パラリンピックと人権について	57
11	人権に関する取り組みについて	59
12	効果的な啓発活動について	61
13	市民一人ひとりが心がけることについて	63
14	人権について	65

付録 調査票

I 調査概要

1 調査目的

本市では、人権尊重の意識を高めるために、人権に関するさまざまな施策に取り組んでいます。市民の人権についての意識を把握し、より適切かつ効果的な啓発活動や施策の推進を図るための基礎資料を得ることを目的として本調査を実施しました。

2 調査事項

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| (1) 人権意識について | (8) 性的少数者の人権について |
| (2) 女性の人権について | (9) その他の人権について |
| (3) 子どもの人権について | (10) オリンピック・パラリンピックと人権について |
| (4) 高齢者の人権について | (11) 人権に関する取り組みについて |
| (5) 障がいのある人の人権について | (12) 効果的な啓発活動について |
| (6) 外国人の人権について | (13) 市民一人ひとりが心がけることについて |
| (7) 同和問題について | (14) 人権について |

3 調査実施概要

- (1) 調査地域 浜松市全域
- (2) 調査対象 浜松市内に居住する満18歳以上の男女3,000人
- (3) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法 質問紙郵送法
- (5) 調査期間 平成30年10月15日～10月31日
- (6) 実施機関 浜松市人権啓発センター（浜松市健康福祉部福祉総務課）

4 回収状況

発送数	回収数	有効回収数	有効回収率
3,000件	1,256件	1,255件	41.8%

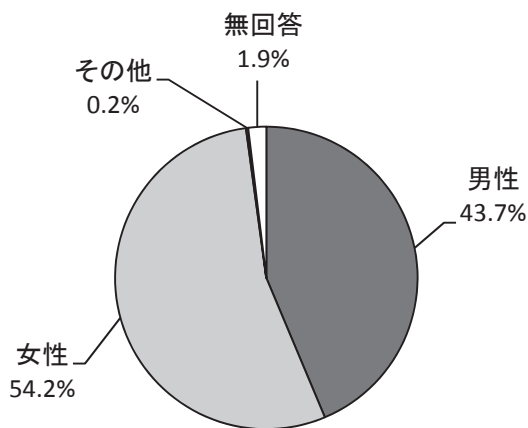
5 報告書内のデータ記述について

- (1) 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、比率の合計が100%にならないことがあります。
- (2) 回答は各質問の回答数を基数とした百分率（%）で示してあります。
- (3) 質問の選択肢から複数回答を認めている場合、比率の合計は通常100%を超えます。
- (4) 図表中の回答選択肢が長文の場合、コンピューターの処理の都合上、省略している箇所があります。
- (5) クロス集計の図表については、表側となる設問に「無回答」がある場合、これを表示しません。ただし、全体の件数には含めているので、各分析項目の件数の合計が、全体の件数と一致しないことがあります。

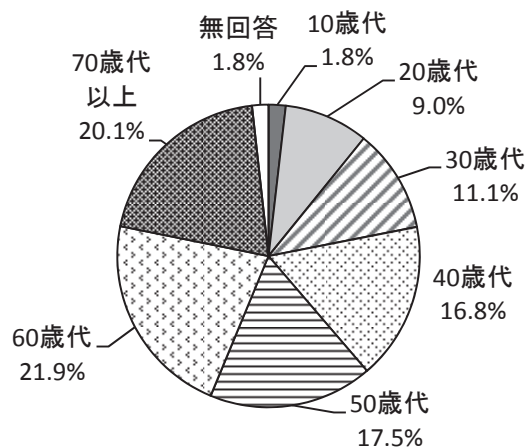
6 回答者の属性

回答数=1,255人

(1) 性別



(2) 年齢

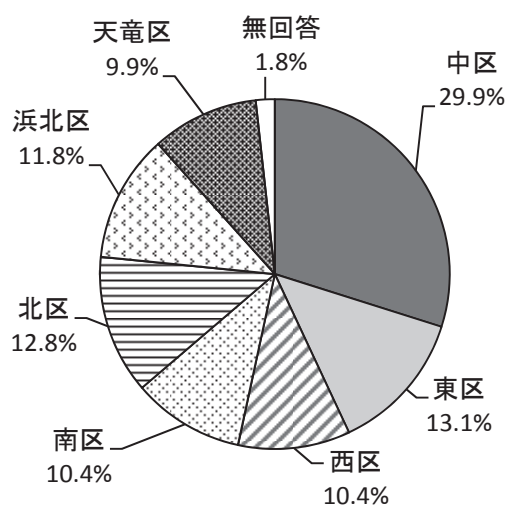


(3) 性別・年齢別構成

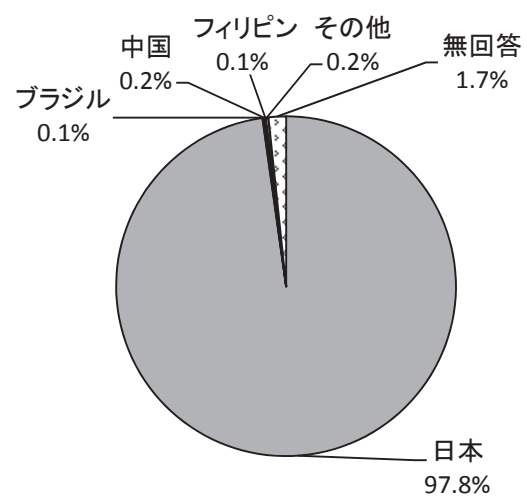
(単位：%)

	回答数 (人)	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答
合計	1,255	1.8	9.0	11.1	16.8	17.5	21.9	20.1	1.8
男性	548	1.8	6.9	9.7	14.8	19.3	25.4	22.1	0.0
女性	680	1.9	10.9	12.5	18.7	16.8	20.0	19.1	0.1
その他	3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	24	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	4.2	87.5

(4) 居住区



(5) 国籍



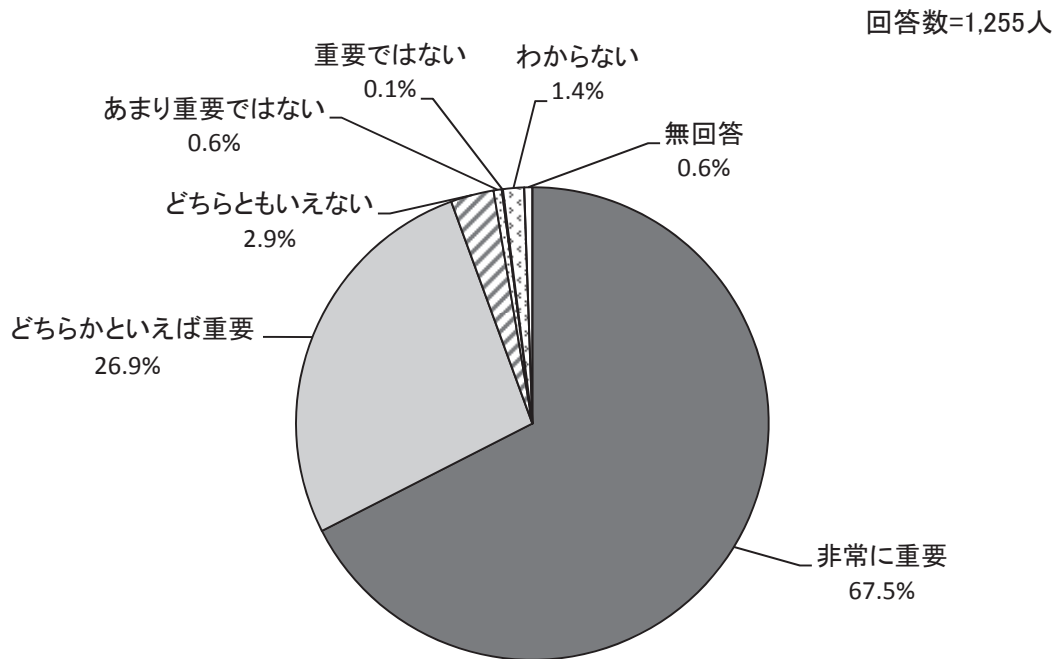
その他内訳=ウガンダ1、タイ1、ペルー1

II 調査結果

【1 人権意識について】

問1 あなたは人権は重要なことだと思いますか。

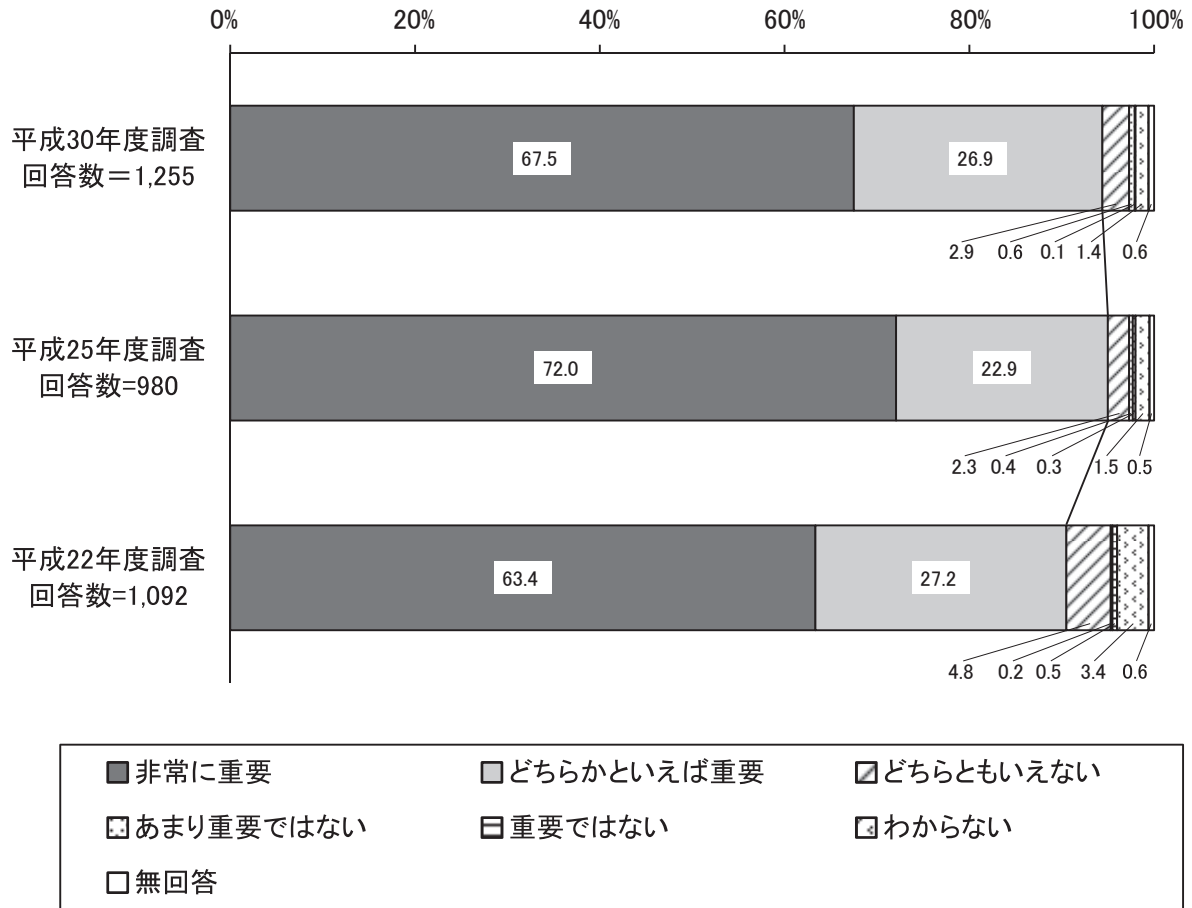
(当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)



人権の重要度について、「非常に重要」が67.5%で最も高く、次いで「どちらかといえば重要」が26.9%となっています。「非常に重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は94.4%と高くなっています。

「あまり重要ではない」は0.6%、「重要ではない」は0.1%と非常に低く、「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた『重要ではない』も0.7%と低くなっています。

【経年比較】



過去の調査と比較すると「非常に重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』(94.4%)は、平成25年度調査(94.9%)とほぼ横ばい、平成22年度調査(90.6%)より3.8ポイント高くなっています。

「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた『重要ではない』(0.7%)は、平成22年度調査、平成25年度調査も同様の0.7%でした。

「非常に重要」の回答割合は平成25年度調査より低くなっていますが、『重要』と『重要でない』の回答割合はほとんど変わっていません。人権は重要なことだという認識が定着しているといえます。

* 「非常に重要」は平成22年度調査、平成25年度調査では「非常に重要である」になっているなど、調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。

【性別・年代別】

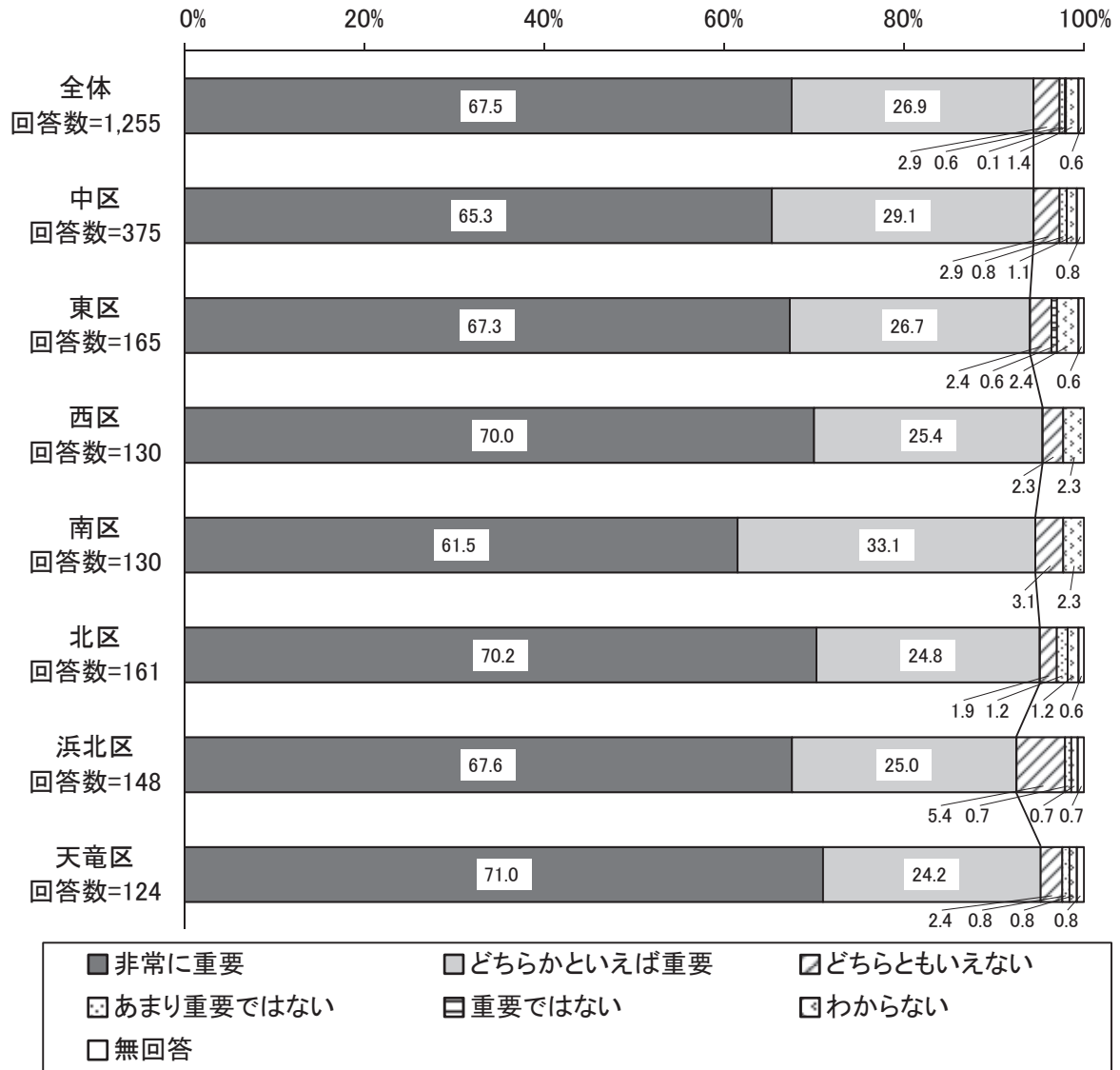
(単位：%)

		回答数 (人)	非常に重要	どちらかといえ ば重要	どちらともい えない	あまり重要で はない	重要で はない	わから ない	無回 答
全 体		1,255	67.5	26.9	2.9	0.6	0.1	1.4	0.6
性 別	男 性	548	65.9	27.9	3.5	0.5	0.2	1.5	0.5
	女 性	680	68.2	26.8	2.5	0.6	-	1.3	0.6
	その他	3	66.7	-	-	-	-	33.3	-
年 代 別	10歳代	23	65.2	30.4	-	-	-	4.3	-
	20歳代	113	68.1	23.9	3.5	1.8	-	2.7	-
	30歳代	139	61.2	30.2	4.3	2.2	-	2.2	-
	40歳代	211	63.5	31.8	2.4	0.5	0.5	1.4	-
	50歳代	220	69.1	26.8	3.6	-	-	-	0.5
	60歳代	275	70.9	25.1	2.2	-	-	0.7	1.1
	70歳代以上	252	67.5	25.8	2.8	0.4	-	2.4	1.2

性別で見ると、「非常に重要」と「どちらかといえ重要」を合わせた『重要』は、女性（95.0%）の方が男性（93.8%）より1.2ポイント高くなっています。

性別・年代を問わず『重要』の回答割合は90%を超えており、人権は重要だという認識を持っています。

【居住区別】



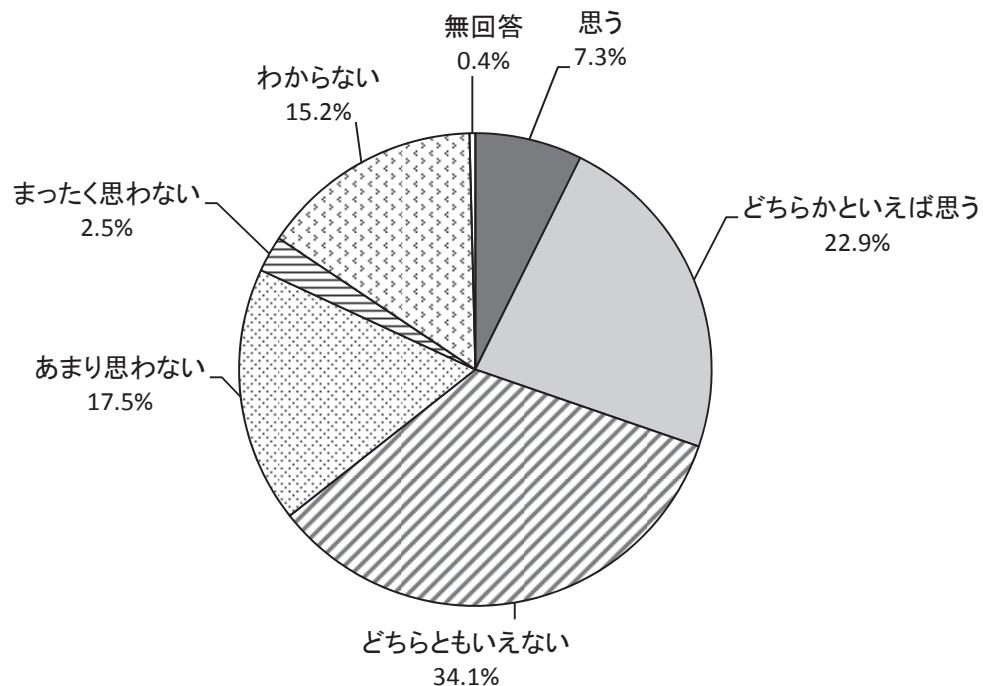
居住区別でみると、「非常に重要」の回答割合は天竜区（71.0%）が最も高く、南区（61.5%）が最も低い結果となり、両区の差は9.5ポイントありました。

ただし、「非常に重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は、全ての区で90%を超えていることから、人権が重要という認識に地域差はほとんどないといえます。

問2 浜松市は、「人権尊重の意識」が生活の中に定着していると思いますか。

(当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)

回答数=1,255人

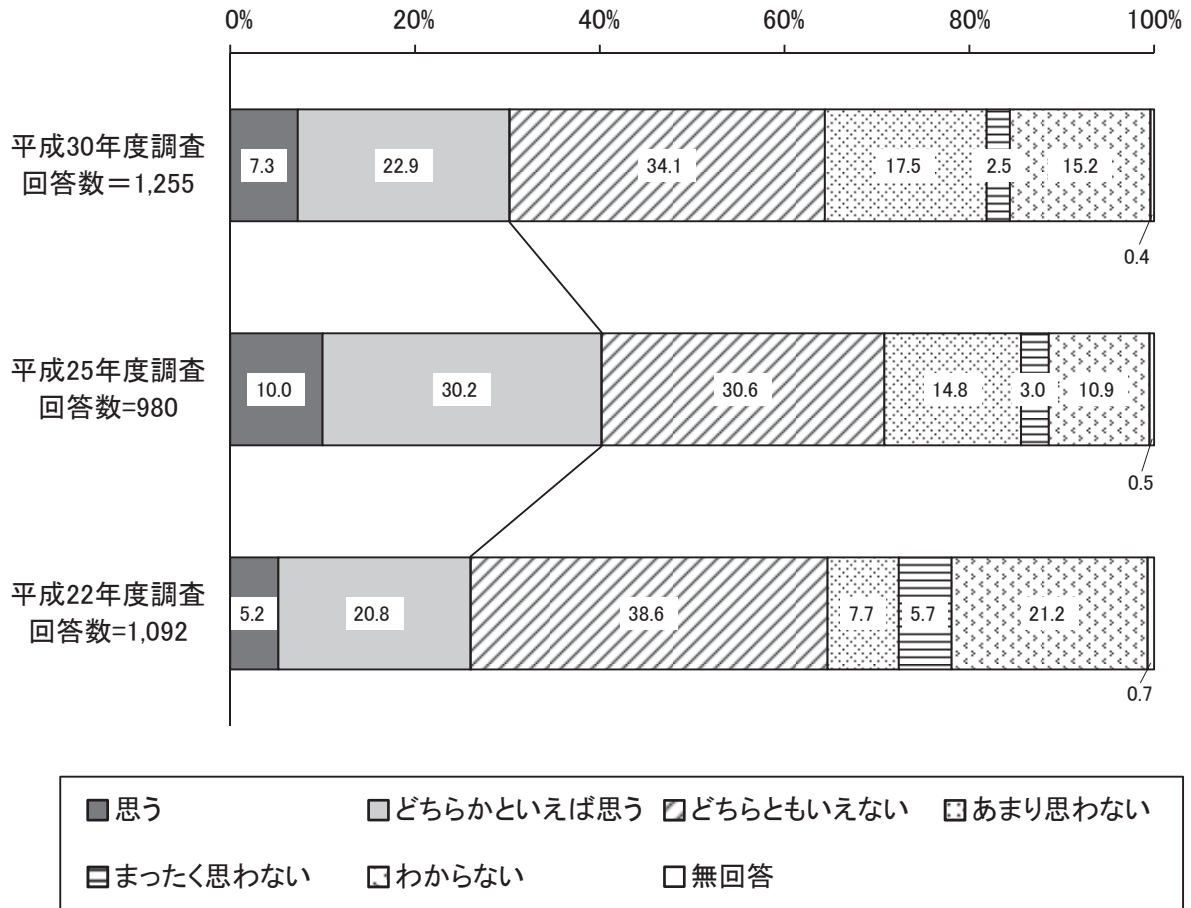


人権尊重の意識が生活の中に定着しているかについて、「どちらともいえない」が34.1%で最も高く、次いで「どちらかといえば思う」(22.9%)、「あまり思わない」(17.5%)の順に高い結果となりました。

「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『思う』は30.2%でした。「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた『思わない』は20.0%となり、『思う』が『思わない』を10.2ポイント上回りました。

問1で、9割以上が人権は『重要』と回答する一方、人権尊重の意識が生活の中に定着しているという回答は約3割と少ない結果となりました。

【経年比較】



過去の調査と比較すると、「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『思う』(30.2%)は、平成25年度調査(40.2%)より10.0ポイント低く、平成22年度調査(26.0%)より4.2ポイント高くなっています。

「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた『思わない』(20.0%)は、平成25年度調査(17.8%)より2.2ポイント高く、平成22年度調査(13.4%)より6.6ポイント高くなっています。

【性別・年代別】

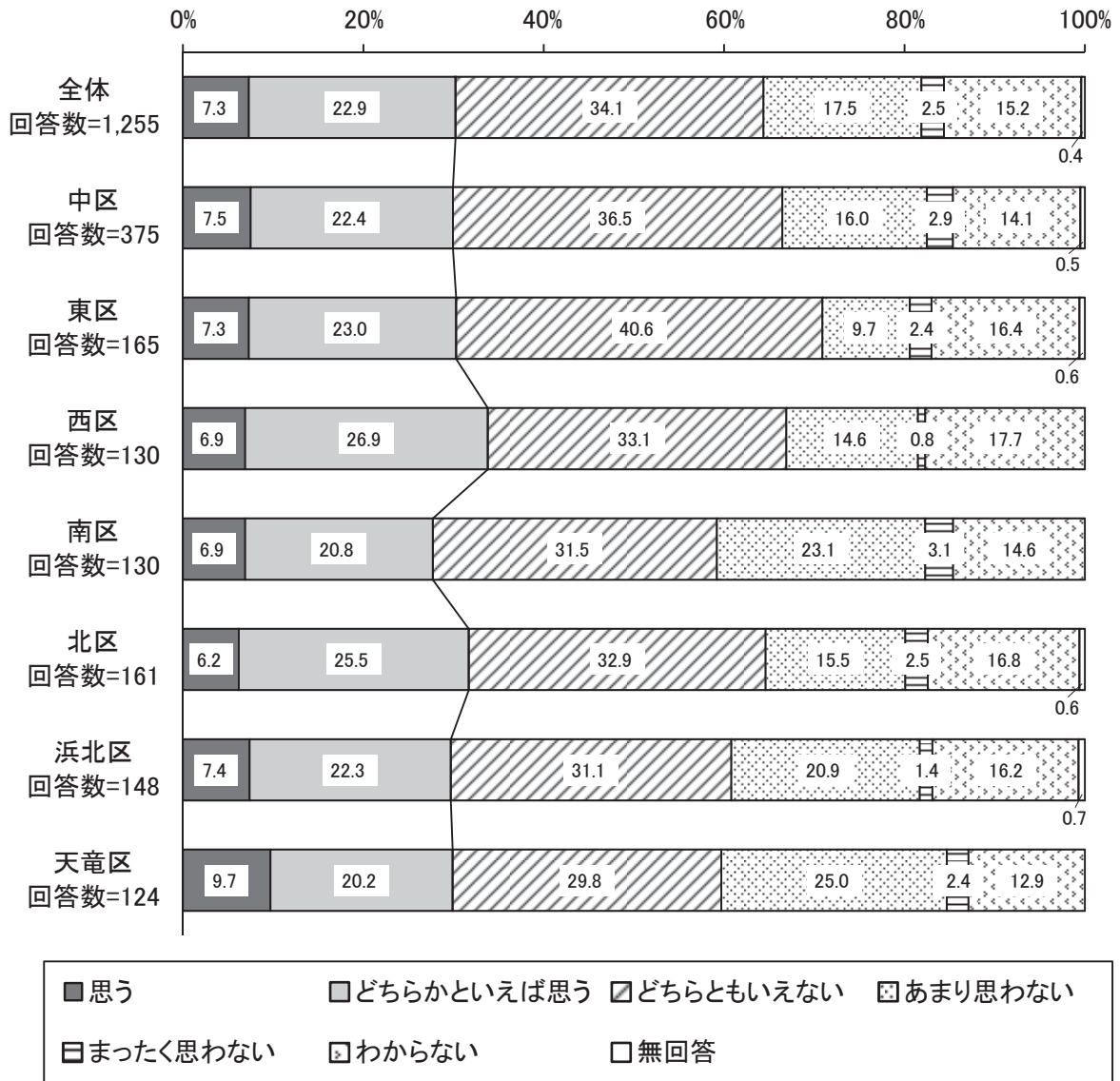
(単位：%)

		回答数 (人)	思 う	ど ち ら か と い え ば 思 う	ど ち ら と も い え な い	あ ま り 思 わ な い	ま っ た く 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体		1,255	7.3	22.9	34.1	17.5	2.5	15.2	0.4
性 別	男 性	548	9.9	22.1	32.8	18.6	2.6	13.5	0.5
	女 性	680	5.6	23.5	35.7	16.2	2.2	16.5	0.3
	その他	3	-	-	33.3	33.3	-	33.3	-
年 代 別	10歳代	23	4.3	26.1	47.8	13.0	-	8.7	-
	20歳代	113	6.2	15.9	34.5	20.4	4.4	18.6	-
	30歳代	139	1.4	12.2	39.6	24.5	1.4	20.9	-
	40歳代	211	7.1	21.8	35.1	19.4	1.9	14.7	-
	50歳代	220	8.6	21.8	32.3	20.5	2.7	14.1	-
	60歳代	275	8.7	24.4	33.8	16.0	2.5	13.5	1.1
	70歳代以上	252	9.5	32.1	32.1	8.7	2.0	14.7	0.8

性別で見ると、「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『思う』は、男性（32.0%）の方が女性（29.1%）より2.9ポイント高くなっています。「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた『思わない』も、男性（21.2%）の方が女性（18.4%）より2.8ポイント高くなっています。

年代別で見ると、30歳代の『思う』（13.6%）の割合が最も低くなっており、『思わない』（25.9%）を下回りました。20歳代も『思う』（22.1%）が『思わない』（24.8%）を下回りました。

【居住区別】

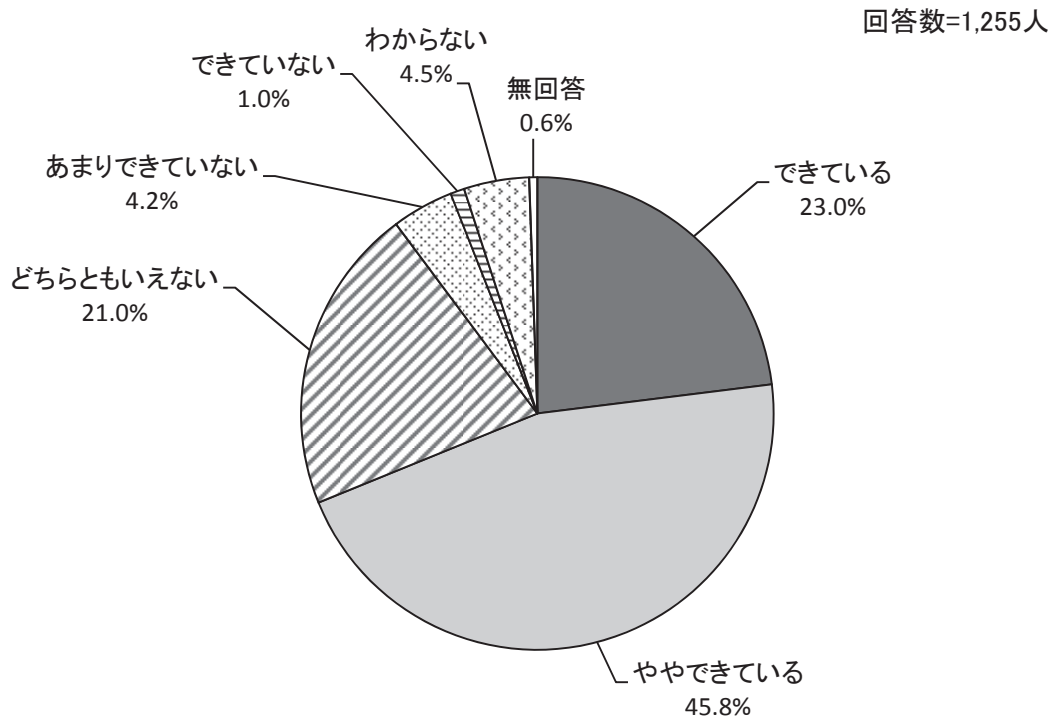


居住区別でみると、「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『思う』は、西区（33.8%）が最も高く、南区（27.7%）が最も低い結果となり、両区の差は6.1ポイントありました。

全ての区で『思う』が「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた『思わない』を上回りました。『思う』と『思わない』の差が最も大きかったのは西区（18.4ポイント）で、最も小さかったのは南区（1.5ポイント）でした。

問3 あなたは、自分以外の人の人権を尊重することができていると思いますか。

(当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)

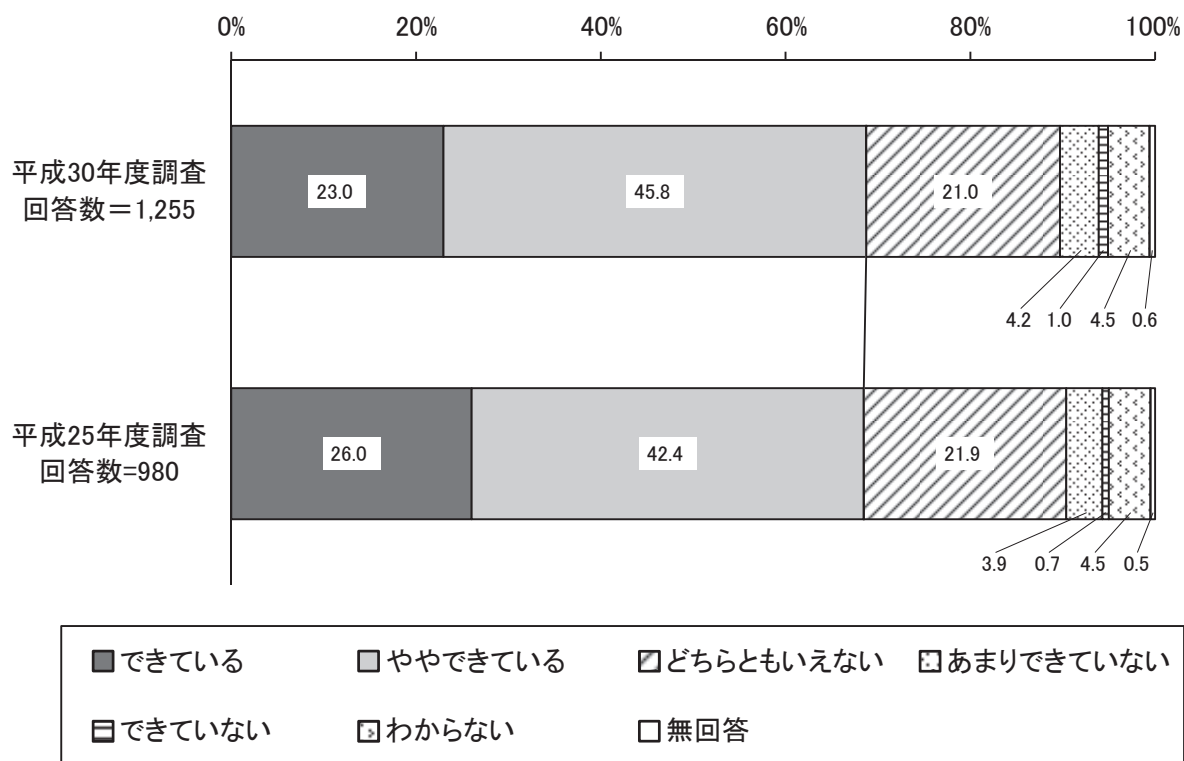


自分以外の人の人権を尊重しているかについて、「ややできている」が45.8%で最も高く、次いで「できている」(23.0%)、「どちらともいえない」(21.0%)の順に高い結果となりました。

「できている」と「ややできている」を合わせた『できている』は68.8%となり、「あまりできていない」と「できていない」を合わせた『できていない』の5.2%を63.6ポイント上回りました。

問2でたずねた人権尊重意識の定着について、『思う』が30.2%だったことと比較すると、自分は『できている』(68.8%)と考えている人が多い結果となりました。

【経年比較】



平成 25 年度調査と比較すると、「できている」と「ややできている」を合わせた『できている』（68.8%）は、平成 25 年度調査（68.4%）より 0.4 ポイント高くなっています。

「あまりできていない」と「できていない」を合わせた『できていない』は、平成 25 年度調査より 0.6 ポイント高くなっています。『できている』『できていない』とも前回調査からの増減は、1 ポイント以内に収まっており、大きな変化はなかったといえます。

【性別・年代別】

(単位：%)

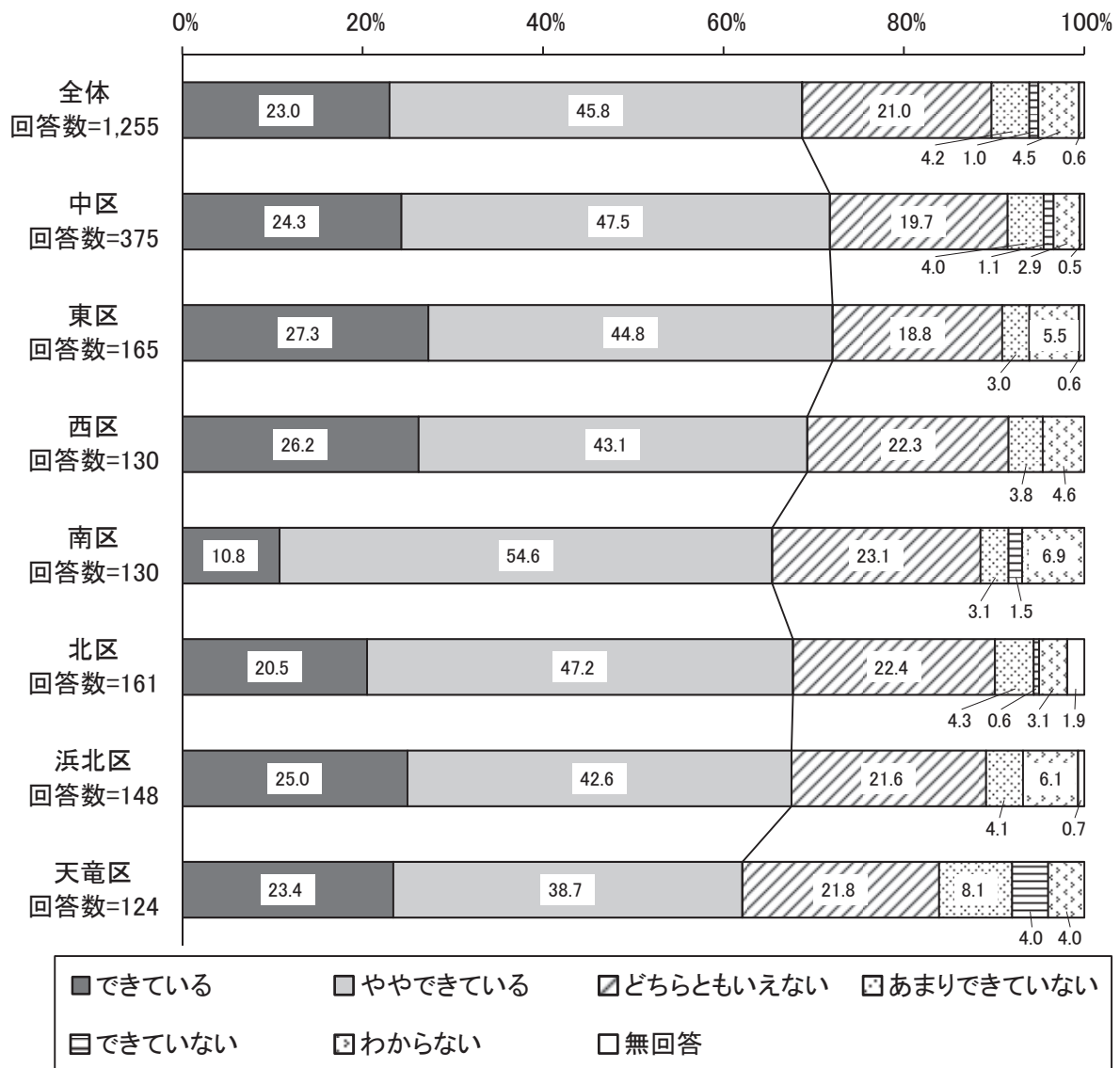
		回答数 (人)	できている	ややできている	どちらともいえない	あまりできていない	できていない	わからない	無回答
全 体		1,255	23.0	45.8	21.0	4.2	1.0	4.5	0.6
性別	男 性	548	26.3	41.1	23.0	4.6	1.3	3.1	0.7
	女 性	680	20.3	49.7	19.7	4.0	0.7	5.1	0.4
	その他	3	33.3	66.7	-	-	-	-	-
年代別	10歳代	23	26.1	47.8	13.0	4.3	4.3	4.3	-
	20歳代	113	15.0	52.2	21.2	3.5	2.7	5.3	-
	30歳代	139	18.7	45.3	27.3	5.8	-	2.9	-
	40歳代	211	16.1	49.8	24.6	2.8	-	6.6	-
	50歳代	220	23.6	42.3	25.0	5.5	0.5	3.2	-
	60歳代	275	25.1	45.8	20.4	2.5	1.5	2.9	1.8
	70歳代以上	252	31.7	43.3	12.7	5.2	1.2	5.2	0.8

性別で見ると、「できている」と「ややできている」を合わせた『できている』は、女性（70.0%）の方が男性（67.4%）より2.6ポイント高くなっています。

年代別で見ると、『できている』は20歳代から50歳代までが65%前後と低くなっています。

性別・年代を問わず『できている』が『できていない』を大幅に上回っています。

【居住区別】

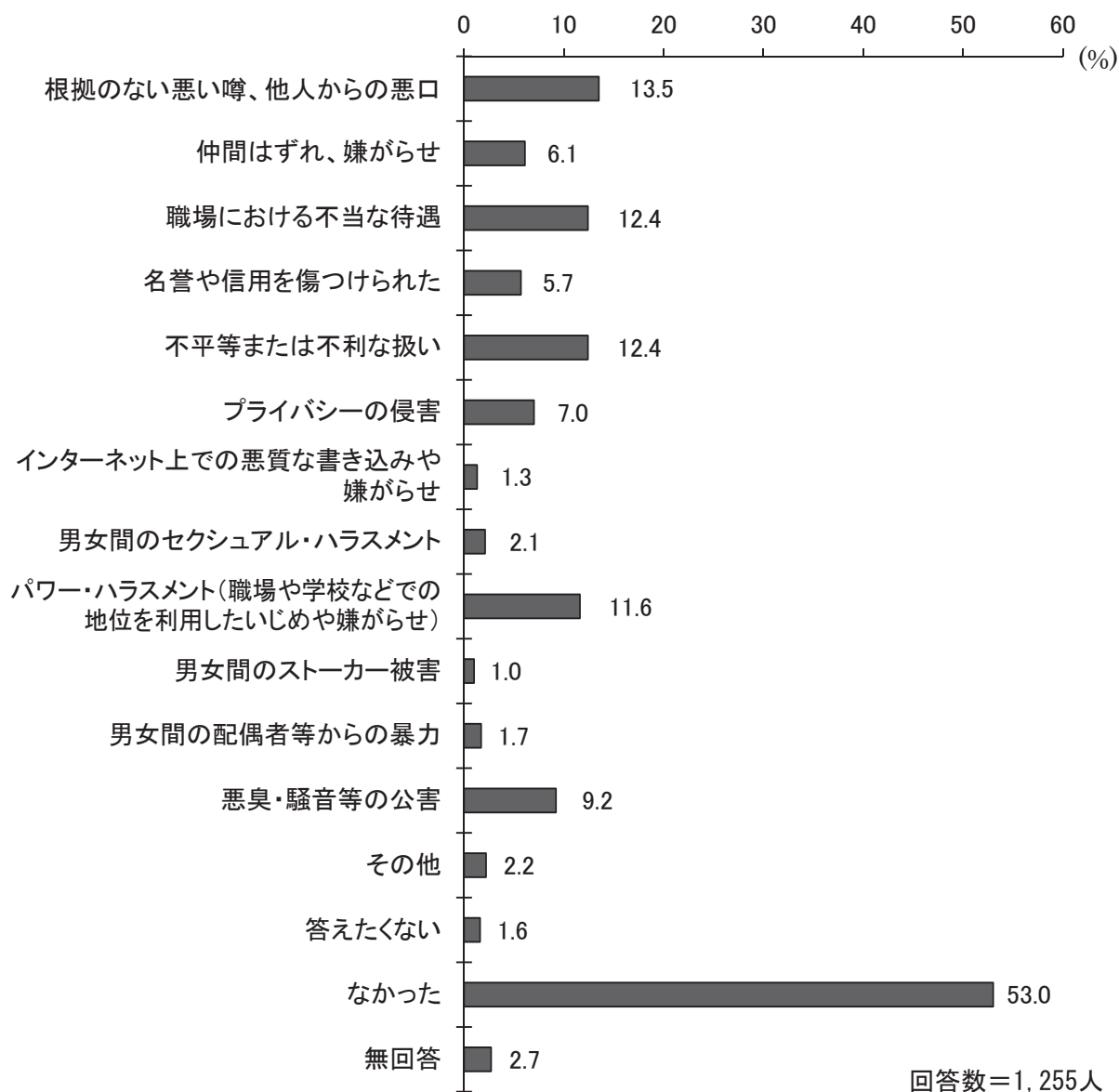


居住区別でみると、「できている」は東区（27.3%）が最も高く、南区（10.8%）が最も低い結果となりました。「できている」と「ややできている」を合わせた『できている』は、東区（72.1%）が最も高く、天竜区（62.1%）が最も低い結果となりました。

全ての区で『できている』が「あまりできていない」と「できていない」を合わせた『できていない』を大幅に上回りました。

問4 あなたは、この5年ほどの間に、次の事例のようなことで自分の人権が侵害されたと思ったことはありますか？

(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)



自分の人権が侵害されたと思った事例としては、「根拠のない悪い噂、他人からの悪口」が13.5%で最も高く、「職場における不当な待遇」(12.4%)、「不平等または不利な扱い」(12.4%)、「パワー・ハラスメント」(11.6%)も回答割合が1割を超えました。1つの事例に回答が集中するのではなく、回答が分散される結果となりました。

自分の人権が侵害されたと思ったことが「ある」と答えた人は、約40%となりました。「なかった」は53.0%でした。

【性別・年代別】

(単位：%)

		回答数 (人)	根拠のない悪い噂、他人からの悪口	仲間はずれ、嫌がらせ	職場における不当な待遇	名誉や信用を傷つけられた	不平等または不利な扱い	プライバシーの侵害	書き込みや嫌がらせ	インターネット上での悪質な	ハラスメント	男女間のセクシュアル・	パワー・ハラスメント	男女間のストーカー被害	男女間の配偶者等からの暴力	悪臭・騒音等の公害	その他	答えたくない	なかった	無回答
全体		1,255	13.5	6.1	12.4	5.7	12.4	7.0	1.3	2.1	11.6	1.0	1.7	9.2	2.2	1.6	53.0	2.7		
性別	男性	548	12.6	5.7	13.7	7.8	13.3	5.7	2.2	1.3	12.0	0.9	0.9	10.2	2.0	1.5	51.1	3.1		
	女性	680	14.3	6.3	11.0	4.0	11.6	8.1	0.4	2.6	11.0	1.2	2.2	8.2	1.9	1.5	54.9	2.4		
	その他	3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3	33.3	-		
年代別	10歳代	23	17.4	4.3	8.7	8.7	13.0	4.3	4.3	-	17.4	4.3	-	8.7	-	-	52.2	-		
	20歳代	113	20.4	8.0	23.0	3.5	16.8	11.5	3.5	5.3	17.7	4.4	1.8	8.8	1.8	0.9	43.4	3.5		
	30歳代	139	18.7	7.9	16.5	7.2	18.7	9.4	1.4	4.3	18.7	-	0.7	7.9	0.7	2.2	44.6	-		
	40歳代	211	20.4	9.0	17.1	6.2	15.2	8.1	0.9	1.9	19.0	2.4	1.9	8.5	1.9	0.9	47.4	0.9		
	50歳代	220	15.9	8.6	14.5	8.2	14.5	7.3	1.4	2.7	15.0	0.5	3.2	9.1	2.7	1.8	45.9	2.3		
	60歳代	275	8.7	4.0	9.8	6.9	10.5	5.5	1.1	1.5	6.2	0.4	1.1	10.2	1.8	1.1	57.1	4.0		
	70歳代以上	252	4.8	2.0	2.0	2.0	5.2	4.8	0.4	-	0.8	-	1.2	9.9	2.8	2.4	69.0	4.4		

性別で見ると、「なかった」を除けば男性は「職場における不当な待遇」(13.7%)が、女性は「根拠のない悪い噂、他人からの悪口」(14.3%)が最も高くなりました。

年代別で見ると、全ての年代で「なかった」が最も高い結果となりました。

全体で回答割合が1割を超えた選択肢をみると、最も高かった「根拠のない悪い噂、他人からの悪口」は60歳代以上の回答割合が相対的に低くなっています。「職場における不当な待遇」は20歳代、「不平等または不利な扱い」は30歳代、「パワー・ハラスメント」は40歳代が相対的に高くなっています。年齢やライフスタイルにより侵害された人権も異なってくるのがうかがえます。

【性別・年代別詳細】

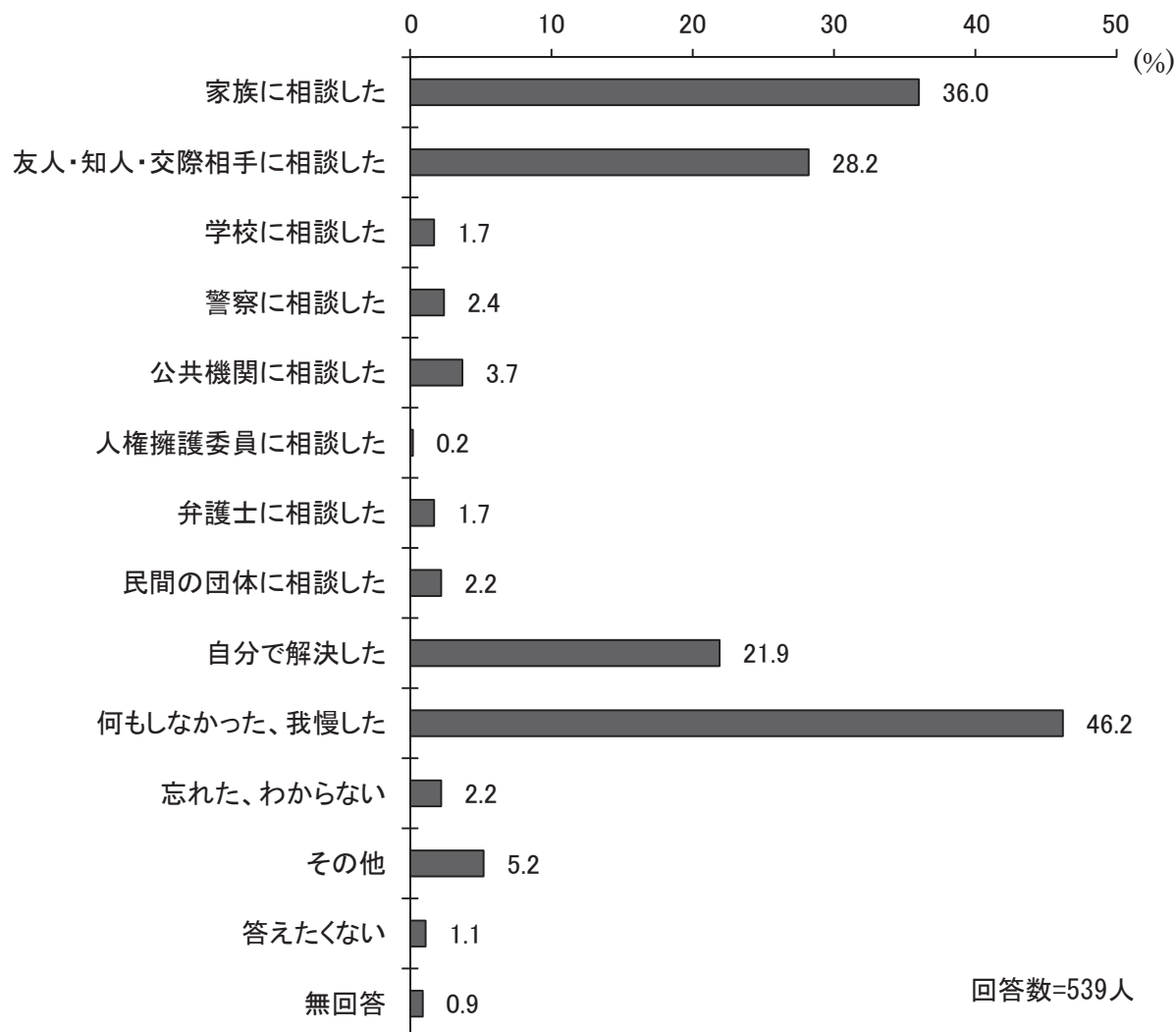
(単位：%)

		回答数 (人)	根拠のない悪い噂、他人からの悪口	仲間はずれ、嫌がらせ	職場における不当な待遇	名誉や信用を傷つけられた	不平等または不利な扱い	プライバシーの侵害	込みや嫌がらせ	インターネット上での悪質な書き込み	男女間のセクシュアル・ハラスメント	パワー・ハラスメント	男女間のストーカー被害	男女間の配偶者等からの暴力	悪臭・騒音等の公害	その他	答えたくない	なかった	無回答
全体		1,255	13.5	6.1	12.4	5.7	12.4	7.0	1.3	2.1	11.6	1.0	1.7	9.2	2.2	1.6	53.0	2.7	
男性	合計	548	12.6	5.7	13.7	7.8	13.3	5.7	2.2	1.3	12.0	0.9	0.9	10.2	2.0	1.5	51.1	3.1	
	10歳代	10	30.0	-	20.0	20.0	10.0	10.0	10.0	-	30.0	-	-	-	-	-	40.0	-	
	20歳代	38	21.1	13.2	15.8	5.3	15.8	5.3	5.3	2.6	21.1	2.6	-	13.2	-	-	44.7	5.3	
	30歳代	53	15.1	11.3	22.6	5.7	18.9	5.7	1.9	1.9	24.5	-	-	5.7	-	1.9	49.1	-	
	40歳代	81	22.2	6.2	17.3	8.6	14.8	6.2	1.2	-	17.3	2.5	1.2	4.9	1.2	2.5	40.7	1.2	
	50歳代	106	14.2	7.5	17.0	9.4	14.2	5.7	2.8	2.8	13.2	0.9	1.9	10.4	2.8	1.9	47.2	3.8	
	60歳代	139	7.9	4.3	12.9	10.8	15.1	7.2	2.2	1.4	9.4	0.7	0.7	12.2	2.2	1.4	50.4	3.6	
	70歳代以上	121	5.0	0.8	4.1	3.3	6.6	3.3	0.8	-	0.8	-	0.8	13.2	3.3	0.8	66.1	4.1	
女性	合計	680	14.3	6.3	11.0	4.0	11.6	8.1	0.4	2.6	11.0	1.2	2.2	8.2	1.9	1.5	54.9	2.4	
	10歳代	13	7.7	7.7	-	-	15.4	-	-	-	7.7	7.7	-	15.4	-	-	61.5	-	
	20歳代	74	18.9	4.1	25.7	1.4	16.2	13.5	1.4	5.4	14.9	5.4	2.7	5.4	1.4	1.4	43.2	2.7	
	30歳代	85	21.2	5.9	12.9	8.2	18.8	11.8	1.2	5.9	15.3	-	1.2	9.4	1.2	1.2	42.4	-	
	40歳代	127	19.7	11.0	17.3	4.7	15.0	9.4	0.8	3.1	20.5	2.4	2.4	10.2	2.4	-	51.2	0.8	
	50歳代	114	17.5	9.6	12.3	7.0	14.9	8.8	-	2.6	16.7	-	4.4	7.9	2.6	1.8	44.7	0.9	
	60歳代	136	9.6	3.7	6.6	2.9	5.9	3.7	-	1.5	2.9	-	1.5	8.1	1.5	0.7	64.0	4.4	
	70歳代以上	130	4.6	3.1	-	0.8	3.8	6.2	-	-	0.8	-	1.5	6.9	2.3	3.8	71.5	4.6	
その他		3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3	33.3	-	

性別・年代別でみると、「男女間のセクシュアル・ハラスメント」「男女間のストーカー被害」「男女間の配偶者等からの暴力」といった男女間の事例をみると、いずれも回答割合が3%未満の少数意見ではありますが、女性の方が男性よりも上回っており、男性から女性への人権侵害が多いことがうかがえます。

なかでも、20歳代、30歳代女性の回答割合が高くなっています。

**問5 問4で1～13のいずれかに○をつけた方にお聞きします。
あなたは自分の人権が侵害されたと思ったときどうしましたか？**
(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)



自分の人権が侵害されたと思った時にどうしたかをたずねたところ、「何もしなかった、我慢した」が46.2%で最も高い結果となりました。次いで「家族に相談した」(36.0%)、「友人・知人・交際相手に相談した」(28.2%)、「自分で解決した」(21.9%)の順に高く、相談機関を利用した人はいずれも10%未満の回答割合となりました。

【性別・年代別】

(単位：%)

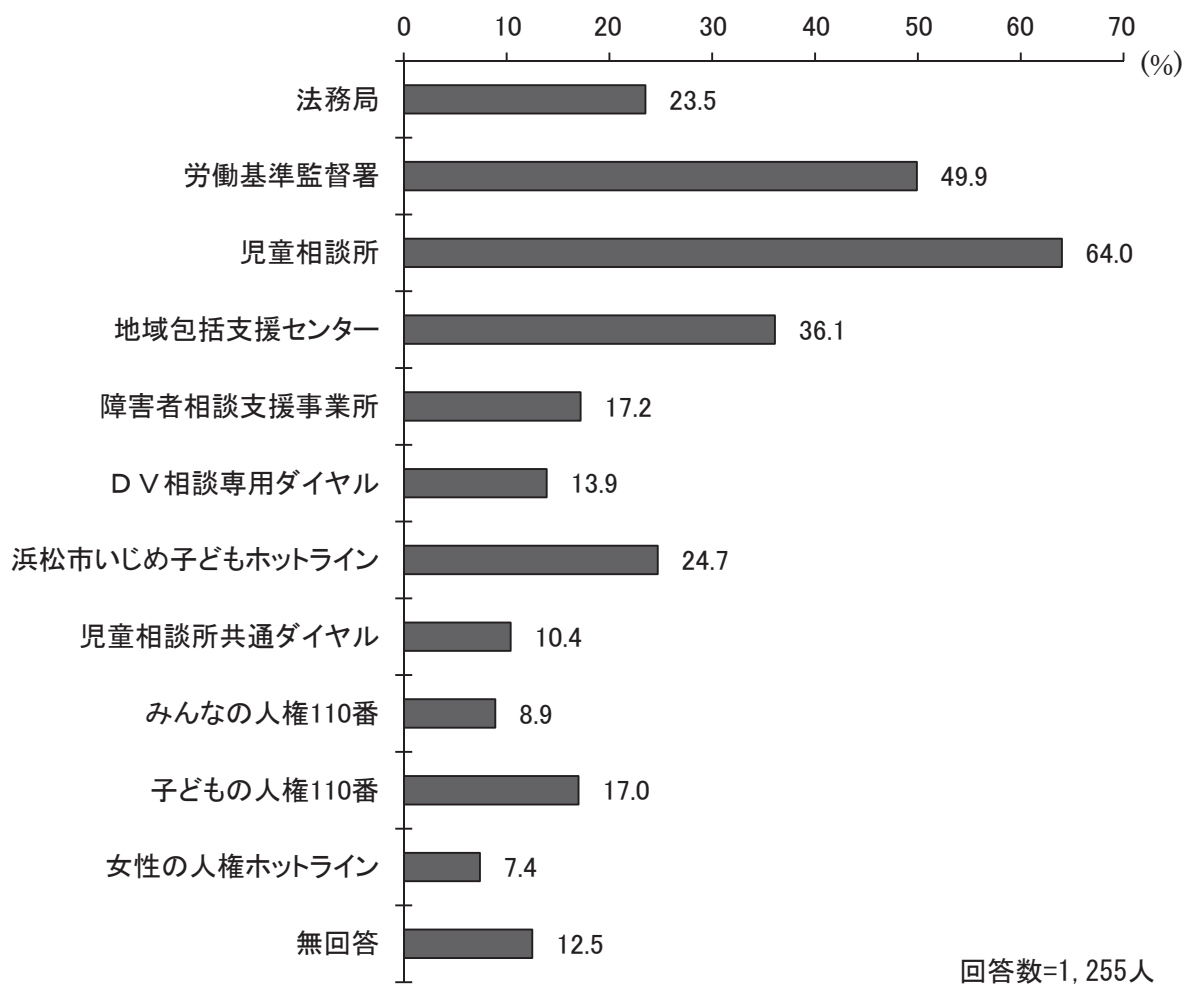
		回答数 (人)	家族に相談した	友人・知人・交際相手に相談した	学校に相談した	警察に相談した	公共機関に相談した	人権擁護委員に相談した	弁護士に相談した	民間の団体に相談した	自分で解決した	何もしなかった、我慢した	忘れた、わからない	その他	答えたくない	無回答
全体		539	36.0	28.2	1.7	2.4	3.7	0.2	1.7	2.2	21.9	46.2	2.2	5.2	1.1	0.9
性別	男性	244	27.5	16.4	2.0	2.5	3.7	-	2.5	2.0	26.6	51.2	2.0	3.7	1.2	1.2
	女性	283	43.8	38.5	1.4	2.5	3.9	0.4	1.1	2.5	18.7	41.3	2.5	6.0	0.7	0.7
	その他	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-
年代別	10歳代	11	45.5	36.4	18.2	-	-	-	-	-	45.5	36.4	-	-	-	-
	20歳代	59	30.5	39.0	6.8	1.7	1.7	-	-	-	25.4	39.0	5.1	6.8	-	-
	30歳代	74	51.4	27.0	-	-	1.4	-	-	-	20.3	40.5	1.4	1.4	1.4	-
	40歳代	107	40.2	32.7	1.9	3.7	4.7	-	1.9	5.6	19.6	43.0	2.8	9.3	0.9	0.9
	50歳代	110	33.6	25.5	0.9	1.8	5.5	-	0.9	1.8	23.6	50.0	1.8	5.5	-	-
	60歳代	105	35.2	25.7	-	3.8	4.8	-	3.8	1.9	23.8	45.7	1.9	4.8	1.9	1.9
	70歳代以上	63	22.2	19.0	-	3.2	3.2	1.6	3.2	3.2	17.5	58.7	1.6	1.6	1.6	3.2

性別でみると、「家族に相談した」と「友人・知人・交際相手に相談した」は女性の方が10ポイント以上高くなりました。同じ相談でも、学校、警察、公共機関等のへの相談は回答割合が低いことに加え、性別による差があまり見られませんでした。

男性は「自分で解決した」「何もしなかった、我慢した」が女性よりも高くなりました。

問6 人権に関する相談窓口として、次のものがあります。あなたが知っている相談窓口はありますか？

(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)



相談窓口の認知度は、「児童相談所」が64.0%で最も高く、次いで「労働基準監督署」(49.9%)、「地域包括支援センター」(36.1%)、「浜松市いじめ子どもホットライン」(24.7%)、「法務局」(23.5%)の順に高くなっています。

最も低かったのは「女性の人権ホットライン」の7.4%となり、次いで「みんなの人権110番」(8.9%)、「児童相談所共通ダイヤル」(10.4%)の順に低くなっています。

【性別・年代別】

(単位：%)

		回答数 (人)	法務局	労働基準監督署	児童相談所	地域包括支援センター	障害者相談支援事業所	DV相談専用ダイヤル	浜松市いじめ子どもホットライン	児童相談所共通ダイヤル	みんなの人権110番	子どもの人権110番	女性の人権ホットライン	無回答
全体		1,255	23.5	49.9	64.0	36.1	17.2	13.9	24.7	10.4	8.9	17.0	7.4	12.5
性別	男性	548	25.9	53.5	56.9	28.5	13.7	10.0	14.6	7.3	8.2	12.2	3.1	15.1
	女性	680	21.6	47.1	70.1	42.2	19.6	16.8	32.1	13.1	9.4	20.9	10.4	9.7
	その他	3	-	66.7	100.0	33.3	66.7	-	66.7	-	-	33.3	33.3	-
年代別	10歳代	23	8.7	13.0	52.2	13.0	4.3	-	56.5	8.7	21.7	30.4	-	-
	20歳代	113	9.7	31.9	68.1	20.4	12.4	14.2	37.2	10.6	8.0	12.4	8.0	16.8
	30歳代	139	10.8	39.6	64.0	18.0	11.5	15.8	34.5	9.4	8.6	13.7	10.1	15.8
	40歳代	211	12.8	47.4	67.3	21.3	12.3	16.1	35.5	11.8	5.7	25.1	10.0	13.3
	50歳代	220	24.1	60.0	65.9	38.2	16.4	16.4	26.8	9.5	9.1	18.6	8.6	8.6
	60歳代	275	27.6	58.2	68.0	49.8	17.5	13.5	13.5	10.9	9.5	13.8	5.8	9.8
	70歳代以上	252	41.3	51.2	55.2	50.8	27.4	9.5	10.7	10.3	9.9	15.1	4.0	13.9

全体の回答割合が2割を超えた選択肢を性別でみると、「児童相談所」「地域包括支援センター」「浜松市いじめ子どもホットライン」は女性の方が男性よりも10ポイント以上高くなっています。「法務局」「労働基準監督署」は男性の方が女性よりも高くなっています。

年代別でみると、10歳代は「浜松市いじめ子どもホットライン」「みんなの人権110番」「子どもの人権110番」が他の年代と比較して高くなっています。

【問5で「自分で解決した」「何もしなかった、我慢した」と回答した人との関連】

(単位：%)

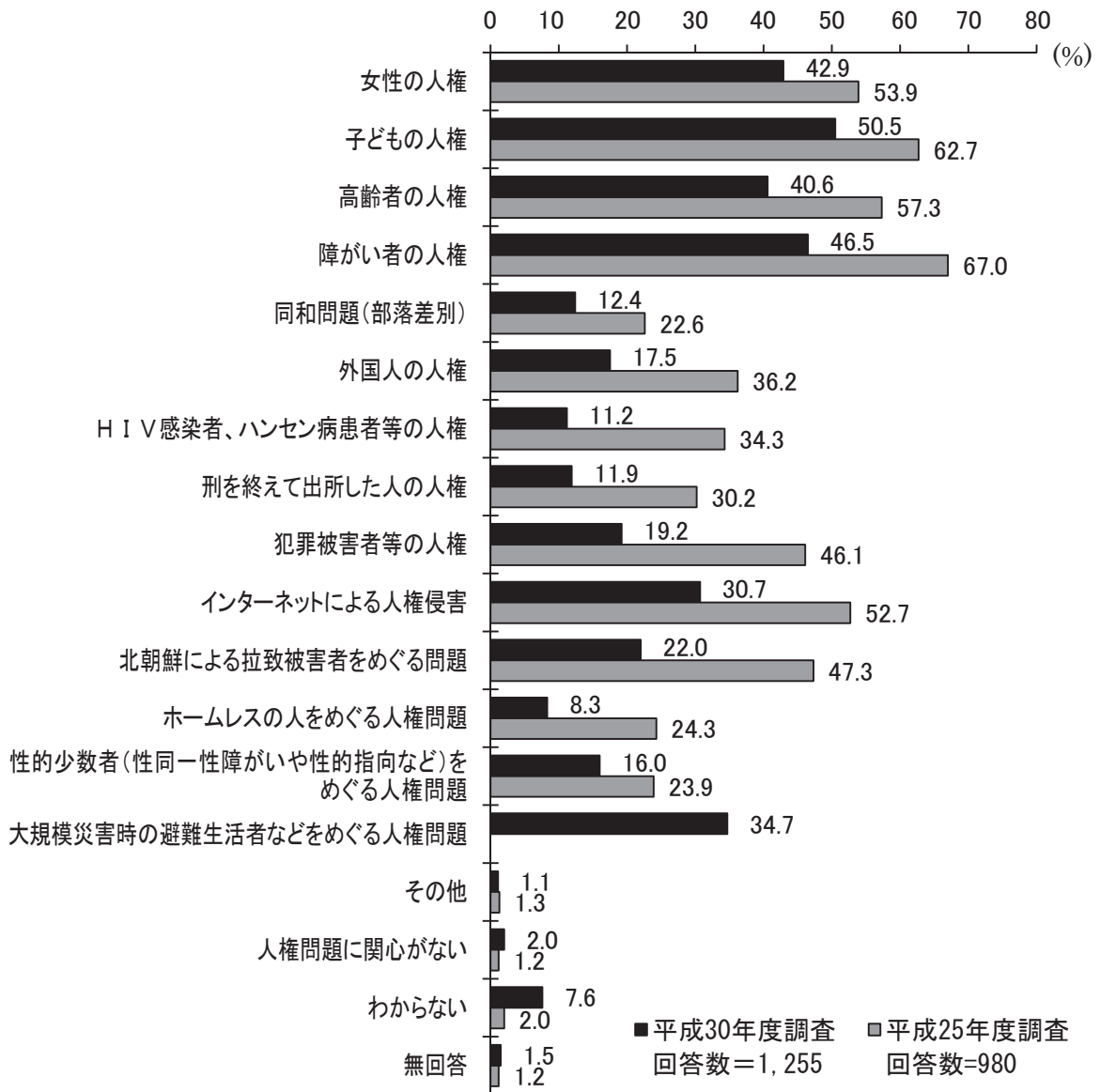
	回答数 (人)	法務局	労働基準監督署	児童相談所	地域包括支援センター	障害者相談支援事業所	DV相談専用ダイヤル	ホッソトライン	浜松市いじめ子ども	児童相談所共通ダイヤル	みんなの人権110番	子どもの人権110番	女性の人権ホットライン	無回答
全体	1,255	23.5	49.9	64.0	36.1	17.2	13.9	24.7	10.4	8.9	17.0	7.4	12.5	
自分で解決した	118	22.0	54.2	57.6	38.1	16.9	11.9	22.9	14.4	11.9	15.3	11.9	16.1	
何もしなかった、我慢した	249	20.9	53.8	60.2	28.5	16.5	16.9	26.5	9.2	8.8	18.9	9.6	14.1	

問5で「自分で解決した」と「何もしなかった、我慢した」と回答した人が問6でどのような回答をしているかをみたところ、概ね全体と同様の結果となっています。

「自分で解決した」「何もしなかった、我慢した」と回答した人は、人権に関する相談窓口の認知度が相対的に低いため自分で解決や我慢したのではなく、全体の回答者と同程度の認知度を持ちながらそのような行動をとったことがうかがえます。

問7 次の人権問題のうち、あなたが関心のある人権問題はどれですか。

(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)



関心のある人権について、「子どもの人権」(50.5%)が最も高く、次いで「障がい者の人権」(46.5%)、「女性の人権」(42.9%)、「高齢者の人権」(40.6%)の順に高くなっています。また、「大規模災害時の避難生活者などをめぐる人権問題」は、平成30年度調査のみですが、34.7%と関心が高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、選択肢の言い回しの変更や選択肢が増えているため単純比較はできませんが、比較可能な選択肢をみると「人権問題に関心がない」「わからない」以外は全て回答割合が低下しています。

*調査年度により文言が若干異なっている選択肢があります。「大規模災害時の避難生活者などをめぐる人権問題」は平成30年度調査のみの選択肢です。

【性別・年代別】

(単位：%)

		回答数 (人)	女性の人権	子どもの人権	高齢者の人権	障がい者の人権	同和問題	外国人の人権	HIV感染者、ハンセン病患者等の人権	刑を終えて出所した人の人権	犯罪被害者等の人権	インターネットによる人権侵害	北朝鮮による拉致被害者をめぐる問題	ホームレスの人をめぐる人権問題	性的少数者をめぐる人権問題	大規模災害時の避難生活者などをめぐる人権問題	その他	人権問題に関心がない	わからない	無回答
全体		1,255	42.9	50.5	40.6	46.5	12.4	17.5	11.2	11.9	19.2	30.7	22.0	8.3	16.0	34.7	1.1	2.0	7.6	1.5
性別	男性	548	25.4	43.1	37.8	46.9	14.4	18.4	13.1	13.7	21.7	27.9	23.5	9.1	13.5	33.8	1.6	2.9	7.8	2.0
	女性	680	57.2	56.6	43.2	46.5	10.7	16.8	10.0	10.6	17.5	33.1	21.2	7.6	18.1	35.9	0.4	0.9	7.5	1.0
	その他	3	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	33.3	66.7	33.3	33.3	-	33.3	-
年代別	10歳代	23	56.5	43.5	39.1	34.8	13.0	30.4	13.0	21.7	17.4	26.1	4.3	8.7	13.0	13.0	-	4.3	8.7	-
	20歳代	113	51.3	50.4	23.0	43.4	9.7	23.9	13.3	15.0	16.8	38.1	8.8	11.5	31.9	28.3	1.8	-	4.4	-
	30歳代	139	45.3	55.4	18.7	43.9	10.8	15.1	4.3	8.6	10.1	33.1	4.3	6.5	20.9	31.7	-	4.3	5.8	0.7
	40歳代	211	47.4	55.0	22.3	40.8	12.3	19.9	9.5	10.0	17.5	36.0	16.1	6.6	23.2	32.2	1.9	1.9	9.5	0.5
	50歳代	220	39.5	45.9	39.1	47.7	11.8	17.3	12.7	10.0	21.8	38.2	16.8	7.3	14.5	40.0	1.8	1.8	5.9	1.4
	60歳代	275	42.2	53.8	53.5	50.9	12.4	15.6	10.9	12.0	22.2	26.5	34.2	9.5	10.9	36.4	0.7	2.2	5.5	2.2
	70歳代以上	252	36.5	45.2	63.5	49.2	15.1	15.1	15.5	15.1	21.8	20.2	36.1	9.1	7.9	37.7	0.4	0.4	13.1	2.8

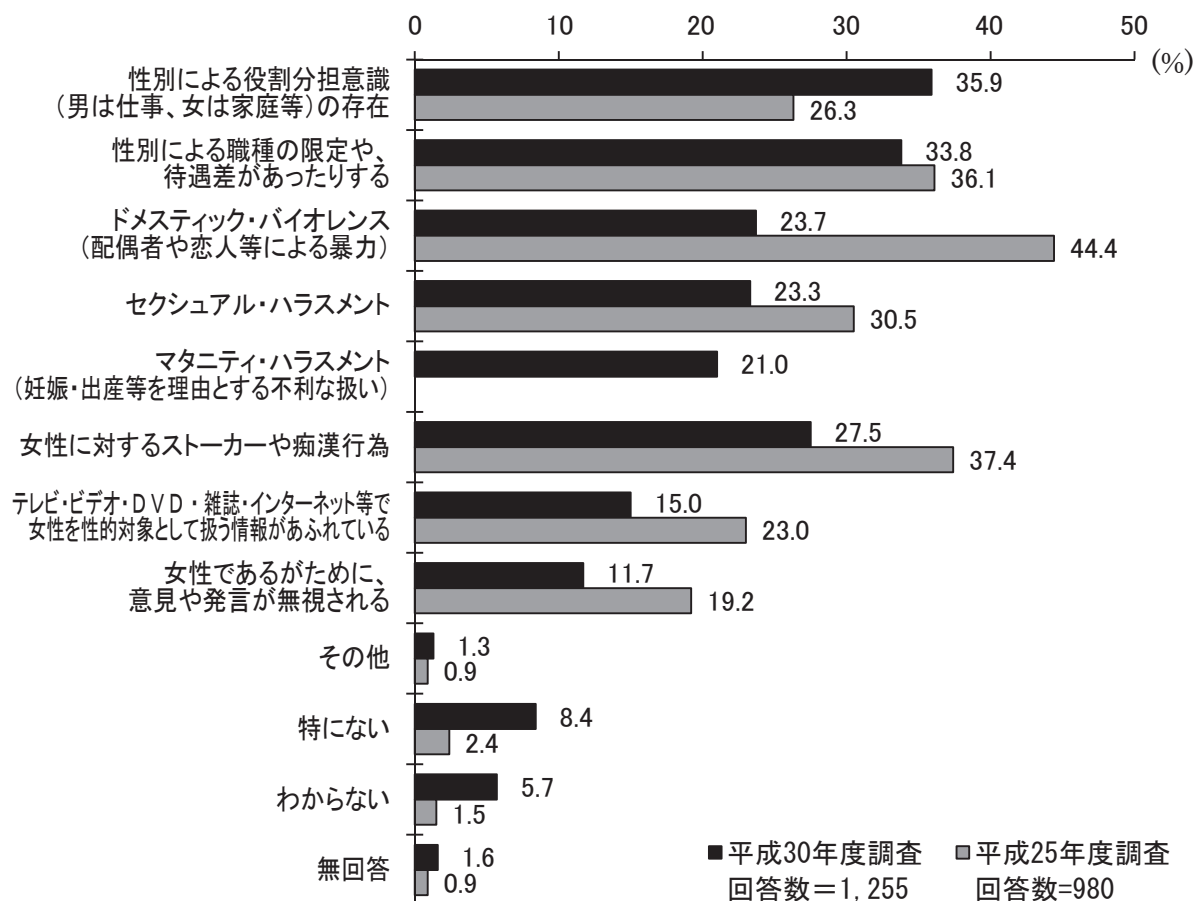
全体の回答割合が4割を超えた選択肢を性別で見ると、「女性の人権」「子どもの人権」「高齢者の人権」は女性の方が高く、特に「女性の人権」は女性（57.2%）、男性（25.4%）と31.8ポイントの差がみられました。「障がい者の人権」は男性（46.9%）、女性（46.5%）とほとんど差がありませんでした。

年代別で見ると、全体の回答割合が最も高かった「子どもの人権」はどの年代でも高い回答割合となりました。「北朝鮮による拉致被害者をめぐる問題」は年代が高いほど回答割合も高い傾向がみられました。

【2 女性の人権について】

問8 次の事例のうち、あなたが特に問題だと思う事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



女性の人権について、特に問題だと思うことは「性別による役割分担意識の存在」(35.9%)が最も高く、次いで「性別による職種の限定や、待遇差があったりする」(33.8%)、「女性に対するストーカーや痴漢行為」(27.5%)の順に高くなっています。

選択肢が大きく異なるため単純比較はできませんが、「性別による役割分担意識の存在」は平成25年度調査よりも9.6ポイント高くなっています。

*「マタニティ・ハラスメント」は平成30年度調査のみの選択肢です。平成25年度調査と平成30年度調査では選択肢が大きく異なります。

【性別・年代別】

(単位：%)

		回答数 (人)	性別による 役割分担意識 の存在	性別による 職種の限定や、 待遇差があ つたりする	ドメ ステイ ック・ バイオ レンス	セク シュ アル・ ハラ スメン ト	マタ ニティ ・ハラ スメン ト	女性に 対する ストー ーカー や痴漢 行為	テレビ・ ビデオ・ DVD・ 雑誌・ インター ネット等 で女性 を性的 対象と して扱 う情報 があふ れている	無視さ れる	女性で あるが ために 、意見 や発言 が	その 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体		1,255	35.9	33.8	23.7	23.3	21.0	27.5	15.0	11.7	1.3	8.4	5.7	1.6	
性別	男 性	548	29.9	36.3	24.1	25.5	17.9	28.1	10.8	8.9	1.6	8.4	6.6	1.8	
	女 性	680	40.6	32.4	23.2	21.6	23.4	27.6	18.4	14.1	0.7	7.6	4.7	1.5	
	その他	3	-	-	66.7	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	-	33.3	-	
年 代 別	10歳代	23	34.8	43.5	43.5	26.1	21.7	13.0	-	17.4	-	-	4.3	-	
	20歳代	113	41.6	25.7	27.4	31.0	43.4	33.6	6.2	7.1	3.5	3.5	3.5	-	
	30歳代	139	43.2	36.7	23.7	24.5	36.7	20.1	12.9	8.6	0.7	2.9	6.5	-	
	40歳代	211	31.8	33.6	28.4	28.0	22.3	32.7	12.3	13.3	1.9	5.7	5.2	0.5	
	50歳代	220	35.5	30.5	28.2	29.5	20.5	32.7	14.1	13.6	0.5	6.4	1.8	1.8	
	60歳代	275	36.0	38.9	21.8	19.3	18.5	28.0	21.1	12.0	0.7	6.2	4.4	2.9	
	70歳代以上	252	31.7	33.7	13.9	14.3	4.0	22.2	17.5	11.5	1.2	19.4	11.5	2.8	

性別で見ると、「性別による役割分担意識の存在」「マタニティ・ハラスメント」「テレビ・ビデオ・DVD・雑誌・インターネット等で女性を性的対象として扱う情報があふれている」「女性であるがために、意見や発言が無視される」は女性の方が男性よりも回答割合が5ポイント以上高くなっています。「性別による職種の限定や、待遇差があつたりする」「セクシュアル・ハラスメント」は男性の方が女性よりも高くなっています。

年代別で見ると、「性別による役割分担意識の存在」は30歳代(43.2%)、20歳代(41.6%)が高くなりました。

「マタニティ・ハラスメント」は概ね年代が低くなると、回答割合が高くなる傾向がみられました。

【性別・年代別詳細】

(単位：%)

		回答数 (人)	性別による 役割分担意識の 存在	性別による職種の 限定や、待遇差が あつたりする	ドメスティック・ バイオレンス	セクシュアル・ ハラスメント	マタニティ・ ハラスメント	女性に対するストー ーカーや痴漢行為	テレビ・ビデオ・ DVD・雑誌・イン ターネット等で 女性を性的対象と して扱う情報があ ふれている	無視される	女性であるがた めに、意見や発 言が	その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体		1,255	35.9	33.8	23.7	23.3	21.0	27.5	15.0	11.7	1.3	8.4	5.7	1.6	
男性	合計	548	29.9	36.3	24.1	25.5	17.9	28.1	10.8	8.9	1.6	8.4	6.6	1.8	
	10歳代	10	10.0	40.0	50.0	40.0	10.0	20.0	-	10.0	-	-	10.0	-	
	20歳代	38	28.9	26.3	34.2	28.9	39.5	28.9	-	2.6	5.3	7.9	2.6	-	
	30歳代	53	37.7	35.8	17.0	26.4	28.3	17.0	3.8	7.5	1.9	5.7	7.5	-	
	40歳代	81	25.9	32.1	25.9	34.6	17.3	28.4	7.4	9.9	2.5	7.4	6.2	-	
	50歳代	106	29.2	31.1	26.4	34.0	20.8	39.6	8.5	6.6	0.9	7.5	3.8	0.9	
	60歳代	139	30.9	41.7	28.1	21.6	18.0	28.1	17.3	9.4	-	5.8	5.8	4.3	
	70歳代以上	121	30.6	40.5	14.0	14.0	5.0	23.1	14.9	12.4	2.5	14.9	10.7	2.5	
女性	合計	680	40.6	32.4	23.2	21.6	23.4	27.6	18.4	14.1	0.7	7.6	4.7	1.5	
	10歳代	13	53.8	46.2	38.5	15.4	30.8	7.7	-	23.1	-	-	-	-	
	20歳代	74	48.6	25.7	23.0	32.4	44.6	36.5	9.5	9.5	1.4	1.4	4.1	-	
	30歳代	85	47.1	37.6	28.2	23.5	42.4	22.4	18.8	9.4	-	1.2	4.7	-	
	40歳代	127	36.2	35.4	29.9	23.6	26.0	35.4	15.7	15.7	1.6	3.9	3.9	0.8	
	50歳代	114	41.2	29.8	29.8	25.4	20.2	26.3	19.3	20.2	-	5.3	-	2.6	
	60歳代	136	41.2	36.0	15.4	16.9	19.1	27.9	25.0	14.7	1.5	6.6	2.9	1.5	
	70歳代以上	130	33.1	26.9	13.8	14.6	3.1	21.5	20.0	10.8	-	23.1	12.3	3.1	
その他		3	-	-	66.7	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	-	33.3	-	

「マタニティ・ハラスメント」は20歳代女性(44.6%)、30歳代女性(42.4%)が相対的に高くなっています。女性でも年代が高くなると、回答割合は低くなる傾向がみられます。

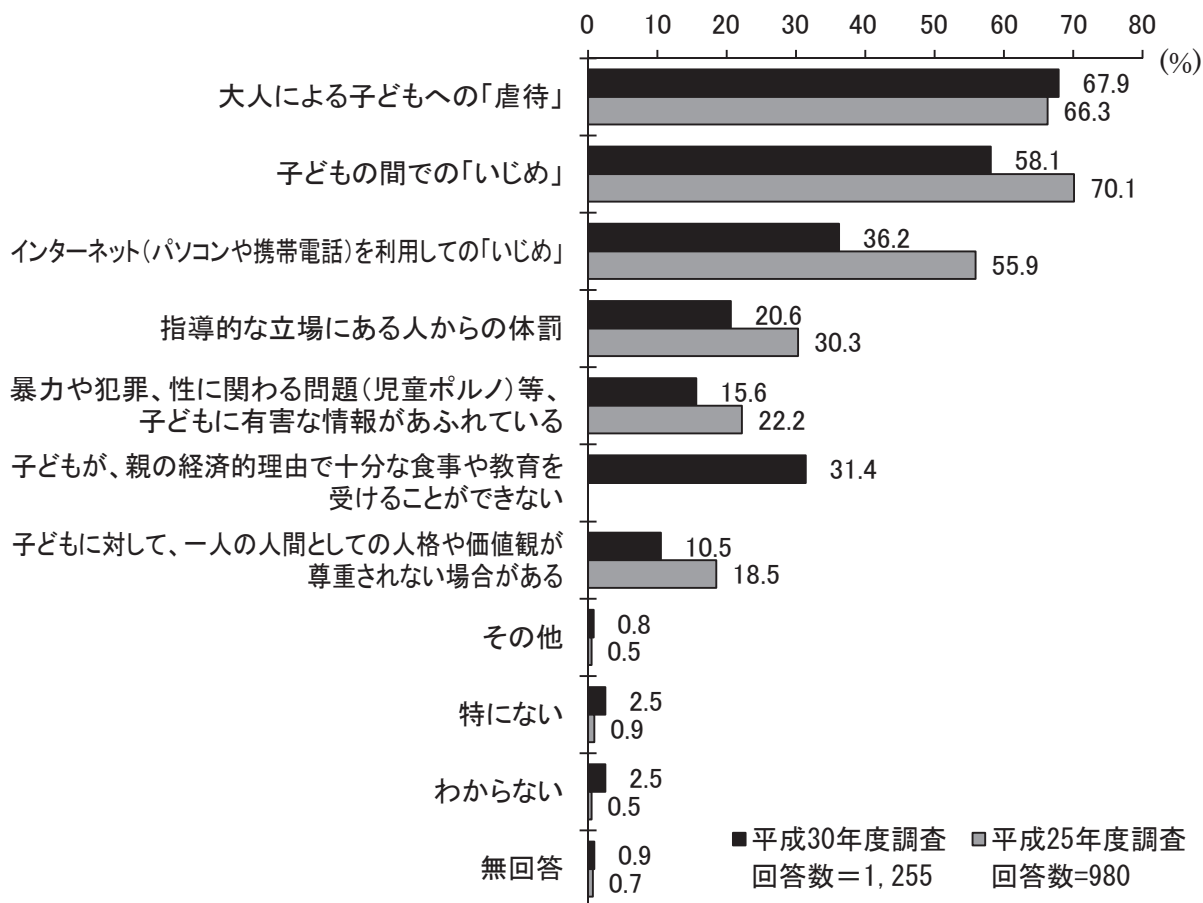
「女性であるがために、意見や発言が無視される」は、10歳代女性(23.1%)、50歳代女性(20.2%)が相対的に高くなっています。女性でも20歳代(9.5%)と30歳代(9.4%)は10%を下回りました。

他の設問と比べ男性・女性・年代により回答割合に大きな差があることも特徴といえます。

【3 子どもの人権について】

問9 次の事例のうち、あなたが特に問題だと思う事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



子どもの人権について特に問題だと思うことは、『大人による子どもへの「虐待」』(67.9%)が最も高く、次いで『子ども間での「いじめ」』(58.1%)、『インターネットを利用した「いじめ」』(36.2%)、「子どもが、親の経済的理由で十分な食事や教育を受けることができない」(31.4%)の順に高くなっています。

選択肢の入れ替えや、選択肢の文言が若干異なるので単純比較はできませんが、平成25年度調査と比較すると、『大人による子どもへの「虐待」』は1.6ポイント高くなり、『インターネットを利用した「いじめ」』は19.7ポイント低くなっています。

*『大人による子どもへの「虐待」』は平成25年度調査では『大人による子どもへ「虐待」があること』になっているなど、調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。「子どもが、親の経済的理由で十分な食事や教育を受けることができない」は平成30年度調査のみの選択肢です。

【性別・年代別】

(単位：%)

		回答数 (人)	大人による子どもへの「虐待」	子ども間での「いじめ」	インターネットを利用した「いじめ」	指導的な立場にある人からの体罰	暴力や犯罪、性に関わる問題等、子どもに有害な情報があふれている	子どもが、親の経済的理由で十分な食事や教育を受けることができない	子どもが、親の経済的理由で十分な食事や教育を受けることができない	子どもが、親の経済的理由で十分な食事や教育を受けることができない	子どもが、親の経済的理由で十分な食事や教育を受けることができない	子どもが、親の経済的理由で十分な食事や教育を受けることができない	子どもが、親の経済的理由で十分な食事や教育を受けることができない	子どもが、親の経済的理由で十分な食事や教育を受けることができない
全 体		1,255	67.9	58.1	36.2	20.6	15.6	31.4	10.5	0.8	2.5	2.5	0.9	
性別	男 性	548	66.2	56.0	31.9	23.0	13.3	33.0	10.4	0.7	2.6	2.9	0.9	
	女 性	680	69.6	59.6	40.3	18.7	17.6	30.6	10.7	0.6	2.1	1.9	0.9	
	その他	3	33.3	66.7	-	-	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-	
年代別	10歳代	23	52.2	65.2	21.7	21.7	-	30.4	13.0	-	-	-	-	
	20歳代	113	69.0	50.4	48.7	23.0	9.7	38.1	13.3	1.8	1.8	-	-	
	30歳代	139	64.0	59.0	48.2	10.8	18.7	32.4	12.9	0.7	0.7	3.6	-	
	40歳代	211	71.6	61.6	49.8	17.1	12.3	25.6	10.4	1.4	1.4	1.9	0.5	
	50歳代	220	67.3	59.1	45.0	22.3	15.5	33.6	10.9	0.5	1.4	0.5	0.5	
	60歳代	275	73.1	63.6	25.1	21.1	18.9	33.5	10.9	0.4	1.8	1.1	1.8	
	70歳代以上	252	63.1	50.4	19.4	25.8	17.9	29.8	7.5	0.4	5.6	6.7	1.6	

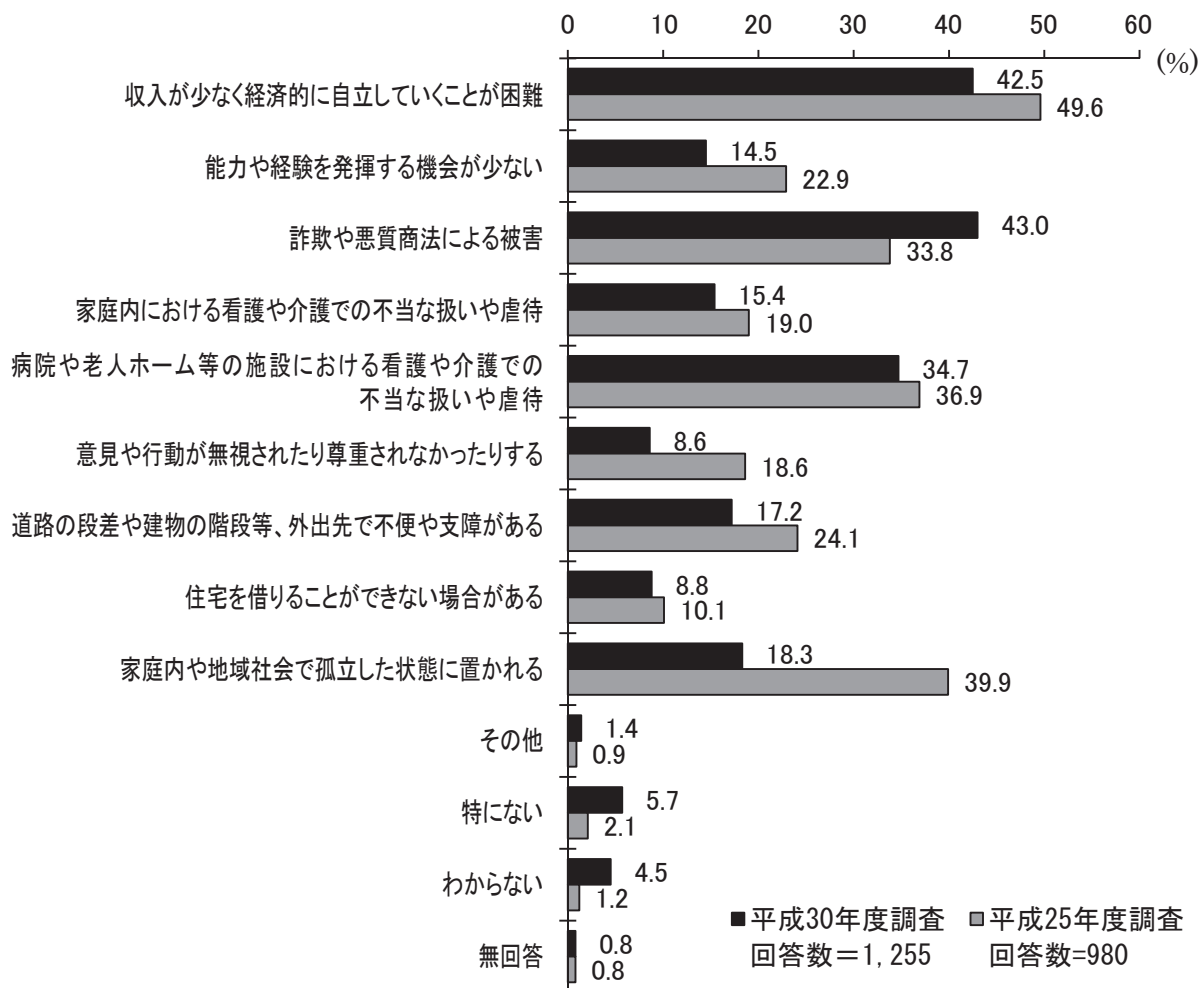
性別でみると、『インターネットを利用したの「いじめ」』は女性 (40.3%) の方が男性 (31.9%) より 8.4 ポイント高くなっています。

年代別でみると、『大人による子どもへの「虐待」』は60歳代 (73.1%) が最も高く、10歳代 (52.2%) が最も低くなっています。『子ども間での「いじめ」』は10歳代 (65.2%) が最も高く、20歳代と70歳代 (いずれも 50.4%) が最も低くなっています。『インターネットを利用したの「いじめ」』は、20歳代から50歳代までは、45%以上と高くなっています。

【4 高齢者の人権について】

問 10 次の事例のうち、あなたが特に問題だと思う事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



高齢者の人権について特に問題だと思うことは、「詐欺や悪質商法による被害」(43.0%)が最も高く、次いで「収入が少なく経済的に自立していくことが困難」(42.5%)、「病院や老人ホーム等の施設における看護や介護での不当な扱いや虐待」(34.7%)の順に高くなっています。

平成25年度調査とは選択肢の文言が若干異なるため単純比較はできませんが、「詐欺や悪質商法による被害」は前回調査(33.8%)より9.2ポイント高くなっています。「家庭内や地域社会で孤立した状態に置かれる」は前回調査(39.9%)より21.6ポイント低くなっています。「収入が少なく経済的に自立していくことが困難」は前回調査(49.6%)より7.1ポイント低くなっています。

*「収入が少なく経済的に自立していくことが困難」は平成25年度調査では「経済的に自立していくことが困難なこと」になっているなど、調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。

【年代別】

(単位：%)

		回答数 (人)	収入が少なく 経済的に自立 していくことが 困難	能力や経験を 発揮する機会が 少ない	詐欺や悪質商法 による被害	家庭内における 虐待	看護院や老人ホ ーム等の施設に おける	意図や行動が無 視されたり尊重 され	道路の段差や建 物の階段等、外 出先	住宅を借りるこ とができない場 合がある	置かれる地域社 会で孤立した状 態に	その他	特 に ない	わ か ら ない	無 回 答
全 体		1,255	42.5	14.5	43.0	15.4	34.7	8.6	17.2	8.8	18.3	1.4	5.7	4.5	0.8
性 別	男 性	548	42.7	15.1	43.6	13.7	32.1	10.6	14.1	10.6	14.4	1.8	5.7	5.3	0.9
	女 性	680	42.2	14.0	42.8	16.8	36.9	7.4	20.3	7.5	21.5	0.7	5.6	3.7	0.7
	その他	3	33.3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-	33.3	-
年 代 別	10歳代	23	21.7	26.1	21.7	17.4	17.4	21.7	17.4	-	8.7	-	4.3	13.0	-
	20歳代	113	35.4	12.4	46.0	27.4	44.2	7.1	18.6	9.7	19.5	5.3	2.7	0.9	0.9
	30歳代	139	41.0	15.8	44.6	21.6	34.5	3.6	14.4	7.2	25.9	-	3.6	6.5	-
	40歳代	211	38.9	10.4	42.2	17.1	39.8	6.2	13.3	10.0	24.6	0.9	4.3	9.5	0.9
	50歳代	220	47.7	15.0	46.8	15.9	40.9	8.2	20.5	9.1	22.3	0.5	1.4	1.4	0.5
	60歳代	275	53.8	19.3	42.9	8.7	31.3	11.6	16.4	12.4	15.3	1.1	4.4	3.6	0.7
	70歳代以上	252	33.7	11.1	40.5	11.9	26.2	10.7	20.6	5.2	9.1	1.6	14.3	4.4	1.6

性別で見ると、全体で回答割合が4割を超えていた「収入が少なく経済的に自立していくことが困難」と「詐欺や悪質商法による被害」は性別による差はほとんどありませんでした。

「道路の段差や建物の階段等、外出先で不便や支障がある」と「家庭内や地域社会で孤立した状態に置かれる」は女性の方が男性よりも5ポイント以上高くなっています。

年代別で見ると、「収入が少なく経済的に自立していくことが困難」は60歳代(53.8%)が最も高く、10歳代(21.7%)が最も低くなっています。70歳代は33.7%と全体の結果(42.5%)よりも低くなっています。

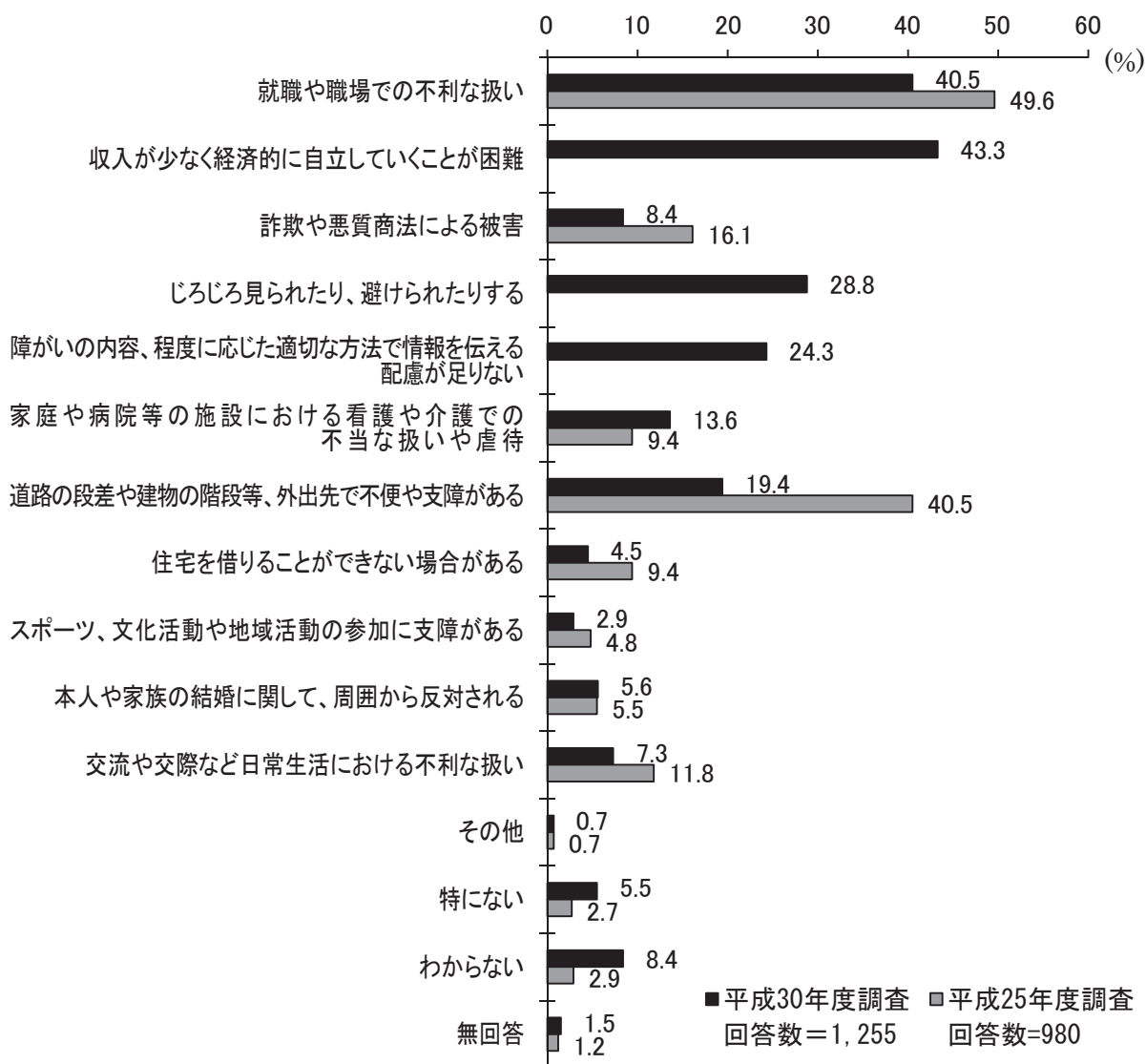
「詐欺や悪質商法による被害」は、10歳代(21.7%)以外は40%台となっています。

70歳代以上は「特にない」が相対的に高く、高齢者自身と他の年代で高齢者の人権に関する見解が異なる結果となりました。

【5 障がいのある人の人権について】

問 11 次の事例のうち、あなたが特に問題だと思う事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



障がいのある人の人権について、特に問題だと思うことは、「収入が少なく経済的に自立していくことが困難」(43.3%)が最も高く、次いで「就職や職場での不利な扱い」(40.5%)、「じろじろ見られたり、避けられたりする」(28.8%)、「障がいの内容、程度に応じた適切な方法で情報を伝える配慮が足りない」(24.3%)の順に高くなっています。

選択肢が大きく異なるため、単純な比較はできませんが、「道路の段差や建物の階段等、外出先で不便や支障がある」(19.4%)は前回調査(40.5%)より21.1ポイント低くなりました。

* 「収入が少なく経済的に自立していくことが困難」「じろじろ見られたり、避けられたりする」「障がいの内容、程度に応じた適切な方法で情報を伝える配慮が足りない」は平成30年度調査のみの選択肢です。平成25年度調査と平成30年度調査では選択肢が大きく異なります。

【性別・年代別】

(単位：%)

		回答数 (人)	就職や職場での不利な扱い	収入が少なく経済的に自立していくことが困難	詐欺や悪質商法による被害	じろじろ見られたり、避けられたりする	方法で情報を伝える程度に適切な配慮が足りない	障がいの内容、程度に適切な見守りやケアが不足している	介護での不当な扱いや虐待	家庭や病院等の施設における看護やケアが不足している	道路の段差や建物の階段等、外出先で不便や支障がある	住宅を借りることができない場合がある	参加に支障がある	スポーツ、文化活動や地域活動の参加に支障がある	周囲から反対される	本人や家族の結婚に関して、不利な扱い	交流や交際など日常生活における支障	その他	特になし	わからない	無回答
全体		1,255	40.5	43.3	8.4	28.8	24.3	13.6	19.4	4.5	2.9	5.6	7.3	0.7	5.5	8.4	1.5				
性別	男性	548	39.4	42.9	8.6	27.7	22.6	13.3	20.4	5.5	3.5	5.3	9.5	1.1	5.1	8.0	2.0				
	女性	680	41.3	43.2	8.5	29.4	25.9	13.8	19.1	4.0	2.5	6.0	5.9	0.3	5.3	8.8	1.0				
	その他	3	-	-	-	33.3	66.7	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-			
年代別	10歳代	23	56.5	39.1	4.3	39.1	13.0	13.0	8.7	8.7	4.3	-	8.7	-	-	8.7	-				
	20歳代	113	47.8	27.4	7.1	47.8	23.9	19.5	14.2	4.4	8.0	8.8	15.0	0.9	5.3	1.8	1.8				
	30歳代	139	35.3	38.8	11.5	28.8	30.9	14.4	13.7	3.6	2.2	12.9	9.4	-	4.3	7.9	0.7				
	40歳代	211	42.7	39.3	10.9	32.2	27.5	14.2	13.3	4.7	2.4	5.2	8.1	0.5	5.2	9.5	0.9				
	50歳代	220	44.1	50.0	10.5	25.9	28.6	15.9	20.5	5.0	2.3	5.9	9.1	0.9	1.8	6.4	-				
	60歳代	275	40.0	49.1	5.1	29.1	23.6	11.3	28.0	5.5	1.5	3.6	5.5	0.7	4.0	8.4	2.2				
	70歳代以上	252	33.3	42.9	7.5	18.3	17.1	11.1	21.8	3.6	3.6	3.2	3.2	0.8	10.7	13.1	2.8				

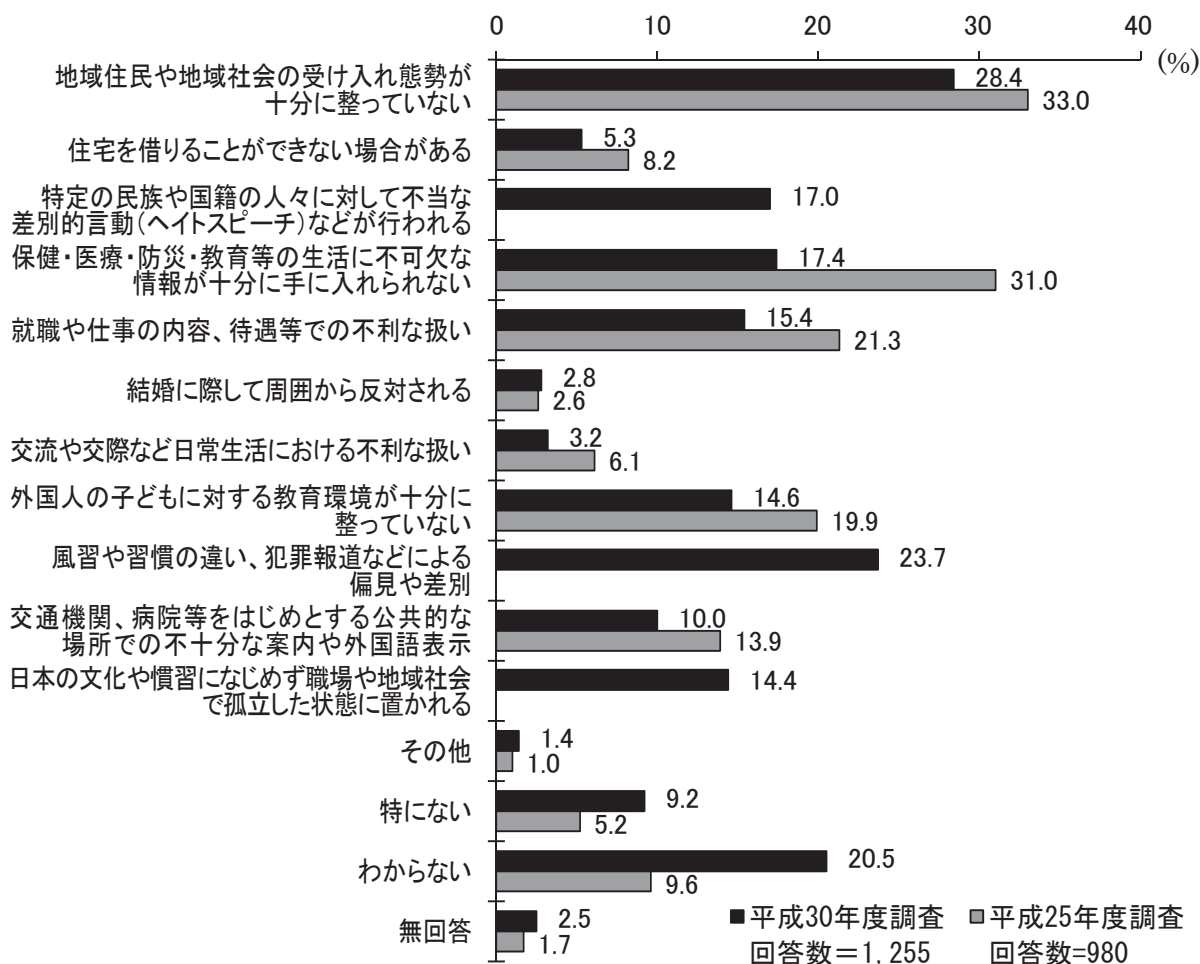
性別で見ると、全ての選択肢で男女差が5ポイント以内に収まっており、女性や子供の人権と比較すると、男女間の認識の差が小さいといえます。

年代別で見ると、「収入が少なく経済的に自立していくことが困難」は、50歳代(50.0%) 60歳代(49.1%)と高く、20歳代(27.4%)が最も低くなりました。

【6 外国人の人権について】

問 12 次の事例のうち、あなたが特に問題だと思う事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



外国人の人権について特に問題だと思うことは、「地域住民や地域社会の受け入れ態勢が十分に整っていない」(28.4%)が最も高く、次いで「風習や習慣の違い、犯罪報道などによる偏見や差別」(23.7%)が高くなっています。「わからない」も20.5%ありました。

選択肢が大きく異なるため、単純比較はできませんが、「保健・医療・防災・教育等の生活に不可欠な情報が十分に手に入れない」(17.4%)は、前回調査(31.0%)より13.6ポイント低くなりました。

* 「特定の民族や国籍の人々に対して不当な差別的言動(ヘイトスピーチ)などが行われる」「風習や習慣の違い、犯罪報道などによる偏見や差別」「日本の文化や慣習になじめず職場や地域社会で孤立した状態に置かれる」は平成30年度調査のみの選択肢です。平成25年度調査と平成30年度調査では選択肢が大きく異なります。

【性別・年代別】

(単位：%)

		回答数 (人)	十分に整っていない	地域住民や地域社会の受け入れ態勢が	住宅を借りることができない場合がある	差別的言動などが行われる	特定の民族や国籍の人々に対して不当な	な情報が十分に手に入れられない	保健・医療・防災・教育等の生活に不可欠	就職や仕事の内容、待遇等での不利な扱い	結婚に際して周囲から反対される	扱いや交際など日常生活における不利な	外国人の子どもに対する教育環境が十分に	偏見や差別	風習や習慣の違い、犯罪報道などによる	な場所での不十分な案内や外国語表示	交通機関、病院等をはじめとする公共的	地域の文化や慣習になじめず職場や	日本の文化や慣習になじめず職場や	その他	特にな	わからない	無回答
全体		1,255	28.4	5.3	17.0	17.4	15.4	2.8	3.2	14.6	23.7	10.0	14.4	1.4	9.2	20.5	2.5						
性別	男性	548	28.8	6.0	19.0	13.7	16.2	2.6	4.2	13.9	26.1	9.5	14.4	1.5	10.6	16.4	3.5						
	女性	680	28.2	4.7	15.4	20.6	14.6	2.8	2.5	15.6	22.5	10.6	14.7	1.2	7.6	23.5	1.8						
	その他	3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	33.3	-	33.3	-					
年代別	10歳代	23	21.7	-	30.4	8.7	17.4	4.3	-	-	43.5	8.7	13.0	-	4.3	21.7	-						
	20歳代	113	28.3	5.3	20.4	21.2	22.1	7.1	5.3	16.8	39.8	10.6	17.7	2.7	8.0	9.7	1.8						
	30歳代	139	28.8	8.6	15.8	18.0	20.1	2.2	2.9	18.0	32.4	8.6	10.8	1.4	9.4	15.1	0.7						
	40歳代	211	25.6	4.7	21.3	20.4	16.1	3.3	4.3	20.9	28.9	8.5	12.8	1.4	8.5	18.0	0.9						
	50歳代	220	30.0	6.4	21.4	18.6	16.8	2.3	1.8	17.3	25.9	10.5	18.2	0.5	6.4	14.5	2.3						
	60歳代	275	33.5	5.1	14.5	16.0	13.8	2.2	4.0	14.2	20.0	10.9	17.1	1.5	7.6	22.2	3.3						
	70歳代以上	252	24.6	4.0	10.7	14.3	8.3	1.6	2.4	6.7	9.1	10.7	11.1	1.6	13.5	33.3	4.8						

性別でみると、「保健・医療・防災・教育等の生活に不可欠な情報が十分に手に入れられない」は女性（20.6%）の方が男性（13.7%）より6.9ポイント高くなっています。「わからない」は女性（23.5%）の方が男性（16.4%）より7.1ポイント高くなっています。

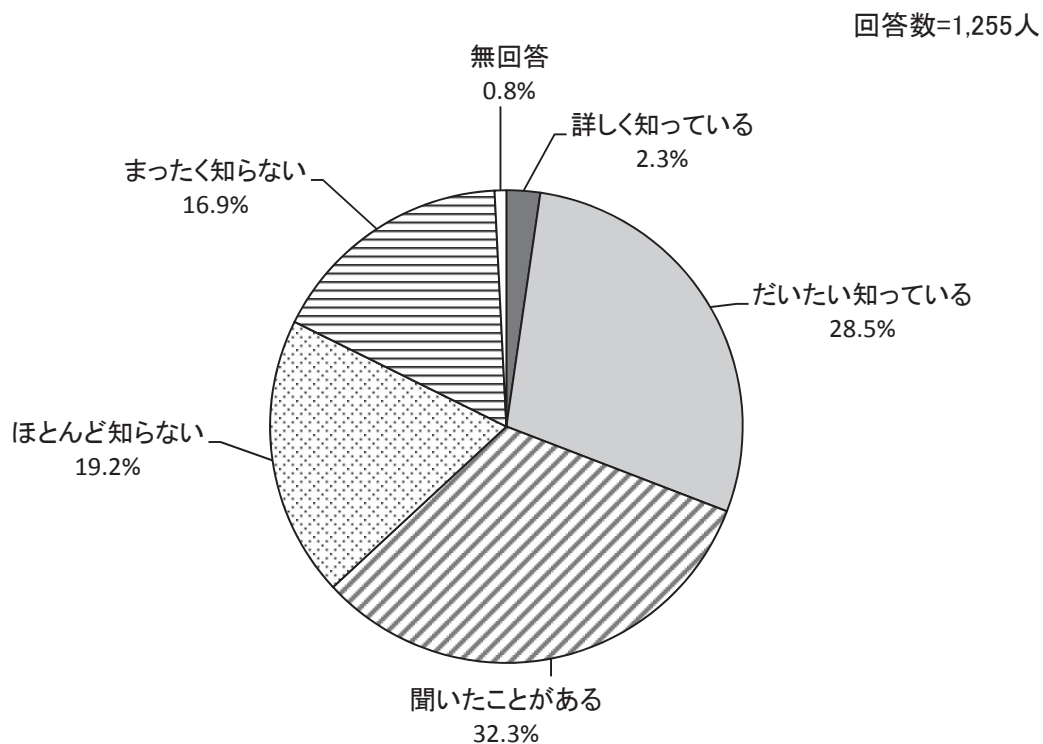
年代別でみると、「風習や習慣の違い、犯罪報道などによる偏見や差別」は、概ね年代が低い方ほど回答割合が高くなる傾向がみられました。

「わからない」は70歳代（33.3%）が高く20歳代（9.7%）が低くなっています。

【7 同和問題について】

問 13 あなたは同和問題（部落差別）をご存知ですか。

（当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。）



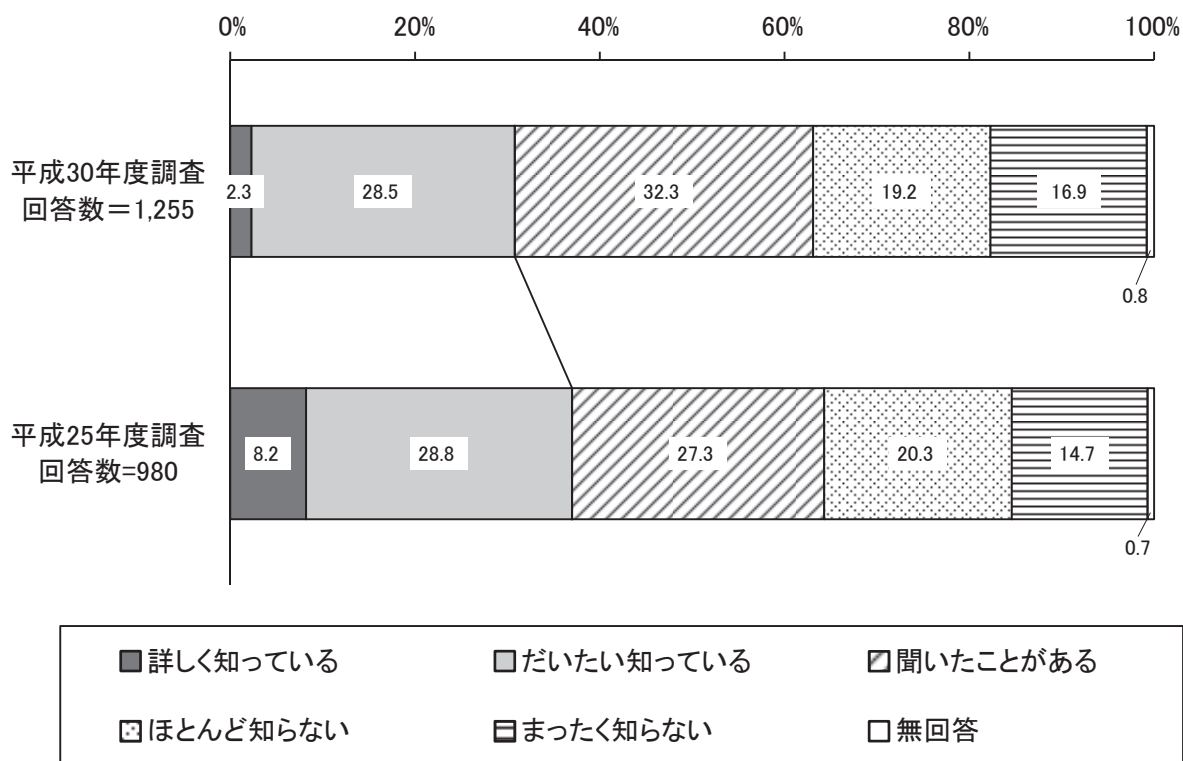
同和問題について、「聞いたことがある」（32.3%）が最も高く、次いで「だいたい知っている」（28.5%）、「ほとんど知らない」（19.2%）の順で高くなっています。

「詳しく知っている」と「だいたい知っている」を合わせた『知っている』は30.8%となりました。「ほとんど知らない」と「まったく知らない」を合わせた『知らない』は36.1%となり、『知らない』が『知っている』を5.3ポイント上回りました。

～同和問題（部落差別）とは～

同和問題とは、日本社会の歴史的発展の過程で形づくられた身分差別により、国民の一部の人々が長い年月の間、経済的・社会的・文化的に低い状態に置かれることを強いられ、今なお、日常生活の中で様々な差別を受けている日本固有の人権問題です。

【経年比較】



平成25年度調査と比較すると、「詳しく知っている」(2.3%)は前回調査(8.2%)より5.9ポイント低くなりました。「聞いたことがある」(32.3%)は前回調査(27.3%)より5.0ポイント高くなりました。

「詳しく知っている」と「だいたい知っている」を合わせた『知っている』と、「ほとんど知らない」と「まったく知らない」を合わせた『知らない』の回答割合を比較すると、前回調査では『知っている』(37.0%)が『知らない』(35.0%)を上回っていましたが、今回調査では割合が逆転し、『知らない』(36.1%)が『知っている』(30.8%)を上回りました。

同和問題を知らない人が増えていくことは、差別がなくなっていくという一面もあります。しかし、今なお日常生活の中で様々な差別を受けている人も多く、正しい理解と知識の普及・啓発が必要と思われます。

* 「詳しく知っている」は平成25年度調査では「歴史的経緯から詳しく知っている」になっているなど、調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。

【性別・年代別】

(単位：%)

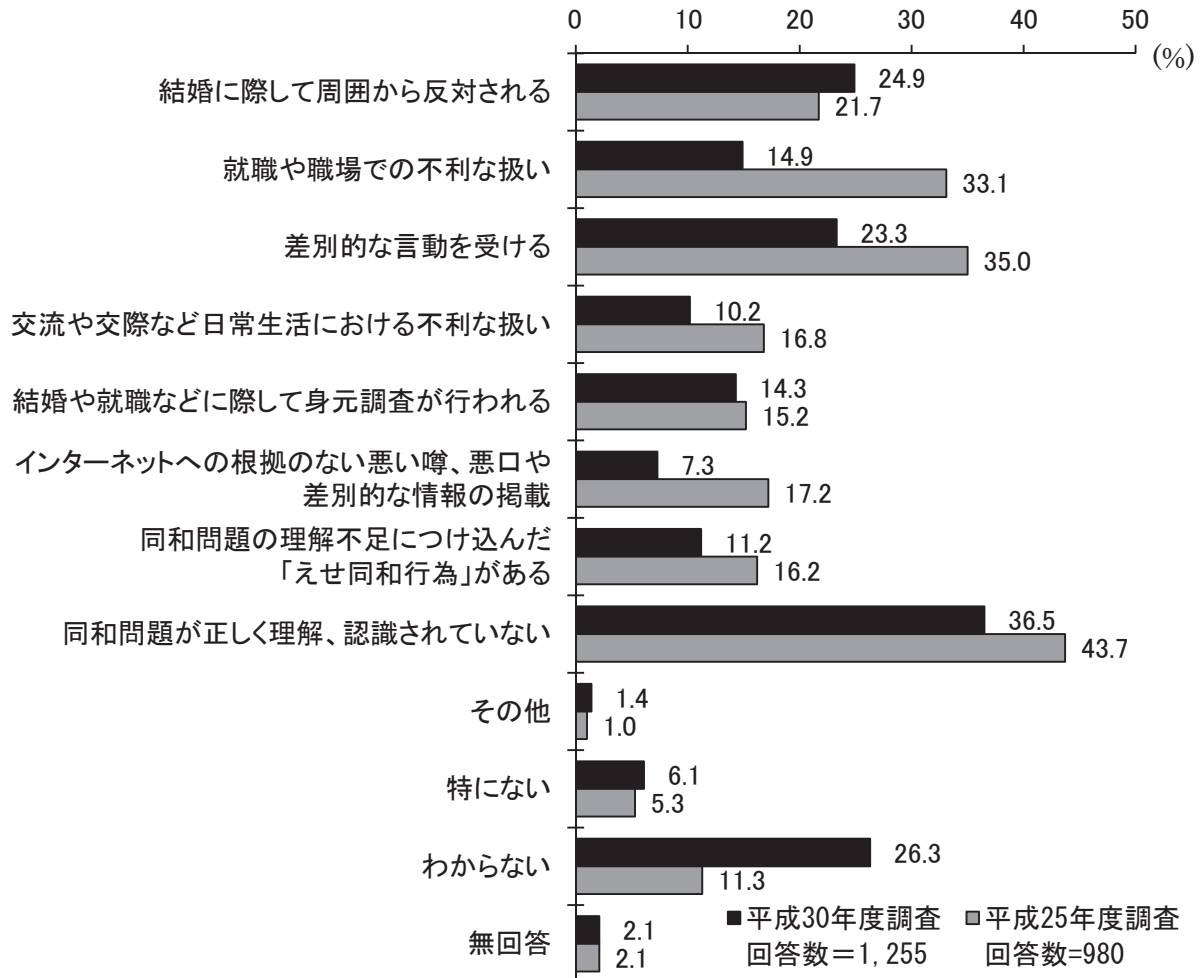
		回答数 (人)	詳しく知っている	だいたい知っている	聞いたことがある	ほとんど知らない	まったく知らない	無回答
全 体		1,255	2.3	28.5	32.3	19.2	16.9	0.8
性別	男 性	548	3.6	34.5	28.6	17.5	14.2	1.5
	女 性	680	1.0	24.0	35.7	20.6	18.4	0.3
	その他	3	-	33.3	33.3	-	33.3	-
年代別	10歳代	23	-	26.1	30.4	17.4	26.1	-
	20歳代	113	1.8	15.9	23.9	20.4	37.2	0.9
	30歳代	139	0.7	20.9	28.8	25.2	24.5	-
	40歳代	211	2.4	22.3	37.9	19.0	18.0	0.5
	50歳代	220	1.4	30.9	39.1	13.6	14.1	0.9
	60歳代	275	2.5	33.8	32.7	18.9	11.3	0.7
	70歳代以上	252	3.6	36.5	28.2	21.4	8.7	1.6

性別で見ると、「詳しく知っている」と「だいたい知っている」を合わせた『知っている』は、男性 (38.1%) の方が女性 (25.0%) より 13.1 ポイント高くなっています。「ほとんど知らない」と「まったく知らない」を合わせた『知らない』は男性 (31.7%) の方が女性 (39.0%) より 7.3 ポイント低くなっています。

年代別で見ると、概ね年代が高いほど『知っている』の割合も高まる傾向がみられました。

問 14 同和問題に関することで、次の事例のうち、あなたが特に問題だと思う事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



同和問題について特に問題だと思うことは、「同和問題が正しく理解、認識されていない」(36.5%)が最も高く、次いで「結婚に際して周囲から反対される」(24.9%)、「差別的な言動を受ける」(23.3%)の順で高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、「同和問題が正しく理解、認識されていない」は前回調査から7.2ポイント低くなりました。「結婚に際して周囲から反対される」は前回調査から3.2ポイント高くなりました。

前回調査から同和問題の認知度が低くなっているため(問13参照)、「わからない」は前回調査より15.0ポイント高くなりました。「就職や職場での不利な扱い」は前回調査より18.2ポイント低くなりました。

*「結婚に際して周囲から反対される」は平成25年度調査では「結婚問題で周囲から反対されること」になっているなど、調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。

【性別・年代別】

(単位：%)

		回答数 (人)	結婚に際して周囲から反対される	就職や職場での不利な扱い	差別的な言動を受ける	交流や交際など日常生活における不利な扱い	調査が行われる際に身元	インターネットへの根拠のない悪い噂、悪口や差別的な情報の掲載	同和問題の理解不足につけ込んだ「えせ同和行為」がある	同和問題が正しく理解、認識されていない	その他	特にない	わからない	無回答
全体		1,255	24.9	14.9	23.3	10.2	14.3	7.3	11.2	36.5	1.4	6.1	26.3	2.1
性別	男性	548	24.8	13.9	21.7	12.8	13.3	7.7	14.6	38.0	1.8	8.2	21.7	2.9
	女性	680	25.1	15.9	25.0	8.5	15.3	7.4	8.5	35.6	1.2	4.3	29.4	1.3
	その他	3	33.3	66.7	66.7	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-
年代別	10歳代	23	26.1	26.1	26.1	8.7	4.3	21.7	4.3	34.8	-	-	17.4	-
	20歳代	113	22.1	21.2	31.9	8.8	10.6	7.1	13.3	27.4	0.9	4.4	32.7	1.8
	30歳代	139	24.5	15.1	33.8	8.6	12.2	12.2	10.1	33.8	-	3.6	25.2	-
	40歳代	211	23.2	18.0	27.0	11.8	13.7	8.5	12.3	32.7	2.8	5.7	25.1	1.9
	50歳代	220	26.8	15.9	23.6	9.5	11.8	8.6	17.3	42.3	-	5.5	20.9	1.8
	60歳代	275	29.5	14.2	21.1	11.3	17.5	5.1	10.9	41.8	1.8	3.6	26.2	1.8
	70歳代以上	252	21.4	8.7	13.9	10.3	17.5	4.4	5.6	34.9	2.4	11.9	29.8	4.0

性別で見ると、「わからない」は女性(29.4%)の方が男性(21.7%)より7.7ポイント高くなっています。

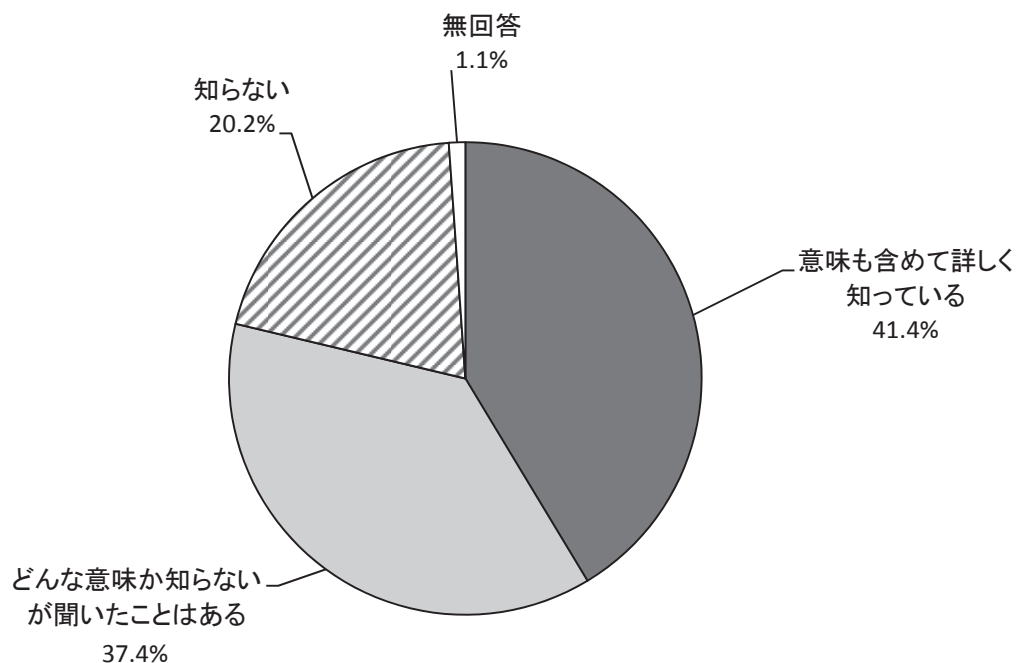
年代別で見ると、「差別的な言動を受ける」は20歳代、30歳代が30%台と高くなっています。「結婚に際して周囲から反対される」はいずれの年代も20%台となり、年代による傾向はみられません。 「就職や職場での不利な扱い」は、10歳代、20歳代が相対的に高くなっています。

【8 性的少数者の人権について】

問 15 あなたは「LGBT」という言葉をご存知ですか。

(当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)

回答数=1,255人



LGBTについて、「意味も含めて詳しく知っている」(41.4%)が最も高く、「知らない」(20.2%)を21.2ポイント上回りました。LGBTは比較的最近用いられるようになった言葉ですが、マスメディアで取り上げられる機会が増えてきており、「どんな意味か知らないが聞いたことはある」は37.4%となり「LGBT」という言葉は知られるようになってきました。

～LGBTとは～

L→レズビアン：女性の同性愛者

G→ゲイ：男性の同性愛者

B→バイセクシャル：両性愛者

T→トランスジェンダー：身体の性と心の性が一致しない状態やどちらの性別にも違和感を持つ状態の人

「LGBT」は、これらの頭文字をとったもの

【性別・年代別】

(単位：%)

		回答数 (人)	知 意 っ 味 て も い 含 る め て 詳 し く	が ど 聞 ん い な た 意 こ 味 と か は 知 あ ら な い	知 ら な い	無 回 答
全 体		1,255	41.4	37.4	20.2	1.1
性 別	男 性	548	39.2	37.6	21.9	1.3
	女 性	680	43.2	37.9	17.8	1.0
	その他	3	66.7	-	33.3	-
年 代 別	10歳代	23	56.5	21.7	21.7	-
	20歳代	113	56.6	26.5	16.8	-
	30歳代	139	51.8	30.2	18.0	-
	40歳代	211	49.3	33.2	17.1	0.5
	50歳代	220	50.9	29.5	19.1	0.5
	60歳代	275	33.5	48.7	16.7	1.1
	70歳代以上	252	21.4	47.2	27.8	3.6

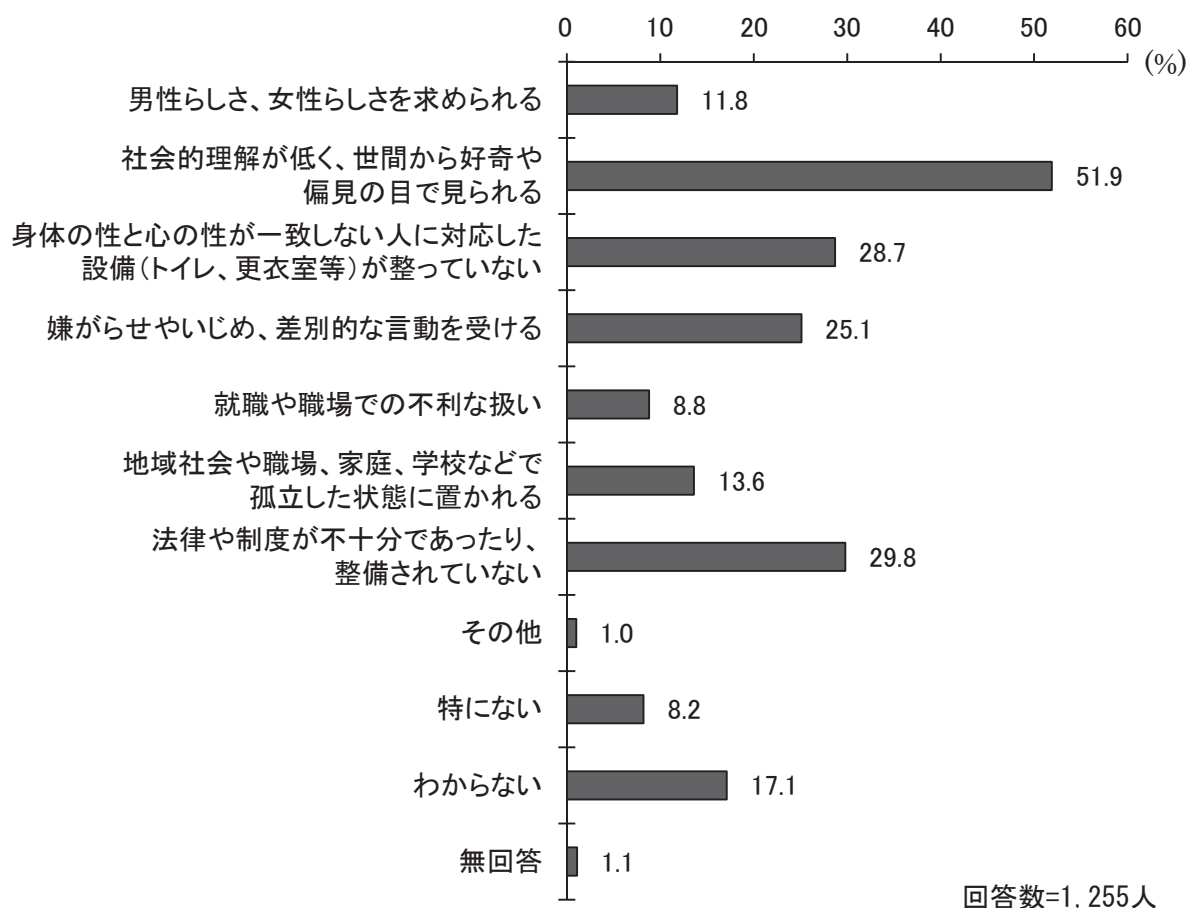
性別で見ると、「意味も含めて詳しく知っている」は女性(43.2%)の方が男性(39.2%)より4.0ポイント高くなっています。

年代別で見ると、概ね年代が低いほど「意味も含めて詳しく知っている」が高くなっています。

若い世代からLGBTの認知度が浸透してきていることから、今後もLGBTに関して高齢者への啓発が必要と思われます。

問 16 性的少数者（問 15 参照）に関することで、次の事例のうち、あなたが特に問題だと思う事例は何ですか。

（当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内）



性的少数者について特に問題だと思うことは、「社会的理解が低く、世間から好奇や偏見の目で見られる」(51.9%)が最も高く、次いで「法律や制度が不十分であったり、整備されていない」(29.8%)、「身体の性と心の性が一致しない人に対応した設備が整っていない」(28.7%)の順に高くなりました。

【性別・年代別】

(単位：%)

		回答数 (人)	求められる 男性らしさ、 女性らしさを	社会的理解が低く、 偏見の目で見られる	身体の性と心の性が一致しない人に 対応した設備が整っていない	嫌がらせやいじめ、 差別的な言動を受ける	就職や職場での不利な扱い	孤立した社会や職場、 家庭、学校などで 置かれる	法律や制度が不十分であったり、 整備されていない	その他	特 に ない	わ か ら な い	無 回 答
全 体		1,255	11.8	51.9	28.7	25.1	8.8	13.6	29.8	1.0	8.2	17.1	1.1
性別	男 性	548	13.0	48.5	24.8	23.9	8.8	14.6	26.6	1.3	11.3	15.9	1.3
	女 性	680	11.0	55.1	32.1	26.9	8.5	13.1	32.4	0.6	5.3	17.8	0.9
	その他	3	33.3	-	-	-	33.3	33.3	66.7	33.3	-	33.3	-
年代別	10歳代	23	26.1	60.9	17.4	52.2	-	17.4	26.1	-	-	8.7	-
	20歳代	113	25.7	62.8	29.2	46.9	8.8	15.0	33.6	5.3	4.4	4.4	-
	30歳代	139	16.5	57.6	33.8	37.4	7.2	13.7	34.5	-	4.3	8.6	-
	40歳代	211	13.3	52.1	31.8	29.9	11.4	15.6	31.8	1.4	6.2	12.8	-
	50歳代	220	10.0	55.0	27.7	23.2	11.4	15.0	36.4	0.9	5.5	15.9	0.5
	60歳代	275	6.2	52.7	31.6	20.4	8.0	13.1	28.0	-	10.2	17.8	2.2
	70歳代以上	252	8.7	39.7	21.8	10.7	6.3	11.1	20.6	0.4	13.9	31.7	2.4

性別で見ると、「社会的理解が低く、世間から好奇や偏見の目で見られる」は女性（55.1%）の方が男性（48.5%）より6.6ポイント高くなりました。「身体の性と心の性が一致しない人に
対応した設備が整っていない」は女性（32.1%）の方が男性（24.8%）より7.3ポイント高くなりました。

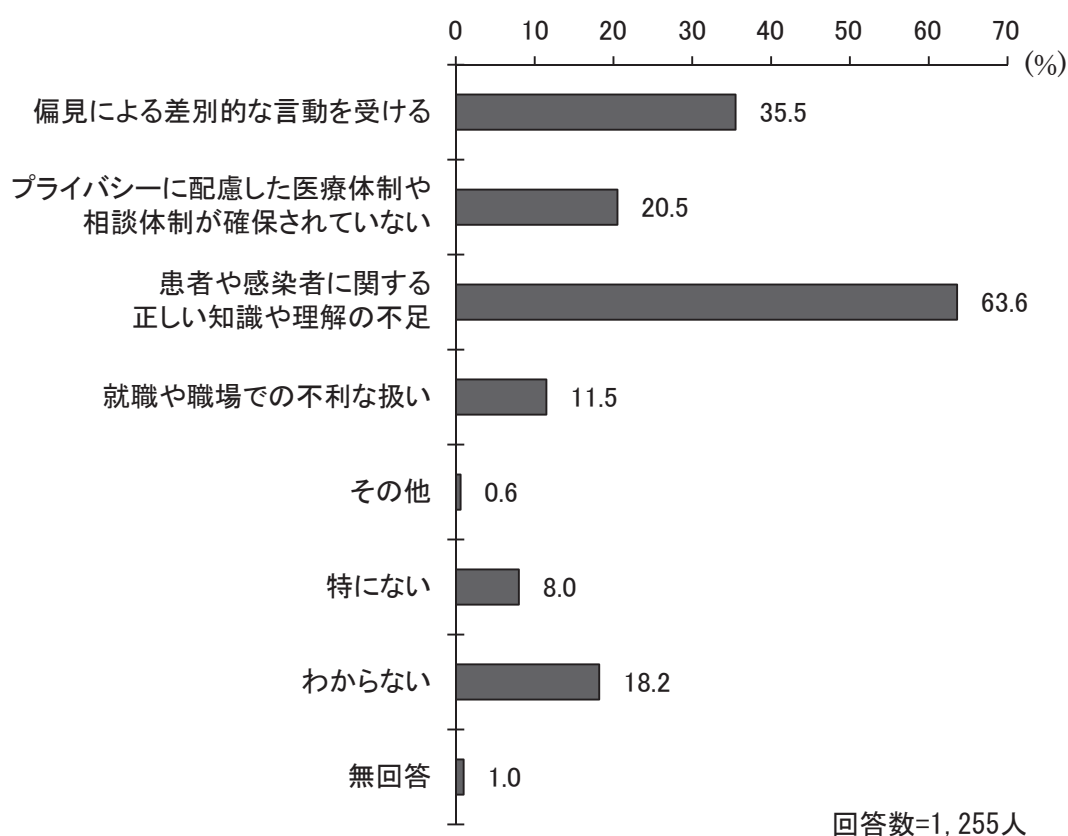
「特にない」は男性（11.3%）の方が女性（5.3%）より6.0ポイント高くなりました。

年代別で見ると、「嫌がらせやいじめ、差別的な言動を受ける」は、年代が低いほど回答割合が高くなりました。

【9 その他の人権について】

問 17 エイズ患者・H I V感染者の人権のうち、あなたが問題だと思う事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



エイズ患者・H I V感染者の人権について問題だと思うことは、「患者や感染者に関する正しい知識や理解の不足」(63.6%)が最も高くなっています。次いで「偏見による差別的な言動を受ける」(35.5%)、「プライバシーに配慮した医療体制や相談体制が確保されていない」(20.5%)の順に高くなっています。「わからない」は18.2%となっています。

エイズは医学の進歩により、不治の病ではなくなり、H I V感染も早期発見によりエイズ発症を大幅に遅らせることが可能になってきていることから、正しい理解と知識の普及・啓発が必要と思われます。

【性別・年代別】

(単位：%)

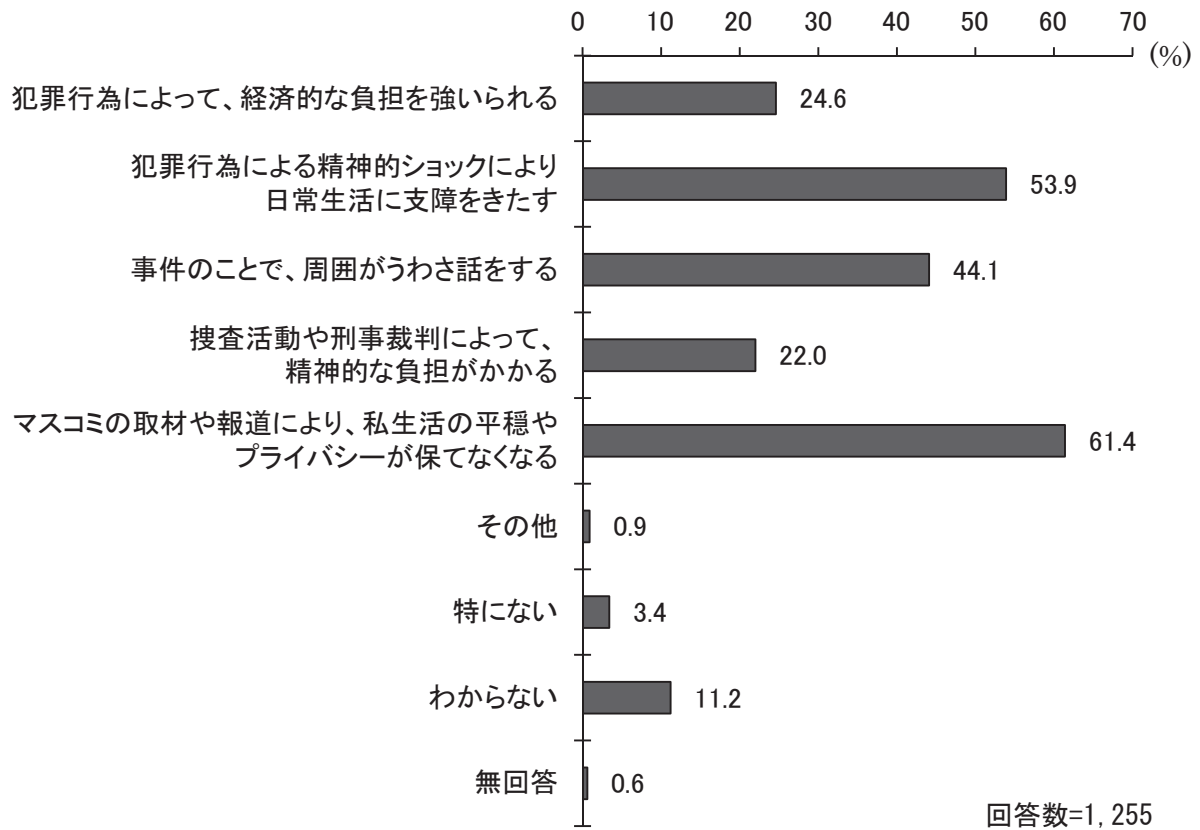
		回答数 (人)	偏見による差別的な言動を受ける	プライバシーに配慮した医療体制や相談体制が確保されていない	患者や感染者に関する正しい知識や理解の不足	就職や職場での不利な扱い	その他	特にない	わからない	無回答
全体		1,255	35.5	20.5	63.6	11.5	0.6	8.0	18.2	1.0
性別	男性	548	34.1	19.9	62.0	13.0	0.4	10.8	16.6	0.7
	女性	680	37.2	21.2	65.1	10.0	0.7	5.6	19.6	1.2
	その他	3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	-
年代別	10歳代	23	52.2	21.7	69.6	4.3	-	-	17.4	-
	20歳代	113	53.1	22.1	73.5	9.7	0.9	5.3	11.5	-
	30歳代	139	35.3	18.0	74.8	10.8	1.4	4.3	15.1	-
	40歳代	211	37.9	17.5	67.8	15.6	0.5	4.7	15.6	0.5
	50歳代	220	38.2	23.2	62.7	9.5	0.9	6.4	15.9	-
	60歳代	275	33.8	24.7	62.9	12.4	-	8.0	17.1	1.1
	70歳代以上	252	25.0	16.7	50.8	10.3	0.4	15.5	29.0	3.2

性別でみると、全体の回答割合が高かった「患者や感染者に関する正しい知識や理解の不足」「偏見による差別的な言動を受ける」「プライバシーに配慮した医療体制や相談体制が確保されていない」は、いずれも男女の回答割合の差は4ポイント以内となっており、性別による問題意識の違いは小さいといえます。

年代別でみると、「患者や感染者に関する正しい知識や理解の不足」「偏見による差別的な言動を受ける」は、概ね年代が低いほど回答割合が高くなる傾向がみられます。

問 18 犯罪被害者等（犯罪被害者とその家族、遺族）の人権のうち、あなたが問題だと思う事例は何ですか。

（当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内）



犯罪被害者等の人権で問題だと思うことは、「マスコミの取材や報道により、私生活の平穏やプライバシーが保てなくなる」(61.4%)が最も高く、次いで「犯罪行為による精神的ショックにより日常生活に支障をきたす」(53.9%)、「事件のことで、周囲がうわさ話をする」(44.1%)の順に高くなっています。

「犯罪行為によって、経済的な負担を強いられる」は24.6%となりました。経済的負担も大きいですが、精神的な負担の問題がより大きいと捉えていることがうかがえます。

【性別・年代別】

(単位：%)

		回答数 (人)	犯罪行為によって、 経済的な負担を強いら れる	犯罪行為による 精神的ショック により日常生活に 支障をきたす	事件のことで、 周囲がうわさ話 をする	捜査活動や刑事 裁判によって、 精神的な負担が かかる	私生活の平穏や プライバシーが 保てなくなる	マスコミの取材 や報道により、 プライバシーが マスキングされる	その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体		1,255	24.6	53.9	44.1	22.0	61.4	0.9	3.4	11.2	0.6	
性 別	男 性	548	28.5	51.6	43.4	21.2	59.5	0.9	3.6	9.1	0.4	
	女 性	680	21.6	55.7	45.3	23.2	63.7	0.6	2.8	12.2	0.9	
	その他	3	33.3	-	33.3	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-	
年 代 別	10歳代	23	34.8	56.5	47.8	26.1	47.8	-	-	8.7	-	
	20歳代	113	22.1	51.3	53.1	17.7	72.6	0.9	3.5	6.2	-	
	30歳代	139	24.5	61.2	56.8	20.9	69.8	-	0.7	7.2	-	
	40歳代	211	24.6	63.5	49.3	29.4	63.5	1.4	1.4	7.1	-	
	50歳代	220	31.4	66.4	42.3	23.6	68.2	1.4	1.4	5.5	-	
	60歳代	275	25.8	51.6	42.9	22.9	58.5	0.4	3.3	10.2	0.7	
	70歳代以上	252	17.9	33.3	32.1	17.1	49.6	0.8	7.9	24.2	2.4	

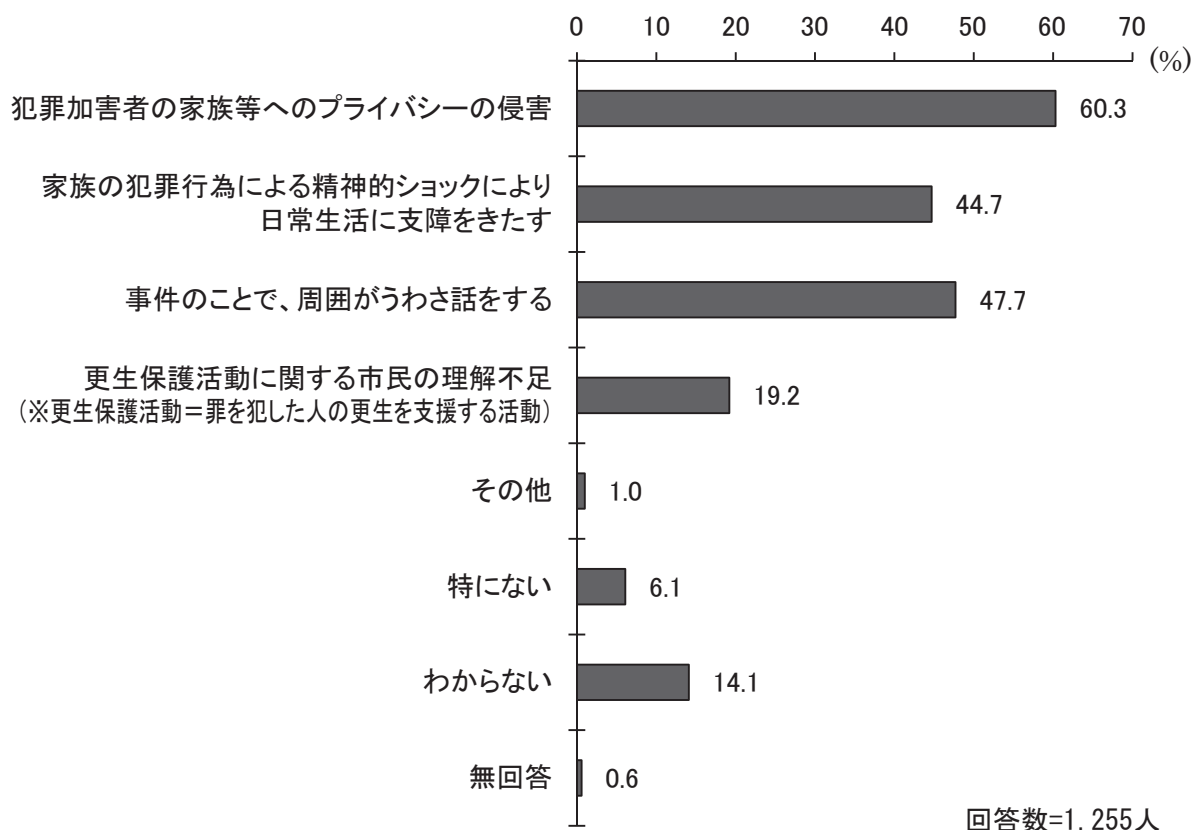
性別でみると、「マスコミの取材や報道により、私生活の平穏やプライバシーが保てなくなる」は女性（63.7%）の方が男性（59.5%）より4.2ポイント高くなりました。

「犯罪行為によって、経済的な負担を強いられる」は男性（28.5%）の方が女性（21.6%）より6.9ポイント高くなりました。

年代別でみると、「マスコミの取材や報道により、私生活の平穏やプライバシーが保てなくなる」は20歳代（72.6%）と30歳代（69.8%）が高くなっています。「犯罪行為による精神的ショックにより日常生活に支障をきたす」は30歳代、40歳代、50歳代が60%台と高くなっています。

**問 19 犯罪加害者の家族等（家族、遺族）の人権のうち、あなたが問題
だと思う事例は何ですか。**

（当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内）



犯罪加害者家族等の人権で問題だと思うことは、「犯罪加害者の家族等へのプライバシーの侵害」(60.3%)が最も高く、次いで「事件のことで、周囲がうわさ話をする」(47.7%)、「家族の犯罪行為による精神的ショックにより日常生活に支障をきたす」(44.7%)の順に高くなっています。

【性別・年代別】

(単位：%)

		回答数 (人)	プライバシーの侵害	犯罪被害者の家族等への	生活的に支障をきたす	精神的ショックにより日常生活に支障をきたす	家族の犯罪行為による	わさ話をすること、周囲がう	事件のことで、周囲がう	市民の理解不足	更生保護活動に関する市	その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体		1,255	60.3	44.7	47.7	19.2	1.0	6.1	14.1	0.6					
性別	男 性	548	60.2	40.5	45.8	21.4	1.1	9.3	10.8	0.7					
	女 性	680	61.2	48.1	49.6	17.9	0.7	3.4	16.6	0.6					
	その他	3	66.7	33.3	-	-	33.3	-	33.3	-					
年代別	10歳代	23	73.9	47.8	21.7	21.7	-	4.3	8.7	-					
	20歳代	113	64.6	43.4	63.7	17.7	1.8	8.8	6.2	-					
	30歳代	139	62.6	43.2	54.7	15.8	1.4	6.5	9.4	-					
	40歳代	211	64.5	48.3	52.1	16.1	1.4	5.2	13.3	-					
	50歳代	220	66.4	49.5	45.9	18.6	0.9	4.1	11.8	0.5					
	60歳代	275	63.6	47.3	47.6	22.5	0.7	4.7	12.7	0.7					
	70歳代以上	252	44.8	35.3	37.7	21.8	0.4	8.3	24.6	2.0					

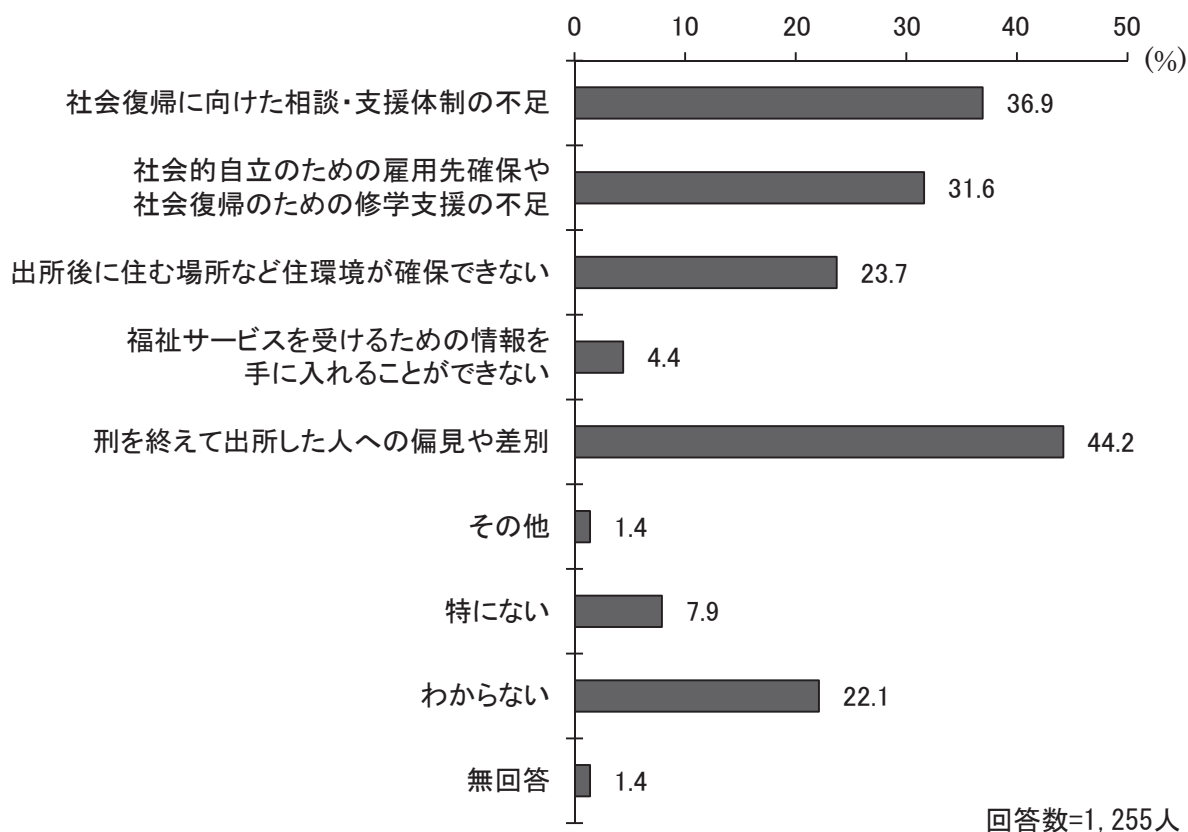
性別でみると、全体で回答割合が最も高かった「犯罪被害者の家族等へのプライバシーの侵害」は、男性（60.2%）と女性（61.2%）の差がほとんどありませんでした。

「家族の犯罪行為による精神的ショックにより日常生活に支障をきたす」と「わからない」は女性の方が男性よりも5ポイント以上高い結果となりました。

年代別でみると、「事件のことで、周囲がうわさ話をする」は、概ね年代が高いほど回答割合が低くなる傾向がみられました。

問 20 刑を終えて出所した人の人権のうち、あなたが問題だと思う事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



刑を終えて出所した人の人権で問題だと思うことは、「刑を終えて出所した人への偏見や差別」(44.2%) が最も高く、次いで「社会復帰に向けた相談・支援体制の不足」(36.9%)、「社会的自立のための雇用先確保や社会復帰のための修学支援の不足」(31.6%) の順に高くなりました。「わからない」は22.1%でした。

【性別・年代別】

(単位：%)

		回答数 (人)	援社会 体制復 帰の不 足	学支 援の不 足	確保 や社 会復 帰の ため の雇 用先	社保 的自 立の ため の雇 用先	境出 が所 後に 住む 場所 など 住環	での 情報 を 手 に 入 れ る こ と が	福社 サー ビス を受 ける た め	偏見 や差 別	刑を 終え て出 所し た人 への	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体		1,255	36.9	31.6	23.7	4.4	44.2	1.4	7.9	22.1	1.4				
性別	男 性	548	38.3	30.3	25.2	4.9	45.3	1.8	10.6	17.3	1.6				
	女 性	680	36.0	32.4	22.8	3.8	44.1	0.9	5.4	25.7	1.2				
	その他	3	33.3	33.3	-	-	33.3	-	-	33.3	-				
年代別	10歳代	23	30.4	39.1	34.8	-	43.5	-	17.4	13.0	-				
	20歳代	113	37.2	24.8	23.0	3.5	43.4	1.8	10.6	17.7	-				
	30歳代	139	41.0	29.5	24.5	8.6	37.4	1.4	9.4	21.6	-				
	40歳代	211	41.7	29.9	24.6	4.7	40.3	2.4	9.5	18.5	0.5				
	50歳代	220	33.6	35.5	23.6	4.1	48.2	1.8	6.8	19.1	0.9				
	60歳代	275	40.4	33.1	24.0	4.7	49.8	0.4	4.4	23.3	1.5				
	70歳代以上	252	30.2	31.0	21.4	2.0	43.7	0.8	7.5	29.4	4.0				

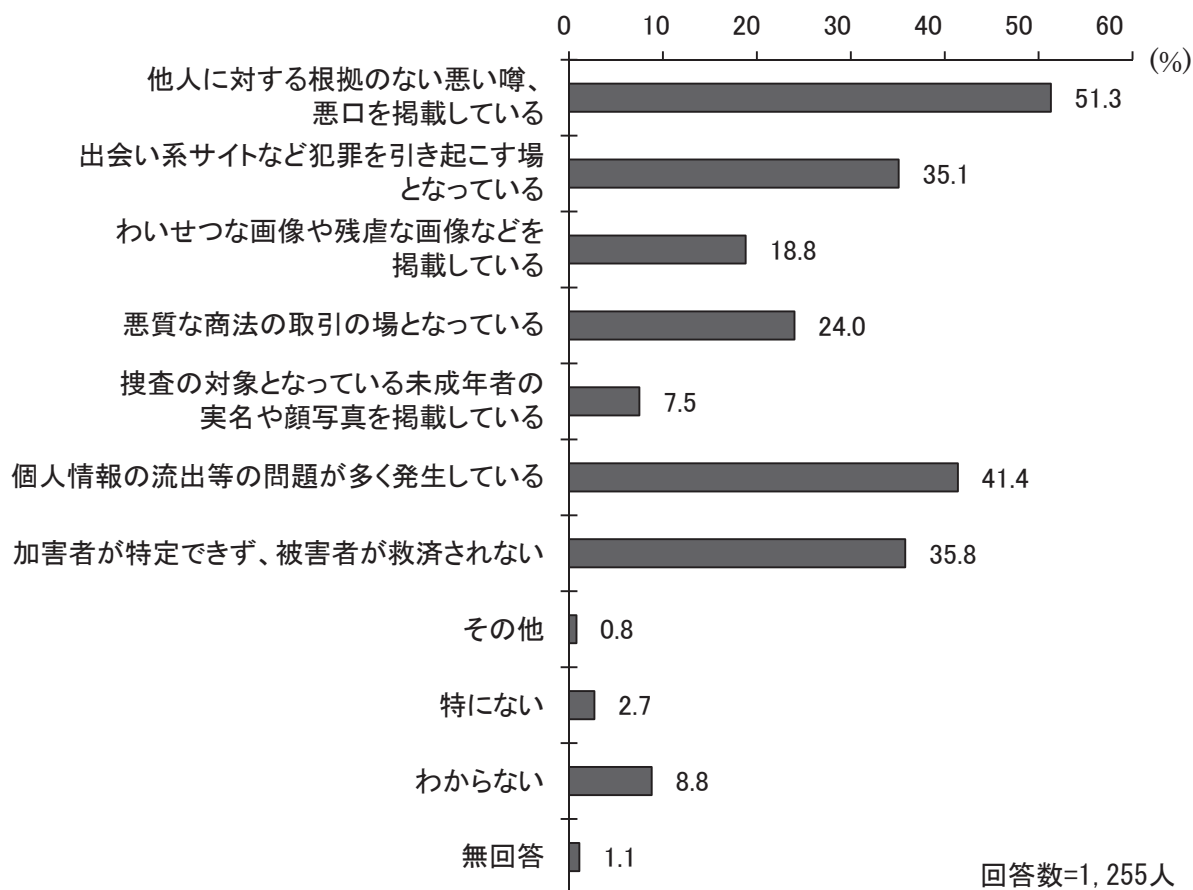
性別で見ると、「わからない」は女性(25.7%)の方が男性(17.3%)より8.4ポイント高く、「特にない」は男性(10.6%)の方が女性(5.4%)より5.2ポイント高くなっています。「特にない」は男性が高く、「わからない」は女性が高いのは、犯罪に関連する設問(問18～20)共通の傾向といえます。

他の選択肢はいずれも男女の差が3ポイント以内に収まっており、刑を終えて出所した人の人権に関しては男女による認識の差は小さいといえます。

年代別でも大きな特徴はみられませんでした。

問 21 インターネットによる人権問題のうち、あなたが問題だと思う事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



インターネットによる人権侵害のうち問題だと思うことは、「他人に対する根拠のない悪い噂、悪口を掲載している」(51.3%)が最も高く、次いで「個人情報の流出等の問題が多く発生している」(41.4%)、「加害者が特定できず、被害者が救済されない」(35.8%)、「出会い系サイトなど犯罪を引き起こす場となっている」(35.1%)の順に高くなっています。

【性別・年代別】

(単位：%)

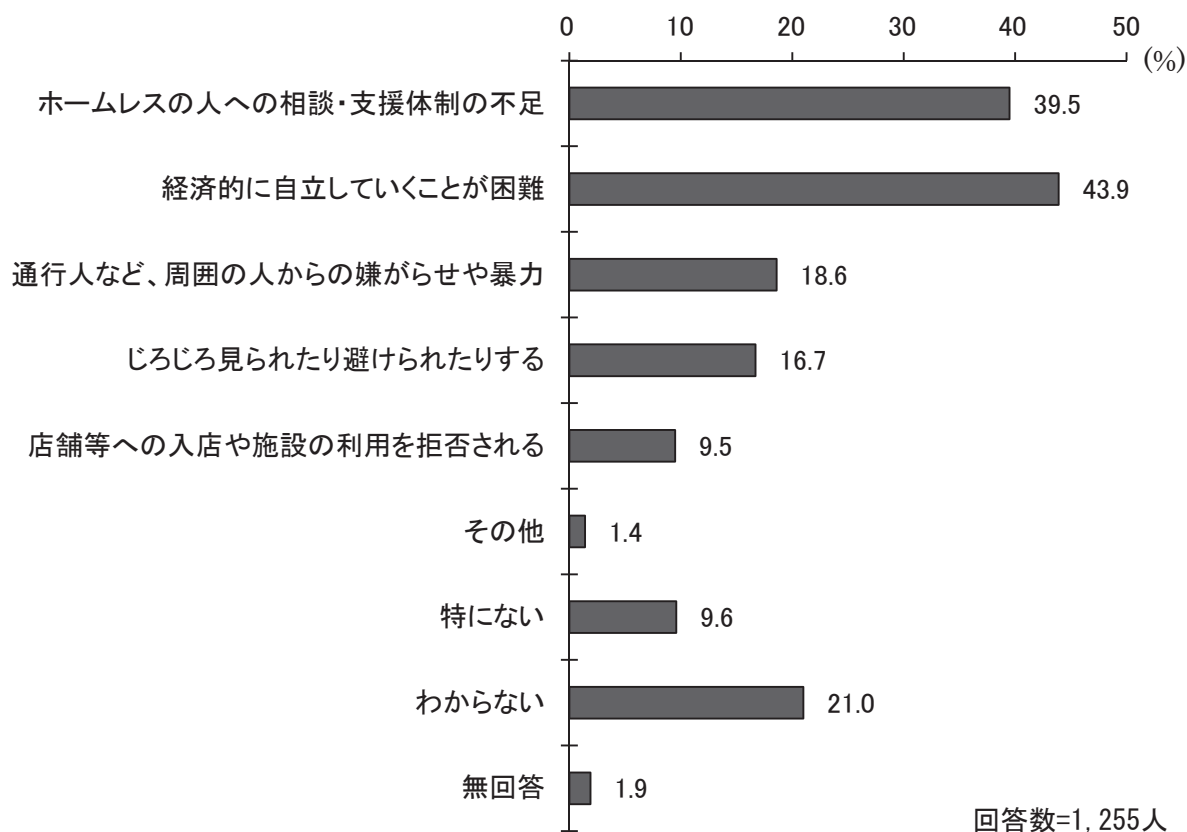
		回答数 (人)	噂、他人に悪口を掲載している	出会い系サイトなど犯罪を引き起こす場となっている	出会い系サイトなど犯罪を引き起こす場となっている	出会い系サイトなど犯罪を引き起こす場となっている	出会い系サイトなど犯罪を引き起こす場となっている	出会い系サイトなど犯罪を引き起こす場となっている	出会い系サイトなど犯罪を引き起こす場となっている	出会い系サイトなど犯罪を引き起こす場となっている	出会い系サイトなど犯罪を引き起こす場となっている	出会い系サイトなど犯罪を引き起こす場となっている	出会い系サイトなど犯罪を引き起こす場となっている
全 体		1,255	51.3	35.1	18.8	24.0	7.5	41.4	35.8	0.8	2.7	8.8	1.1
性別	男 性	548	52.2	31.8	16.2	27.9	6.8	38.5	38.9	1.5	4.0	7.3	2.0
	女 性	680	50.9	37.9	20.7	21.0	8.1	44.1	34.0	0.3	1.3	9.9	0.4
	その他	3	33.3	-	33.3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	-
年代別	10歳代	23	52.2	17.4	4.3	34.8	26.1	43.5	26.1	-	-	4.3	-
	20歳代	113	60.2	23.9	15.0	23.9	7.1	51.3	38.9	1.8	4.4	2.7	0.9
	30歳代	139	64.0	25.2	17.3	20.9	10.8	56.8	38.8	0.7	1.4	5.0	-
	40歳代	211	54.5	28.4	21.8	23.2	6.6	50.2	44.1	0.5	1.4	4.3	0.5
	50歳代	220	63.2	37.3	19.1	26.4	10.0	43.2	42.3	0.9	0.9	4.1	0.5
	60歳代	275	46.5	44.7	19.3	27.3	4.7	36.7	34.9	0.4	2.9	9.8	1.8
	70歳代以上	252	33.3	40.1	18.7	20.2	5.6	25.8	23.8	1.2	4.4	20.6	2.4

性別で見ると、「出会い系サイトなど犯罪を引き起こす場となっている」と「個人情報の流出等の問題が多く発生している」は女性の方が男性よりも5ポイント以上高く、「悪質な商法の取引の場となっている」は男性の方が5ポイント以上高くなりました。

年代別で見ると、「出会い系サイトなど犯罪を引き起こす場となっている」は、年代が高いほど回答割合も高くなる傾向がみられました。

問 22 ホームレスの人の人権のうち、あなたが問題だと思う事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



ホームレスの人の人権で問題だと思うことは、「経済的に自立していくことが困難」(43.9%)が最も高く、次いで「ホームレスの人への相談・支援体制の不足」(39.5%)の順に高くなりました。「特にない」と「わからない」を合わせると約3割の回答割合となりました。

【性別・年代別】

(単位：%)

		回答数 (人)	ホームレスの 相談体制の 不足の相 談	経済的に 自立して いくこと が困難	からの嫌 がらせや 暴力	通行の 人など、 周囲の 人	けじめ の 見られ たり する たり 避	店の利 用を拒 否され る	その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体		1,255	39.5	43.9	18.6	16.7	9.5	1.4	9.6	21.0	1.9	
性 別	男 性	548	39.2	40.1	17.5	17.5	9.5	1.5	13.3	19.3	2.6	
	女 性	680	39.9	46.6	19.6	16.3	9.6	1.3	6.3	22.5	1.5	
	その他	3	66.7	33.3	33.3	-	33.3	-	-	33.3	-	
年 代 別	10歳代	23	34.8	52.2	26.1	26.1	8.7	-	-	21.7	4.3	
	20歳代	113	36.3	47.8	31.0	15.9	13.3	3.5	9.7	10.6	2.7	
	30歳代	139	38.8	46.8	20.9	12.9	7.9	1.4	13.7	19.4	0.7	
	40歳代	211	38.9	49.8	20.9	15.2	8.5	1.4	9.0	13.7	0.9	
	50歳代	220	39.5	44.1	20.0	15.9	11.4	0.9	9.5	20.5	1.4	
	60歳代	275	46.5	41.8	13.8	17.5	8.7	1.8	7.6	23.6	1.5	
	70歳代以上	252	35.3	35.7	13.5	19.8	8.7	0.4	10.3	30.6	4.0	

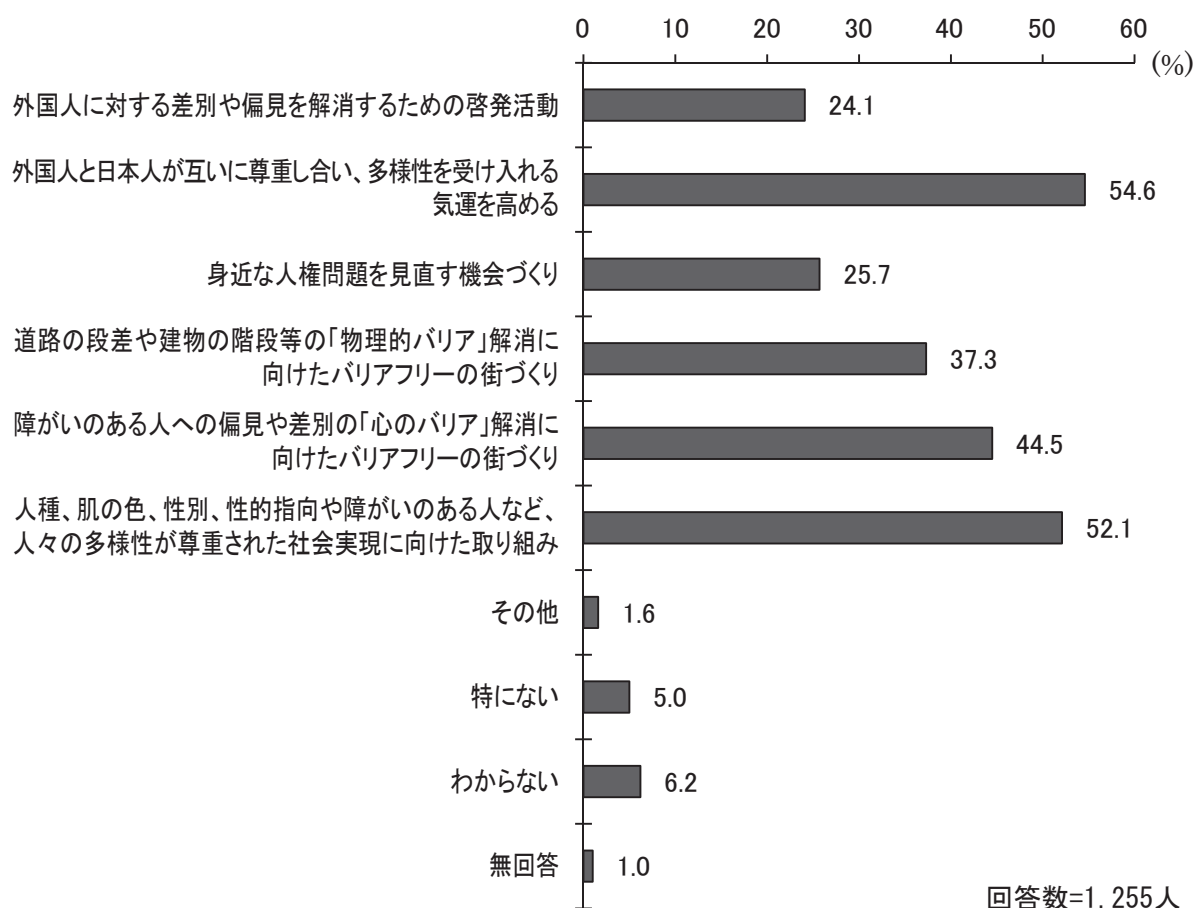
性別で見ると、「経済的に自立していくことが困難」は女性（46.6%）の方が男性（40.1%）より6.5ポイント高くなりました。「特にない」は男性（13.3%）の方が女性（6.3%）より7.0ポイント高くなりました。

年代別で見ると、60歳代は「ホームレスの人への相談・支援体制の不足」が「経済的に自立していくことが困難」を上回りました。

【10 オリンピック・パラリンピックと人権について】

問 23 オリンピック憲章の理念のもと、2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。この開催を機に人権が尊重される社会を実現するために、あなたが必要だと思う取り組みは何ですか。

(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)



東京オリンピック・パラリンピックの開催を機とした人権に関する取り組みは、「外国人と日本人が互いに尊重し合い、多様性を受け入れる気運を高める」(54.6%)が最も高く、「人種、肌の色、性別、性的指向や障がいのある人など、人々の多様性が尊重された社会実現に向けた取り組み」(52.1%)、『障がいのある人への偏見や差別の「心のバリア」解消に向けたバリアフリーの街づくり』(44.5%)の順に高くなっています。

～オリンピック憲章～ (オリンピズムの根本原則第6項)

このオリンピック憲章の定める権利および自由は人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治的またはその他の意見、国あるいは社会的な出身、財産、出自やその他の身分などの理由による、いかなる種類の差別も受けることなく、確実に享受されなければならない。

【性別・年代別】

(単位：%)

		回答数 (人)	外国人に対する差別や偏見を解消するための啓発活動	外国人と日本人が互いに尊重し合い、多様性を受け入れる気運を高める	身近な人権問題を見直す機会づくり	道路の段差や建物の階段等の「物理的バリア」解消に向けたバリアフリーの街づくり	障がいのある人への偏見や差別の「心のバリア」解消に向けたバリアフリーの街づくり	人種、肌の色、性別、性的指向や障がいのある人など、人々の多様性が尊重された社会実現に向けた取り組み	その他	特にない	わからない	無回答
全 体		1,255	24.1	54.6	25.7	37.3	44.5	52.1	1.6	5.0	6.2	1.0
性別	男 性	548	27.7	54.2	26.1	30.3	40.7	49.6	1.8	6.4	5.1	1.5
	女 性	680	21.5	55.0	25.6	42.9	48.1	54.7	1.3	3.7	6.6	0.6
	その他	3	66.7	66.7	33.3	66.7	-	66.7	-	-	33.3	-
年代別	10歳代	23	34.8	56.5	30.4	52.2	52.2	52.2	-	-	-	-
	20歳代	113	20.4	57.5	22.1	33.6	45.1	52.2	1.8	8.8	4.4	0.9
	30歳代	139	24.5	49.6	27.3	41.0	43.9	59.7	4.3	3.6	5.8	-
	40歳代	211	23.2	55.0	24.6	36.5	46.4	53.1	1.4	4.3	5.7	0.5
	50歳代	220	24.1	49.1	24.5	43.6	50.0	51.4	1.8	2.7	4.1	0.9
	60歳代	275	23.6	56.7	26.5	38.5	43.6	56.4	0.4	3.6	6.5	1.1
	70歳代以上	252	27.0	58.3	27.4	29.4	39.3	44.0	1.2	7.9	9.1	2.0

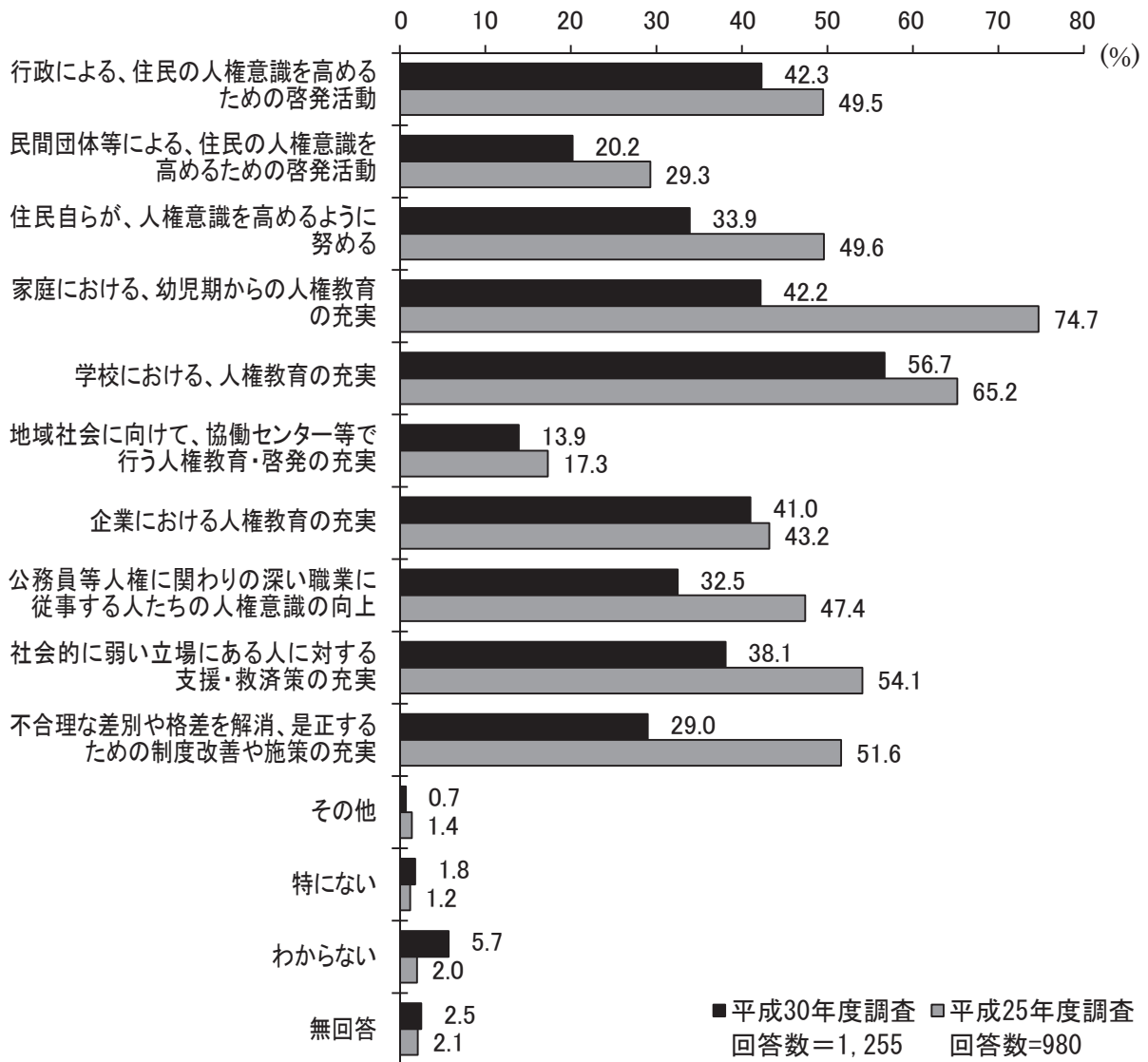
性別で見ると、『道路の段差や建物の階段等の「物理的バリア」解消に向けたバリアフリーの街づくり』は、女性（42.9%）の方が男性（30.3%）より12.6ポイント高くなっています。「外国人に対する差別や偏見を解消するための啓発活動」は、男性（27.7%）の方が女性（21.5%）より6.2ポイント高くなっています。

年代別では大きな特徴はみられませんでした。

【11 人権に関する取り組みについて】

問 24 人権が尊重される社会を実現するために、あなたが必要だと思う取り組みは何ですか。

(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)



人権に関する取り組みについては、学校・行政・家庭・企業での取り組みに関する選択肢の回答割合が40%以上と高くなっています。学校・行政・家庭・企業などそれぞれでの取り組みが必要といえます。

平成25年度調査と比較すると、「家庭における、幼児期からの人権教育の充実」は前回調査より32.5ポイント低くなっています。前回調査では選択肢が「幼児期から思いやりの心を育む等、家庭における人権教育を充実すること」となっており、「思いやりの心を育む」という文言の有無が回答割合に影響した可能性があります。

*本文記載のとおり、調査年度により各選択肢の文言が異なります。

【性別・年代別】

(単位：%)

		回答数 (人)	行政による、住民の人権意識を高めるための啓発活動	民間団体等による、住民の人権意識を高めるための啓発活動	住民自らが、人権意識を高めるように努める	家庭教育における、幼児期からの人権教育の充実	学校における、人権教育の充実	地域社会に向けて、協働センター等で行う人権教育・啓発の充実	企業における人権教育の充実	公務員等の人権に関わりの深い職業に従事する人たちの人権意識の向上	社会的に弱い立場にある人に対する支援・救済策の充実	不合理な差別や格差を解消、是正するための制度改善や施策の充実	その他	特になし	わからない	無回答
全体		1,255	42.3	20.2	33.9	42.2	56.7	13.9	41.0	32.5	38.1	29.0	0.7	1.8	5.7	2.5
性別	男性	548	46.2	21.2	33.0	37.8	55.5	11.9	35.9	32.1	35.2	24.3	1.3	2.4	4.4	2.2
	女性	680	39.7	19.9	35.0	45.7	58.2	16.0	45.3	33.2	41.2	33.2	0.1	0.9	6.0	2.5
	その他	3	-	-	66.7	66.7	33.3	-	66.7	66.7	66.7	66.7	-	-	33.3	-
年代別	10歳代	23	47.8	13.0	17.4	34.8	60.9	17.4	47.8	26.1	34.8	39.1	-	-	-	-
	20歳代	113	33.6	24.8	29.2	31.0	59.3	9.7	49.6	21.2	39.8	25.7	1.8	2.7	6.2	1.8
	30歳代	139	36.0	13.7	34.5	45.3	61.2	7.9	41.0	23.7	38.1	27.3	-	0.7	9.4	0.7
	40歳代	211	39.8	16.6	29.4	39.3	56.4	11.8	48.3	30.8	37.0	30.3	0.5	1.4	6.2	1.4
	50歳代	220	46.8	19.5	33.2	43.6	60.0	15.5	46.8	35.5	34.5	29.1	0.9	0.5	3.6	1.8
	60歳代	275	48.7	24.4	38.5	46.9	54.5	15.6	37.5	39.6	44.4	33.1	0.4	1.8	3.6	1.8
	70歳代以上	252	41.3	21.8	37.3	42.9	53.2	18.3	29.4	34.9	36.5	25.8	0.8	2.4	6.3	5.6

性別で見ると、「家庭における、幼児期からの人権教育の充実」「企業における人権教育の充実」「社会的に弱い立場にある人に対する支援・救済策の充実」「不合理な差別や格差を解消、是正するための制度改善や施策の充実」は女性の方が男性より5ポイント以上高くなりました。

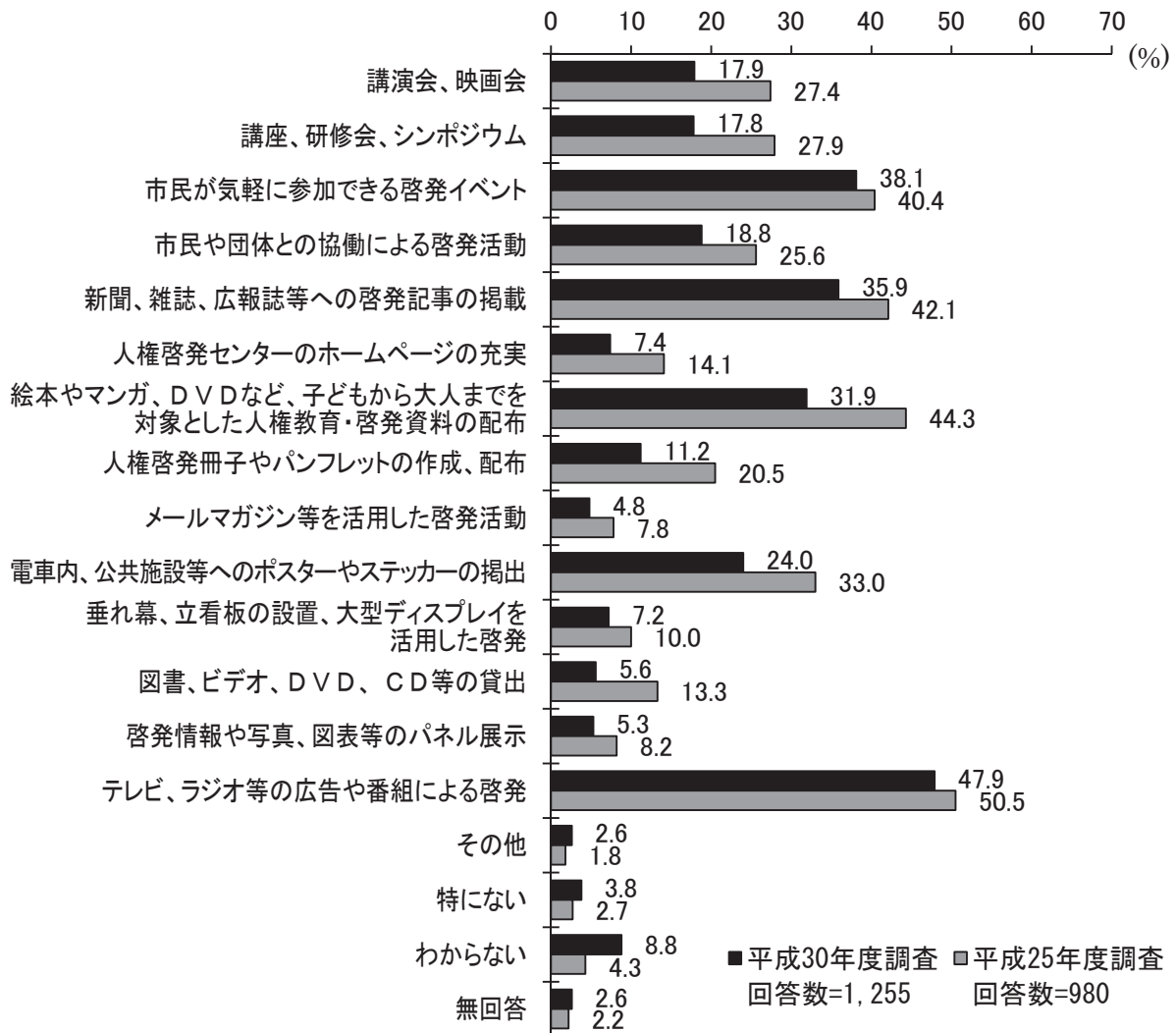
「行政による、住民の人権意識を高めるための啓発活動」は男性の方が女性より5ポイント以上高くなりました。

年代別では大きな特徴はみられませんでした。

【12 効果的な啓発活動について】

問 25 人権尊重の理解を深めるために、あなたが特に効果的だと思う啓発活動は何ですか。

(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)



効果的な啓発活動については、「テレビ、ラジオ等の広告や番組による啓発」(47.9%)が最も高く、次いで「市民が気軽に参加できる啓発イベント」(38.1%)、「新聞、雑誌、広報誌等への啓発記事の掲載」(35.9%)の順に高くなっています。

これら三つの選択肢では、前回と同様の回答割合となっています。

*平成25年度調査と平成30年度調査では選択肢が異なります。調査年度により選択肢の文言も異なります。

【性別・年代別】

(単位：%)

		回答数 (人)	講演会、映画会	講座、研修会、シンポジウム	市民が気軽に参加できる啓発イベント	市民や団体との協働による啓発活動	新聞、雑誌、広報誌等への啓発記事の掲載	人権啓発センターのホームページの充実	絵本やマンガ、DVDなど、子どもから大人までを対象とした人権教育・啓発資料の配布	人権啓発冊子やパンフレットの作成、配布	メールマガジン等を活用した啓発活動	ステッカーの掲出	電車内、公共施設等へのポスターや	垂れ幕、立看板の設置、大型ディスプレイを活用した啓発	図書、ビデオ、DVD、CD等の貸出	啓発情報や写真、図表等のパネル展示	テレビ、ラジオ等の広告や番組による啓発	その他	特にない	わからない	無回答
全体		1,255	17.9	17.8	38.1	18.8	35.9	7.4	31.9	11.2	4.8	24.0	7.2	5.6	5.3	47.9	2.6	3.8	8.8	2.6	
性別	男性	548	17.9	19.5	38.1	19.5	33.0	8.6	29.9	13.0	6.4	21.5	8.0	7.3	6.2	46.5	3.1	4.7	8.0	2.6	
	女性	680	18.2	16.5	38.1	18.2	38.7	6.5	33.8	9.7	3.5	26.2	6.5	4.3	4.9	49.9	2.1	2.6	9.1	2.6	
	その他	3	33.3	-	66.7	33.3	33.3	-	33.3	-	33.3	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-	-	33.3	-	
年代別	10歳代	23	17.4	4.3	30.4	13.0	43.5	4.3	43.5	13.0	4.3	26.1	13.0	8.7	8.7	52.2	4.3	-	8.7	-	
	20歳代	113	19.5	13.3	28.3	16.8	32.7	8.8	38.9	9.7	8.0	34.5	9.7	5.3	5.3	52.2	4.4	6.2	5.3	2.7	
	30歳代	139	17.3	10.1	34.5	9.4	28.1	5.8	33.8	5.8	2.2	22.3	5.0	3.6	2.2	47.5	4.3	2.2	11.5	0.7	
	40歳代	211	17.5	20.9	30.8	12.8	34.1	6.6	34.6	10.4	3.8	28.4	7.1	4.7	4.3	47.9	3.3	3.8	8.5	0.9	
	50歳代	220	18.2	15.5	33.6	23.6	38.6	10.0	33.6	8.2	4.1	20.9	5.5	5.0	4.5	51.8	4.1	4.1	10.0	1.8	
	60歳代	275	18.5	18.2	45.5	21.8	38.2	6.9	30.2	13.1	5.5	24.7	8.7	6.2	8.0	49.8	0.7	2.2	5.5	2.5	
	70歳代以上	252	17.9	24.2	47.2	23.0	38.1	7.1	25.4	15.9	5.6	18.7	6.7	7.5	6.0	41.7	0.4	4.8	11.1	6.0	

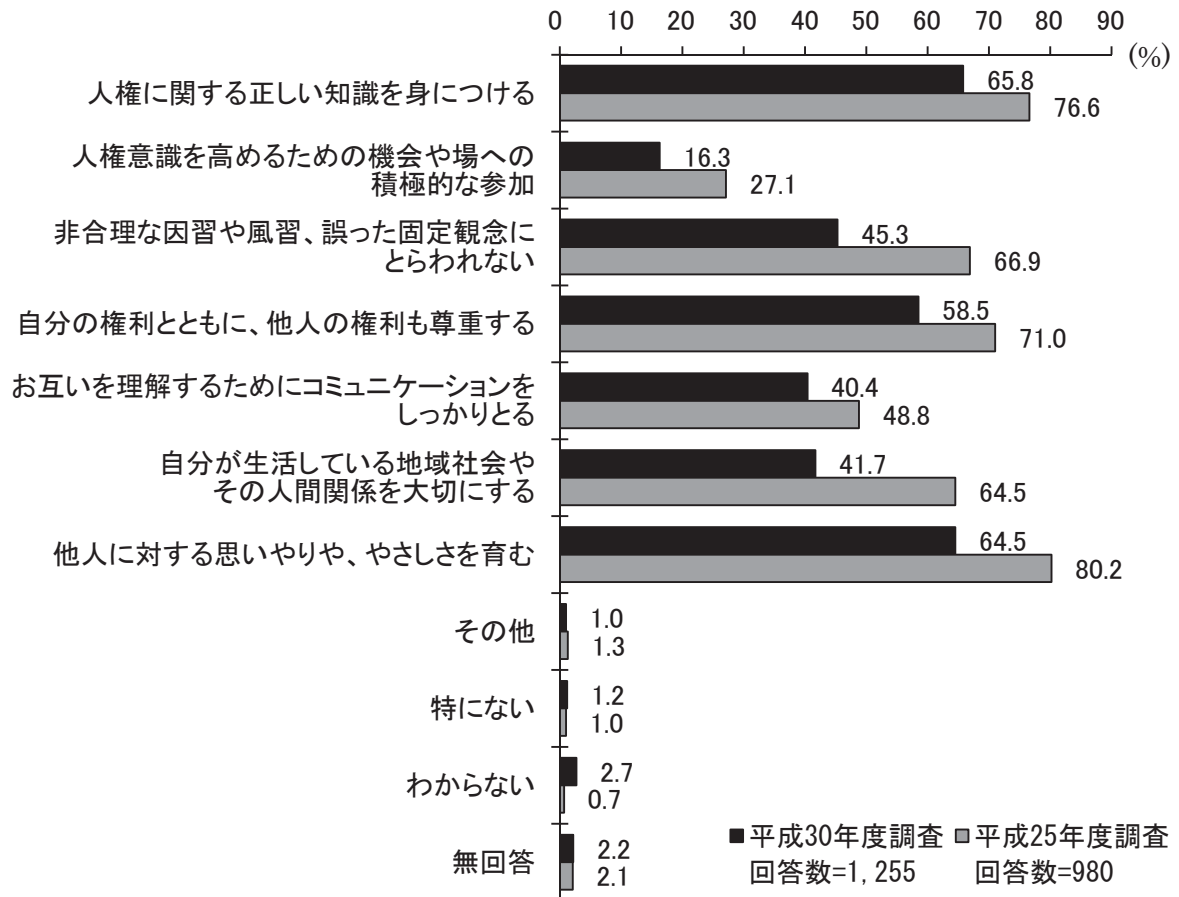
性別でみると、「新聞、雑誌、広報誌等への啓発記事の掲載」は女性(38.7%)の方が男性(33.0%)より5.7ポイント高くなっています。

年代別でみると、10歳代から60歳代までは「テレビ、ラジオ等の広告や番組による啓発」が最も高く、70歳代以上は「市民が気軽に参加できる啓発イベント」が最も高くなっています。

【13 市民一人ひとりが心がけることについて】

問 26 お互いの人権が尊重されるために、市民一人ひとりがすべきことはどれだと思いますか。

(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)



市民一人ひとりが心がけることについては、「人権に関する正しい知識を身につける」(65.8%)が最も高く、次いで「他人に対する思いやりや、やさしさを育む」(64.5%)、「自分の権利とともに、他人の権利も尊重する」(58.5%)の順に高くなりました。

平成25年度調査と比較すると、「人権に関する正しい知識を身につける」は10.8ポイント、「他人に対する思いやりや、やさしさを育む」は15.7ポイント、「自分の権利とともに、他人の権利も尊重する」は12.5ポイント低くなっています。最も落ち込み幅が大きかったのは「自分が生活している地域社会やその人間関係を大切にする」で22.8ポイント低くなりました。

*「人権に関する正しい知識を身につける」が平成25年度調査では「人権に関する正しい知識を身につけること」になっているなど、調査年度により選択肢の文言が若干異なっています。

【性別・年代別】

(単位：%)

		回答数 (人)	人権に関する正しい知識を身につける	や場への積極的な参加の機会	人権意識を高めるための機会	固定観念にとらわれない	非合理的な因習や風習、誤った	権利も尊重する	自分の権利とともに、他人の	お互いを理解するためにコミュニケーションをしっかりとる	やその人間関係を大切に社会	自分が生活している地域社会	やさしさを育む	他人に対する思いやりや、や	その他	特にな	わからない	無回答
全体		1,255	65.8	16.3	45.3	58.5	40.4	41.7	64.5	1.0	1.2	2.7	2.2					
性別	男性	548	64.2	14.8	42.2	57.5	36.3	36.3	57.8	1.5	1.6	2.9	2.6					
	女性	680	67.8	17.8	47.9	59.4	43.8	46.0	70.3	0.6	0.6	2.1	1.6					
	その他	3	66.7	-	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	-					
年代別	10歳代	23	78.3	17.4	56.5	34.8	60.9	30.4	52.2	4.3	-	-	-					
	20歳代	113	74.3	12.4	51.3	49.6	46.9	34.5	55.8	1.8	1.8	0.9	1.8					
	30歳代	139	71.2	9.4	43.2	56.1	48.9	38.1	62.6	1.4	2.2	3.6	0.7					
	40歳代	211	66.4	15.6	47.4	54.5	45.5	41.2	69.2	0.9	1.4	2.8	1.4					
	50歳代	220	67.3	17.7	46.8	55.0	40.9	37.7	63.6	0.9	0.5	1.4	1.8					
	60歳代	275	67.3	15.3	44.4	68.0	37.1	40.0	67.3	-	0.4	2.5	2.2					
	70歳代以上	252	56.3	22.2	40.9	62.3	29.8	53.2	65.1	1.2	1.2	4.0	3.6					

性別でみると、「他人に対する思いやりや、やさしさを育む」は、女性（70.3%）の方が男性（57.8%）より12.5ポイント高くなっています。

「非合理的な因習や風習、誤った固定観念にとらわれない」「お互いを理解するためにコミュニケーションをしっかりとる」「自分が生活している地域社会やその人間関係を大切にする」は女性の方が男性より回答割合が5ポイント以上高くなっています。

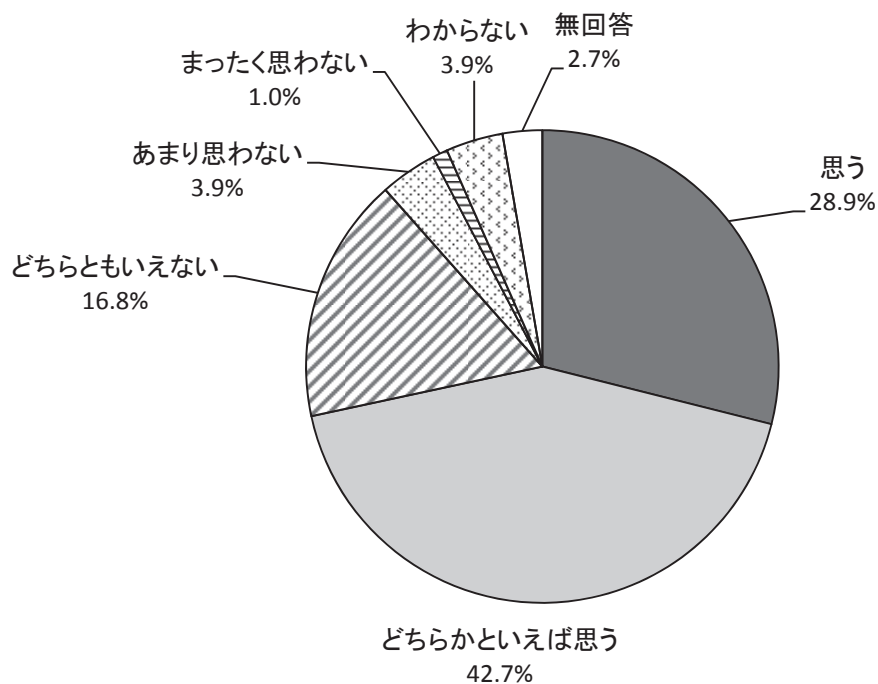
年代別でみると、「自分の権利とともに、他人の権利も尊重する」「自分が生活している地域社会やその人間関係を大切にする」は60歳代以上の回答割合が高くなっています。「人権に関する正しい知識を身につける」は30歳以下の回答割合が高くなっています。

【14 人権について】

問 27 あなたは、さまざまな人権について知りたい、理解したいと思えますか？

(当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)

回答数=1,255



さまざまな人権について知りたい、理解したいかについて、「どちらかといえば思う」(42.7%)が最も高く、次いで「思う」(28.9%)、「どちらともいえない」(16.8%)の順に高くなりました。

「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『思う』は71.6%となり、「あまり思わない」(3.9%)と「まったく思わない」(1.0%)を合わせた『思わない』(4.9%)を大幅に上回りました。

【性別・年代別】

(単位：%)

		回答数 (人)	思う	どちらかといえば思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	わからない	無回答
全体		1,255	28.9	42.7	16.8	3.9	1.0	3.9	2.7
性別	男性	548	28.1	39.6	18.4	5.5	1.8	3.5	3.1
	女性	680	29.3	45.7	15.6	2.8	0.3	4.1	2.2
	その他	3	66.7	-	-	-	-	33.3	-
年代別	10歳代	23	43.5	39.1	13.0	-	4.3	-	-
	20歳代	113	33.6	46.0	12.4	1.8	2.7	1.8	1.8
	30歳代	139	26.6	49.6	15.1	2.9	1.4	2.9	1.4
	40歳代	211	24.6	45.5	19.0	3.8	0.9	4.7	1.4
	50歳代	220	24.1	49.1	17.3	5.9	0.9	1.4	1.4
	60歳代	275	26.2	42.9	18.5	2.9	0.7	4.4	4.4
	70歳代以上	252	36.9	31.0	15.9	5.6	-	6.7	4.0

性別で見ると、「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『思う』は、女性（75.0%）の方が男性（67.7%）より7.3ポイント高くなりました。

年代別で見ると、『思う』が最も高かったのは10歳代（82.6%）で、最も低かったのは70歳代以上（67.9%）となり、概ね年代が低いほど『思う』が高い傾向がみられました。

問 28 日ごろ、「人権」について、あなたがお考えになっていることや、お気づきになったこと、また、ご意見やご提案がございましたら、ご記入ください。

「人権」について考えていることや気づいたこと、意見・提案について321件の回答をいただきました。その一部を掲載します。

ご意見ご提案など
<p>・このアンケートがあったからこそ考えるいい機会になりましたが、日頃から意識はしていないなと感じました。相手を理解したり尊重したり・・・意識しなくても出来る自分でありたいですが、このアンケートで自分は出来ているのか出来るのか疑問に思っていました。普段の生活では”人権”とまでは考えていないので、より知ってみたいと感じました。(40代 女性)</p>
<p>・人権にかかる取り組みは一過性ではなく空気のような感覚が大切。(人間にとって無くては生きていけないが、普段は特に気にしない)(70代 男性)</p>
<p>・アンケートをしてみて人権について知らないこと、わからないことが多いと思った。しかし、正直、自ら積極的に調べ、知ろうとはあまり思わない。(30代 女性)</p>
<p>・最近女性の人権ばかり注目されているけれど、その権利を悪用する(セクハラ、パワハラ等の言葉で上司を脅すなど)人が増えてきていると個人的には思います。男女平等を唱えるからには、男性の人権も保障していくべきであると思います。(10代 男性)</p>
<p>・一人で生きることの出来ない子供の人権だけは、何としても守れるような社会を作って欲しい。(50代 女性)</p>
<p>・幼少期からの教育。小・中学校に外国の方が学ばれている数が多くなり、子どもたちは違和感なくコミュニケーションがとれていることは、素晴らしいと思います。(70代 女性)</p>
<p>・認知症をかかえた高齢者の人権が尊重されていないと感じる(20代 男性)</p>
<p>・障がいがある人への視線が気になる。もっと障がいのある人への理解が必要と日々感じる。(40代 女性)</p>
<p>・我が家には発達障がいのある子がいます。小さい頃は情報が少なく療育手帳ももらえとは知らず、小学4年までもらっていませんでした。特別児童扶養手当なども一番大変な時期にももらえることができませんでした。色々な情報がわかりやすくみんなに伝わるといいと思います。(40代 女性)</p>
<p>・父は目が悪く車の運転が出来ず、母も運転できません。年に一度、父の目の病気の手続きで区役所に行かなければいけないのでとても大変そうです。パソコンやスマホも父と母は持っていないのでホームページ等に載せても見る事が出来ないのです。父と母以外の私の身近なお年寄りも、ネットをやっている人は少ないので、もっとわかりやすくしてホームページにあまり頼りすぎないほうがいいと思います。(40代 女性)</p>

<p>・私は小学校時代、同学年が1クラスしかなく、6年間ずっと同じ顔ぶれの中で育ちました。その中に2人障がい児がおり、その子たちはお母様が付き添ったり、様子を見に来たりというのが日常でした。小学校時代、その子たちに対し”障がい児”という感覚は全くなく、「〇〇君は、目があまり見えないから、教えてあげよう」「〇〇君は歩くのが遅いから待ってあげよう」と私たちは自然とその子たちに優しく接するようになりまし、全く他の子と変わらない同じ友達と思育ちました。小学校を卒業した後、”障がい者学級”というものがある事を知り、とても違和感を感じた事を覚えています。何かしらの障がいがあるからといって、他の子たちと分けることはないのに・・・と思いました。確かに、知的能力や身体機能の面で、特に手厚く支援してあげなければならない部分もあると思いますが、そのように小さいころから分けることを学んでしまった子供は、その価値観を大人になって変えるというのは、根柢の部分ではなかなか難しいと思いますし、分けられてしまった障がいのある子供達も、自分で自分の未来にボーダーを引いてしまうことにつながるのではないのでしょうか。私はあの2人と一緒に成長できたことを、心から感謝しています。ご検討いただければと思います。(20代 女性)</p>
<p>・同和地区に住んでいます。その地区に住んで大丈夫なのかと問う方もいれば私個人をととても大切にしてくれる方もいます。同和問題についてはとても良い状況に進んでいると思います。私は啓発活動などはできませんが、日常において周囲に迷惑をかけず、私の周りにいてくれる方々を大切に思っていればそれでいいと思っています。(40代 女性)</p>
<p>・学生時代は同和問題に悩む友人が身近にいました。私はなぜ差別されるか分からず、同和問題について自ら学びました。社会人になってからは外国人の方々と仕事を一緒にしています。文化や言語が違ってても、心はとても優しい人達ばかりです。もっと共存できる社会をを願い、私はその方々と楽しく過ごしています。もっと思いやりのある心が広い方がいるといいです。(40代 女性)</p>
<p>・テレビなどでヘイトスピーチがある事を知り、余りのひどさに驚き、早くなくさなければと思う。子供への虐待が多く心が痛む。食事もとれない子供が多いなんて考えてもいなかった。でも、子供食堂などが増えてきて嬉しく思う。(70代 女性)</p>
<p>・外国の方が近所でも暮らしているので、その人たちの文化や風習などを理解し、尊重していけば良いなと思っています。(40代 男性)</p>
<p>・浜松は工業の町でその工業製品を作る下支えとして働いているブラジル人、ペルー人の方々のことを下の人間として見ている人の多いことに心を痛めることがあります。彼らが働いていることで製品ができ、浜松にも税として収入が入ってきていることをもっと多くの人が知るべきではないでしょうか？彼らは、外国人という前に日本人としてのルーツを持っているからこそ働きに来ている人々だという事です。あと、体の弱い子供を育てているお母さんに「あー、うちはそういう子でなくてよかった。」と態度に出ている親の方がいます。誰も体の弱い子を選んで育てているわけではありません。人の気持ちになって考える能力を多くの親が持つべきだと思います。(30代 女性)</p>
<p>・まずはインターネットをトータル的に改善しなくてはならないのではないかと思います。地道な活動もwebによって一瞬で台無しになったり、子供達もそれによって左右されたりと、インターネットの体制をしっかりして行かないと問題は解決していかないと考えます。(40代 男性)</p>
<p>・今後起きるであろう、大規模地震。どこの被災地でも、暴力、性犯罪、震災関連死が多発してます。特に、災害弱者(高齢者、子供、女性、妊婦、障がい者、病気にかかっている方々等)が、人による二次災害に遭う確率が高い。弱い立場の人権を守る取り組みが必要。自治会に防災の知識と、個人のプライバシーを守れる女性役員の増員をお願いしたい。男性が多い自治会役員の中で、女性や災害弱者の意見や取り組みが反映することを願う。(40代 女性)</p>
<p>・誰にでもある人権なので、一人ひとりちゃんと考えないと、な、と思いました。(20代 女性)</p>
<p>・日本は人権が守られているから人権に対して関心がないと思う(50代 女性)</p>

<p>・私は障がい者施設で働いております。障がい者と一緒に施設外へと出ることがよくありますが、十年前に比べ一般社会で働く方（食堂、デパート、駅）はみなさん親切で優しい言葉をかけてくれます。障がい者は年々守っていただいていると感じますがニュース等で親のエゴで小さい命が絶たれていることを知るとつらくなります。また、高齢の方の一人で亡くなっていくニュースを知ると何とかならないものかと思います。人権はこの世に生きている限り守られるものでなければいけないと思います。また、いろいろこの世の中での上に立つ人たちがしっかりどうするべきかを考えていく必要があると思いました。アンケートに参加でき嬉しく思います。（50代 男性）</p>
<p>・普通に生活しているときは感じないが、何か行動をおこすと問題が出てくる。たとえば、子の結婚（相手の身元とか外国人とか）、仕事やパートの面接で断られたり（母子家庭とか）「平等」は無理だと思う。（50代 女性）</p>
<p>・このアンケートで「人権」が守られなければならないものとして扱われていることに疑問を持った。今の社会や技術力では、全ての人間の「人権」を守るなど不可能。大事なこととしては順番があるので、まず、その順番を定めてから「人権」について考えるべき。（20代 男性）</p>
<p>・このようなアンケートで、どれだけ出来るか分からないが、少しでもいろいろなことを知ることが大事だと思う。もっと具体的に人権について学べる場があってほしいと思う（50代 男性）</p>
<p>・現在の少子化の原因は、日本の男社会がもたらしたものだと思います。男女平等と言いながら、日常生活では女性が子育て、家事、介護と任せられ、おまけに仕事（外へ）にも行って、男は基本的には仕事に行くだけというのは、日本の女性は結婚しない、子供を産まないとなるのは、当然です。根本的には女性の人権を尊重するように社会の構造を改めない限り、少子化は食い止められないと思います。（60代 女性）</p>
<p>・人権を主張するのではなく人はみな同じ、人にはそれぞれの生きていく道がある、笑顔で人に親切にするという事を子供のころから親や大人（学校教育などで）が自分も含めて子供たちとともに行って生きていくという事を心がけたらいいと思います。私は子供や孫たちとそうして接しています。（学校教育が大事かも）大人も教育しないといけないかも？もう大人は無理かな？（50代 女性）</p>
<p>・とにかく「周知されていない」事が課題だと思います。学校等で人権教育を行なっても「平等に扱うべき」という客観的視点から考えることはできると思いますが、同じ教室の中にLGBTで悩んでいる同級生がいる可能性についてまで、考えは至らないと思います。「特別な事ではなくどこにでもいる、当たり前居る」存在としての周知が足りていない現状を感じます。（20代 女性）</p>
<p>・「人権」というと堅い、難しい印象を持つ人が多いと思いますが、お互いに思いやりの心を持って、助け合いながら気持ちよく生活できる社会であるといいなあと思います。（40代 女性）</p>
<p>・人権に対する意識を向上させるのは簡単ではない。イベント、メルマガ、雑誌等に記事を記載しても、忙しい現代人がわざわざそのような情報を選んで知識を吸収しようとは思わないのではないかと。何かのついで（他の目的のイベントに参加した時にたまたま目に入る、テレビを見ていた時にたまたまCMをしていたので見るなど）に目に触れるように工夫する必要があると思う。（30代 女性）</p>
<p>・人権については、幼少時から、家庭や地域社会で意識を育てていくもので、学校教育だけで育てていくものではない。大人が子供に対して「どんな人も社会で生きていく権利がある。共に生きる社会を作ろう」という手本になって、自然に意識をはぐくんでいきたい。（60代 女性）</p>
<p>・相談できる窓口が種類ごとに分かれていて、どこに相談したらよい内容なのか分からず、そのままになってしまったことがあります。聞いてくれたり、相談内容によってどこに電話したらよいのか教えてくれる機関があるといいなと思いました。（40代 女性）</p>

付録 調査票

人権に関する意識調査のお願い

日ごろ、市政の推進につきまして、ご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。
この調査は、浜松市が人権に関する意識について皆さまのお考えを伺うことで、今後、人権施策を推進するうえでの基礎資料として活用させていただくためのものです。

この調査にあたり、市内在住の満18歳以上の皆さまの中から3,000人の方々を無作為に選ばせていただきました。お忙しいところお手数ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

平成30年10月15日

浜 松 市

【ご記入についてのお願い】

- 1 封書のあて名のご本人が、ご回答いただきますようお願いいたします。
※9月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出しております。
- 2 ご回答は、直接この用紙にご記入ください。
- 3 ご回答は、各質問ごとに該当する番号を選んで○で囲んでください。
また「その他」を選んだ方は、その具体的な内容をご記入ください。
- 4 この調査結果は、上記目的以外に使用することはなく、内容についてご迷惑をお掛けすることはありません。
- 5 10月31日(水)までに、この用紙を同封の封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。
(封筒に差出人名を記載しないでください。)
- 6 ご不明な点は、浜松市人権啓発センターへお問い合わせください。

皆さんの声を
聴かせて
欲しいのじゃ



出世大名 家康くん
出世法師 直虎ちゃん
©浜松市

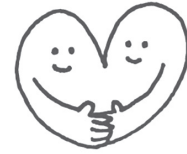
浜松市健康福祉部 福祉総務課

人権啓発センター

電話：(053)457-2031

FAX：(053)450-7702

はじめに



あなたは「人権」という言葉からどんな印象を受けますか？

「とても大切なもの」と感じる方もいるかもしれません。中には「大切なものだと思うけど、具体的にはよくわからない」、「なんだか堅苦しくて難しいもの」と感じる方もいるかもしれません。

「人権」とは「誰もが幸せに生きていく権利」あるいは「自分が自分らしく生きる権利で、生まれながらに持つ権利」であり、誰にとっても「身近で大切なもの」で、「お互いの個性を尊重」し、「違いを認め合う」ことによって守られるものだと考えられます。

「人権」は、堅苦しくて難しいものではなくて、「**相手の気持ちを考える**」こと「**思いやりの心を持つ**」ことが、人権を守ることにもなります。

しかしながら、**保護者からの虐待**によって子どもの命が奪われる、指導的な立場にある人からの**ハラスメント**、学校での**いじめ問題**など、「幸せに生きていく権利」を奪われたという報道が繰り返されています。

また、**高齢**だから、**障害**があるから、**同和地区**出身だから、**外国人**だからということによって差別を受けて、「自分らしく生きる権利」を奪われることもあります。

日本国憲法では、自由権、平等権、社会権などの基本的人権の尊重を規定しています。それにもかかわらず、私たちの周囲には、さまざまな人権問題が存在しています。

このアンケートは、浜松市が、これらの人権問題の解消に向けた取り組みを進めるために、皆様の人権に関するお考えを聞かせていただくものです。

人権に関する意識調査票

【1 人権意識について】

問1 あなたは人権は重要なことだと思いますか。

(当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)

- 1 非常に重要
- 2 どちらかといえば重要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり重要ではない
- 5 重要ではない
- 6 わからない

問2 浜松市は、「人権尊重の意識」が生活の中に定着していると思いますか。

(当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)

- 1 思う
- 2 どちらかといえば思う
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり思わない
- 5 まったく思わない
- 6 わからない

問3 あなたは、自分以外の人の人権を尊重することができていると思いますか。

(当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)

- 1 できている
- 2 ややできている
- 3 どちらともいえない
- 4 あまりできていない
- 5 できていない
- 6 わからない

問4 あなたは、この5年ほどの間に、次の事例のようなことで自己的人権が侵害されたと思ったことはありますか？ (当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)

- 1 根拠のない悪い噂、他人からの悪口
- 2 仲間はずれ、嫌がらせ
- 3 職場における不当な待遇
- 4 名誉や信用を傷つけられた
- 5 不平等または不利な扱い
- 6 プライバシーの侵害（他人に知られたくない個人的なことを知られること）
- 7 インターネット上での悪質な書き込みや嫌がらせ
- 8 男女間のセクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）
- 9 パワー・ハラスメント（職場や学校などでの地位を利用したいじめや嫌がらせ）
- 10 男女間のストーカー被害（特定の人にしつこくつきまとわれること）
- 11 男女間の配偶者等からの暴力（DV）
- 12 悪臭・騒音等の公害
- 13 その他（具体的に： _____)
- 14 答えたくない
- 15 なかった

(※1～13のいずれかに○をつけた方は問5もお答えください)

問5 問4で1～13のいずれかに○をつけた方にお聞きします。

あなたは自己的人権が侵害されたと思ったときどうしましたか？

(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)

- 1 家族に相談した
- 2 友人・知人・交際相手に相談した
- 3 学校に相談した
- 4 警察に相談した
- 5 公共機関に相談した
- 6 人権擁護委員に相談した
- 7 弁護士に相談した
- 8 民間の団体に相談した
- 9 自分で解決した
- 10 何もしなかった、我慢した
- 11 忘れた、わからない
- 12 その他（具体的に： _____)
- 13 答えたくない

問6 人権に関する相談窓口として、次のものがあります。あなたが知っている相談窓口はありますか？

(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)

1	法務局	(親子、夫婦、差別、いじめなど様々な人権に関する相談)	
2	労働基準監督署	(職場でのハラスメントに関する相談)	
3	児童相談所	(児童虐待など子どもに関する専門的な相談)	
4	地域包括支援センター	(高齢者に関する総合相談)	
5	障害者相談支援事業所	(障がいのある人やそのご家族からの相談)	
6	DV相談専用ダイヤル	(配偶者等からの暴力)	☎053-412-0360
7	浜松市いじめ子どもホットライン	(幼稚園児、小中学生とその保護者からのいじめに関する相談)	☎053-451-0022
8	児童相談所共通ダイヤル	(児童虐待などに関する相談)	☎189
9	みんなの人権110番	(様々な人権に関する相談)	☎0570-003-110
10	子どもの人権110番	(いじめなど学校や家、友達のことに関する相談)	☎0120-007-110
11	女性の人権ホットライン	(女性をめぐる様々な人権に関する相談)	☎0570-070-810

問7 次の人権問題のうち、あなたが関心のある人権問題はどれですか。

(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)

1	女性の人権	
2	子どもの人権	
3	高齢者の人権	
4	障がい者の人権	
5	同和問題(部落差別)	
6	外国人の人権	
7	HIV感染者、ハンセン病患者等の人権	
8	刑を終えて出所した人の人権	
9	犯罪被害者等の人権	
10	インターネットによる人権侵害	
11	北朝鮮による拉致被害者をめぐる問題	
12	ホームレスの人をめぐる人権問題	
13	性的少数者(性同一性障がいや性的指向など)をめぐる人権問題	
14	大規模災害時の避難生活者などをめぐる人権問題 (避難生活の長期化に伴うトラブル、避難者に対するいじめなど)	
15	その他(具体的に：))
16	人権問題に関心がない	
17	わからない	

【2 女性の人権について】

問8 次の事例のうち、あなたが特に問題だと思う事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)

- 1 性別による役割分担意識（男は仕事、女は家庭等）の存在
- 2 性別による職種の限定や、待遇差があったりする
- 3 ドメスティック・バイオレンス（配偶者や恋人等による暴力）
- 4 セクシュアル・ハラスメント（性的な行動や言動による嫌がらせ）
- 5 マタニティ・ハラスメント（妊娠・出産等を理由とする不利な扱い）
- 6 女性に対するストーカーや痴漢行為
- 7 テレビ・ビデオ・DVD・雑誌・インターネット等で女性を性的対象として扱う情報があふれている
- 8 女性であるがために、意見や発言が無視される
- 9 その他（具体的に： _____)
- 10 特にない
- 11 わからない

【3 子どもの人権について】

問9 次の事例のうち、あなたが特に問題だと思う事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)

- 1 大人による子どもへの「虐待」
- 2 子ども間での「いじめ」
- 3 インターネット（パソコンや携帯電話）を利用した「いじめ」
- 4 指導的な立場にある人からの体罰
- 5 暴力や犯罪、性に関わる問題（児童ポルノ）等、子どもに有害な情報があふれている
- 6 子どもが、親の経済的理由で十分な食事や教育を受けることができない
- 7 子どもに対して、一人の人間として的人格や価値観が尊重されない場合がある
- 8 その他（具体的に： _____)
- 9 特にない
- 10 わからない

【4 高齢者の人権について】

問10 次の事例のうち、あなたが特に問題だと思う事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)

- 1 収入が少なく経済的に自立していくことが困難
- 2 能力や経験を発揮する機会が少ない
- 3 詐欺や悪質商法による被害
- 4 家庭内における看護や介護での不当な扱いや虐待
- 5 病院や老人ホーム等の施設における看護や介護での不当な扱いや虐待
- 6 意見や行動が無視されたり尊重されなかったりする
- 7 道路の段差や建物の階段等、外出先で不便や支障がある
- 8 住宅を借りることができない場合がある
- 9 家庭内や地域社会で孤立した状態に置かれる
- 10 その他（具体的に： _____)
- 11 特にない
- 12 わからない

【5 障がいのある人の人権について】

問11 次の事例のうち、あなたが特に問題だと思う事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)

- 1 就職や職場での不利な扱い
- 2 収入が少なく経済的に自立していくことが困難
- 3 詐欺や悪質商法による被害
- 4 じろじろ見られたり、避けられたりする
- 5 障がいの内容、程度に応じた適切な方法で情報を伝える配慮が足りない
- 6 家庭や病院等の施設における看護や介護での不当な扱いや虐待
- 7 道路の段差や建物の階段等、外出先で不便や支障がある
- 8 住宅を借りることができない場合がある
- 9 スポーツ、文化活動や地域活動の参加に支障がある
- 10 本人や家族の結婚に関して、周囲から反対される
- 11 交流や交際など日常生活における不利な扱い
- 12 その他（具体的に： _____)
- 13 特にない
- 14 わからない

【6 外国人の人権について】

問12 次の事例のうち、あなたが特に問題だと思う事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)

- 1 地域住民や地域社会の受け入れ態勢が十分に整っていない
- 2 住宅を借りることができない場合がある
- 3 特定の民族や国籍の人々に対して不当な差別的言動（ヘイトスピーチ）などが行われる
- 4 保健・医療・防災・教育等の生活に不可欠な情報が十分に手に入れられない
- 5 就職や仕事の内容、待遇等での不利な扱い
- 6 結婚に際して周囲から反対される
- 7 交流や交際など日常生活における不利な扱い
- 8 外国人の子どもに対する教育環境が十分に整っていない
- 9 風習や習慣の違い、犯罪報道などによる偏見や差別
- 10 交通機関、病院等をはじめとする公共的な場所での不十分な案内や外国語表示
- 11 日本の文化や慣習になじめず職場や地域社会で孤立した状態に置かれる
- 12 その他（具体的に： _____)
- 13 特にない
- 14 わからない

【7 同和問題について】

問13 あなたは同和問題（部落差別）をご存知ですか。

（当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。）

- 1 詳しく知っている
- 2 だいたい知っている
- 3 聞いたことがある
- 4 ほとんど知らない
- 5 まったく知らない

～同和問題（部落差別）とは～

同和問題とは、日本社会の歴史的発展の過程で形づくられた身分差別により、国民の一部の人々が長い年月の間、経済的・社会的・文化的に低い状態に置かれることを強いられ、今なお、日常生活の中で様々な差別を受けている日本固有の人権問題です。

問14 同和問題に関することで、次の事例のうち、あなたが特に問題だと思う事例は何ですか。

（当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内）

- 1 結婚に際して周囲から反対される
- 2 就職や職場での不利な扱い
- 3 差別的な言動を受ける
- 4 交流や交際など日常生活における不利な扱い
- 5 結婚や就職などに際して身元調査（問い合わせ等）が行われる
- 6 インターネットへの根拠のない悪い噂、悪口や差別的な情報の掲載
- 7 同和問題の理解不足（同和は怖いという誤った思い込み等）につけ込んだ「えせ同和行為」（高額図書を売りつける等）がある
- 8 同和問題が正しく理解、認識されていない
- 9 その他（具体的に： _____)
- 10 特にない
- 11 わからない

【8 性的少数者の人権について】

問15 あなたは「LGBT」という言葉をご存知ですか。

(当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)

- 1 意味も含めて詳しく知っている
- 2 どんな意味か知らないが聞いたことはある
- 3 知らない

L→レズビアン : 女性の同性愛者

G→ゲイ : 男性の同性愛者

B→バイセクシャル : 両性愛者

T→トランスジェンダー : 身体の性と心の性が一致しない状態やどちらの性別にも違和感を持つ状態の人

「LGBT」は、これらの頭文字をとったもの

問16 性的少数者(問15参照)に関することで、次の事例のうち、あなたが特に問題だと思う事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)

- 1 男性らしさ、女性らしさを求められる
- 2 社会的理解が低く、世間から好奇や偏見の目で見られる
- 3 身体の性と心の性が一致しない人に対応した設備(トイレ、更衣室等)が整っていない
- 4 嫌がらせやいじめ、差別的な言動を受ける
- 5 就職や職場での不利な扱い
- 6 地域社会や職場、家庭、学校などで孤立した状態に置かれる
- 7 法律や制度が不十分であったり、整備されていない
- 8 その他(具体的に: _____)
- 9 特にない
- 10 わからない

【9 その他の人権について】

問17 エイズ患者・HIV感染者の人権のうち、あなたが問題だと思う事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)

- 1 偏見による差別的な言動を受ける
- 2 プライバシーに配慮した医療体制や相談体制が確保されていない
- 3 患者や感染者に関する正しい知識や理解の不足
- 4 就職や職場での不利な扱い
- 5 その他（具体的に： _____)
- 6 特にない
- 7 わからない

問18 犯罪被害者等（犯罪被害者とその家族、遺族）の人権のうち、あなたが問題だと思う事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)

- 1 犯罪行為によって、経済的な負担を強いられる
- 2 犯罪行為による精神的ショックにより日常生活に支障をきたす
- 3 事件のことで、周囲がうわさ話をする
- 4 捜査活動や刑事裁判によって、精神的な負担がかかる
- 5 マスコミの取材や報道により、私生活の平穏やプライバシーが保てなくなる
- 6 その他（具体的に： _____)
- 7 特にない
- 8 わからない

問19 犯罪加害者の家族等（家族、遺族）の人権のうち、あなたが問題だと思う事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)

- 1 犯罪加害者の家族等へのプライバシーの侵害
- 2 家族の犯罪行為による精神的ショックにより日常生活に支障をきたす
- 3 事件のことで、周囲がうわさ話をする
- 4 更生保護活動に関する市民の理解不足（※更生保護活動＝罪を犯した人の更生を支援する活動）
- 5 その他（具体的に： _____)
- 6 特にない
- 7 わからない

問20 刑を終えて出所した人の人権のうち、あなたが問題だと思う事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)

- 1 社会復帰に向けた相談・支援体制の不足
- 2 社会的自立のための雇用先確保や社会復帰のための修学支援の不足
- 3 出所後に住む場所など住環境が確保できない
- 4 福祉サービスを受けるための情報を手に入れることができない
- 5 刑を終えて出所した人への偏見や差別
- 6 その他（具体的に： _____)
- 7 特にない
- 8 わからない

問21 インターネットによる人権問題のうち、あなたが問題だと思う事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)

- 1 他人に対する根拠のない悪い噂、悪口を掲載している
- 2 出会い系サイトなど犯罪を引き起こす場となっている
- 3 わいせつな画像や残虐な画像などを掲載している
- 4 悪質な商法の取引の場となっている
- 5 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載している
- 6 個人情報の流出等の問題が多く発生している
- 7 加害者が特定できず、被害者が救済されない
- 8 その他（具体的に： _____)
- 9 特にない
- 10 わからない

問22 ホームレスの人の人権のうち、あなたが問題だと思う事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)

- 1 ホームレスの人への相談・支援体制の不足
- 2 経済的に自立していくことが困難
- 3 通行人など、周囲の人からの嫌がらせや暴力
- 4 じろじろ見られたり避けられたりする
- 5 店舗等への入店や施設の利用を拒否される
- 6 その他（具体的に： _____)
- 7 特にない
- 8 わからない

【10 オリンピック・パラリンピックと人権について】

～オリンピック憲章～ （オリンピズムの根本原則第6項）

このオリンピック憲章の定める権利および自由は人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治的またはその他の意見、国あるいは社会的な出身、財産、出自やその他の身分などの理由による、いかなる種類の差別も受けることなく、確実に享受されなければならない。

問23 オリンピック憲章の理念のもと、2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。この開催を機に人権が尊重される社会を実現するために、あなたが必要だと思う取り組みは何ですか。

（当てはまる番号すべてに、○をつけてください。）

- 1 外国人に対する差別や偏見を解消するための啓発活動
- 2 外国人と日本人が互いに尊重し合い、多様性を受け入れる気運を高める
- 3 身近な人権問題を見直す機会づくり
- 4 道路の段差や建物の階段等の「物理的バリア」解消に向けたバリアフリーの街づくり
- 5 障がいのある人への偏見や差別の「心のバリア」解消に向けたバリアフリーの街づくり
- 6 人種、肌の色、性別、性的指向や障がいのある人など、人々の多様性が尊重された社会実現に向けた取り組み
- 7 その他（具体的に： _____)
- 8 特にない
- 9 わからない

【11 人権に関する取り組みについて】

問24 人権が尊重される社会を実現するために、あなたが必要だと思う取り組みは何ですか。

(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)

- 1 行政による、住民の人権意識を高めるための啓発活動
- 2 民間団体等（NPO、団体、企業等）による、住民の人権意識を高めるための啓発活動
- 3 住民自らが、人権意識を高めるように努める
- 4 家庭における、幼児期からの人権教育の充実
- 5 学校における、人権教育の充実
- 6 地域社会に向けて、協働センター等で行う人権教育・啓発の充実
- 7 企業における人権教育の充実（パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等）
- 8 公務員等人権に関わりの深い職業（公務員、教員、医療関係者、福祉関係職員等）に従事する人たちの人権意識の向上
- 9 社会的に弱い立場にある人に対する支援・救済策の充実
- 10 不合理な差別や格差を解消、是正するための制度改善や施策の充実
- 11 その他（具体的に： _____)
- 12 特にない
- 13 わからない

【12 効果的な啓発活動について】

問25 人権尊重の理解を深めるために、あなたが特に効果的だと思う啓発活動は何ですか。

(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)

- 1 講演会、映画会
- 2 講座、研修会、シンポジウム
- 3 市民が気軽に参加できる啓発イベント
- 4 市民や団体との協働による啓発活動
- 5 新聞、雑誌、広報誌等への啓発記事の掲載
- 6 人権啓発センターのホームページの充実
- 7 絵本やマンガ、DVDなど、子どもから大人までを対象とした人権教育・啓発資料の配布
- 8 人権啓発冊子やパンフレットの作成、配布
- 9 メールマガジン等を活用した啓発活動
- 10 電車内、公共施設等へのポスターやステッカーの掲出
- 11 垂れ幕、立看板の設置、大型ディスプレイを活用した啓発
- 12 図書、ビデオ、DVD、CD等の貸出
- 13 啓発情報や写真、図表等のパネル展示
- 14 テレビ、ラジオ等の広告や番組による啓発
- 15 その他（具体的に： _____)
- 16 特にない
- 17 わからない

【13 市民一人ひとりが心がけることについて】

問26 お互いの人権が尊重されるために、市民一人ひとりがすべきことはどれだと思いますか。

(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)

- 1 人権に関する正しい知識を身につける
- 2 人権意識を高めるための機会や場への積極的な参加
- 3 非合理的な因習や風習、誤った固定観念にとらわれない
- 4 自分の権利とともに、他人の権利も尊重する
- 5 お互いを理解するためにコミュニケーションをしっかりとる
- 6 自分が生活している地域社会やその人間関係を大切にする
- 7 他人に対する思いやりや、やさしさを育む
- 8 その他（具体的に： _____)
- 9 特にない
- 10 わからない

【14 人権について】

問27 あなたは、さまざまな人権について知りたい、理解したいと思いますか？

(当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)

- 1 思う
- 2 どちらかといえば思う
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり思わない
- 5 まったく思わない
- 6 わからない

問28 日ごろ、「人権」について、あなたがお考えになっていることや、お気づきになったこと、また、ご意見やご提案等がございましたら、ご記入ください。

【15 最後にあなたのことについてお伺いします】

(当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)

(ア) あなたの性別を記入してください。

1 : 男性	2 : 女性	3 : その他
--------	--------	---------

(イ) あなたの年代を記入してください。

1 : 10歳代	2 : 20歳代	3 : 30歳代
4 : 40歳代	5 : 50歳代	6 : 60歳代
7 : 70歳代以上		

(ウ) あなたのお住まいの地域を記入してください。

1 : 中区	2 : 東区	3 : 西区
4 : 南区	5 : 北区	6 : 浜北区
7 : 天竜区		

(エ) あなたの国籍を記入してください。

1 : 日本	2 : ブラジル	3 : 中国
4 : フィリピン	5 : その他 ()	

お手数ですが、回答用紙に回答漏れや記入誤り等がないか、もう一度お確かめください。

ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

※10月31日までにご投函ください。



平成30年度 人権に関する意識調査報告書

平成31年1月発行

浜松市健康福祉部 福祉総務課 人権啓発センター

〒430-0916 浜松市中区早馬町2番地の1

電話 (053) 457-2031 FAX (053) 450-7702

e-mail jinken@city.hamamatsu.shizuoka.jp

URL <https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>
